

男女共同参画に関する  
市民の意識調査  
報告書

平成23年9月

豊橋市



# 目次

I	アンケート調査の実施概要	
1	調査の目的	1
2	調査の方法	1
3	調査の内容	1
4	回収結果	1
5	分析結果の見方について	2
II	アンケート調査結果の分析	
1	調査回答者の属性	4
1-1	性別	4
1-2	年齢	4
1-3	職業	4
1-4	配偶者の有無	5
1-5	共働きの有無	6
1-6	家族構成	6
2	男女の平等感について	7
2-1	社会全体の男女の地位評価	7
2-2	各場面および分野の男女の地位評価	9
3	男女の意思決定について	17
3-1	各場面の意見の反映度	17
3-2	男女が協力して意思決定を行えるようにするために必要なこと	19
4	家庭・仕事・地域活動のバランスについて	21
4-1	家庭における役割分担	21
4-2	性別役割分担意識	25
4-3	仕事と家事・育児の分担についての考え方	28
4-4	男性が育児や介護で休みをとることについての考え方	30
4-5	男性が育児や介護で休みをとらない理由	32
4-6	女性が結婚や出産を機に仕事をやめる理由	34
4-7	参加している地域活動	36
4-8	地域活動が活発になるために必要なこと	37
4-9	現状における家庭生活・仕事・地域活動の関係	38
4-10	望ましい家庭生活・仕事・地域活動の関係	40

5	子どもへの男女共同参画教育について	43
5-1	子育てについての考え方	43
5-2	男女平等のための学校教育のあり方	45
6	高齢化・福祉について	47
6-1	老後の不安の有無	47
6-2	老後に不安を感じていること	48
7	配偶者等からの暴力について	50
7-1	夫または妻や恋人から暴力を受けた経験	50
7-2	暴力行為についての相談相手	53
7-3	相談をしなかった理由	55
7-4	男女間の暴力を防止するために必要なこと	57
8	豊橋市男女共同参画センター「パルモ」について	59
8-1	男女共同参画センター「パルモ」の利用の有無	59
8-2	充実してほしい内容	60
8-3	利用したことがない理由	62
9	男女共同参画社会について	63
9-1	用語の周知	63
9-2	男女共同参画社会実現のために行政に望むこと	66
10	自由意見	70
◆	アンケート調査票	72

# I アンケート調査の実施概要

## 1 調査の目的

本調査は、豊橋市の男女共同参画の現状や市民の考えを把握し、「次期豊橋市男女共同参画行動計画」の基礎資料を得る目的で実施した。

## 2 調査の方法

- (1) 調査地域 豊橋市全域
- (2) 調査対象 豊橋市に在住する20歳以上の男女
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 抽出方法 男女各1,500人を年代別・地域別で無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送法
- (6) 調査時期 平成23年6月3日～7月1日

## 3 調査の内容

- (1) 属性
- (2) 男女の平等感について
- (3) 男女の意思決定について
- (4) 家庭・仕事・地域活動のバランスについて
- (5) 子どもへの男女共同参画教育について
- (6) 高齢化・福祉について
- (7) 配偶者等からの暴力について
- (8) 豊橋市男女共同参画センター（旧豊橋市女性会館）「パルモ」について
- (9) 男女共同参画社会について

## 4 回収結果

配布数	回収数		未回収	
	有効	無効		
3,000 100.0%	1,082 36.1%	1,081 36.0%	1 0.0%	1,918 63.9%

(※) 白紙票は無効とした。

## 5 分析結果の見方について

- (1) 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのためパーセントの合計が100にならないこともある。また、ある複数の項目について小計を出す場合も、「各項目の比率の総和」と「各項目の件数を足して比率を出した時の総和」とが異なる場合がある。
- (2) 基数となるべき実数は「件数」として掲載した。したがって比率は、件数を100%として算出している。また、全体数と男女計が一致しないが、これは性別不明な回答があったためである。
- (3) 複数回答が可能な質問の場合は、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%なのかという見方をする。そのため、各項目の比率の合計は通常100%を超える。
- (4) 集計表内の数値は、特記のない限り、件数は回答者数(件数)、選択肢は構成比(%)を示す。
- (5) 本報告書中の表、グラフ等の見出し及び文章中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合がある。
- (6) 調査結果分析の中では、今回の調査結果と、国、愛知県の調査、豊橋市の過去の調査との比較結果を盛り込んだ。各比較調査の詳細及び、比較している調査項目は以下のとおりである。

### <各比較調査の詳細>

調査主体	調査名	調査時期
国(内閣府)	男女共同参画社会に関する世論調査	平成21年10月
愛知県	男女共同参画意識に関する調査	平成20年9月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	平成20年5月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	平成17年5月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	平成13年8月

### <比較項目一覧>

No.	調査項目	国	県	市
問1	社会全体の男女の地位評価	○	○	○
問2	各場面および分野の男女の地位評価	○	○	○
問6	性別役割分担意識	○	○	○
問13	現状における家庭生活・仕事・地域活動の関係	○	○	
問14	望ましい家庭生活・仕事・地域活動の関係	○	○	
問15	子育てについての考え方			○
問16	男女平等のための学校教育のあり方			○
問17	老後の不安の有無			○
問17-1	老後に不安を感じていること			○
問18	夫または妻や恋人から暴力を受けた経験			○
問19	暴力行為についての相談相手			○
問20	相談をしなかった理由			○

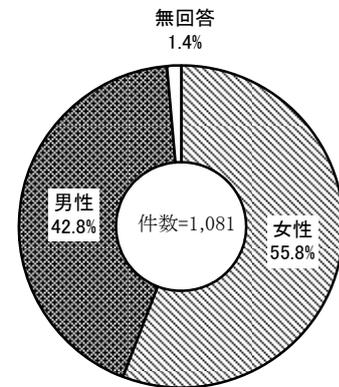
No.	調査項目	国	県	市
問 22	男女共同参画センター「パルモ」の利用の有無			○
問 22-1	充実してほしい内容			○
問 23	用語の周知			○
問 24	男女共同参画社会実現のために行政に望むこと	○	○	○

## II アンケート調査結果の分析

### 1 調査回答者の属性

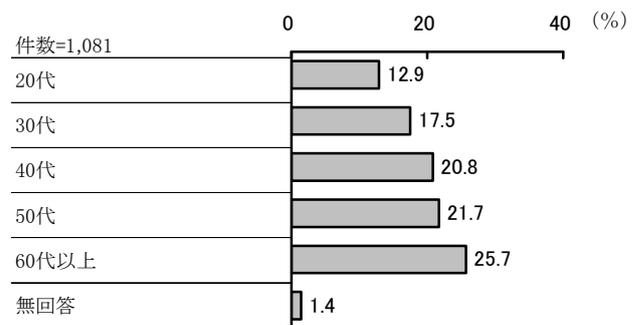
#### 1-1 性別

- 調査回答者の性別は、「女性」が55.8%、「男性」が42.8%で、女性の割合が高くなっている。



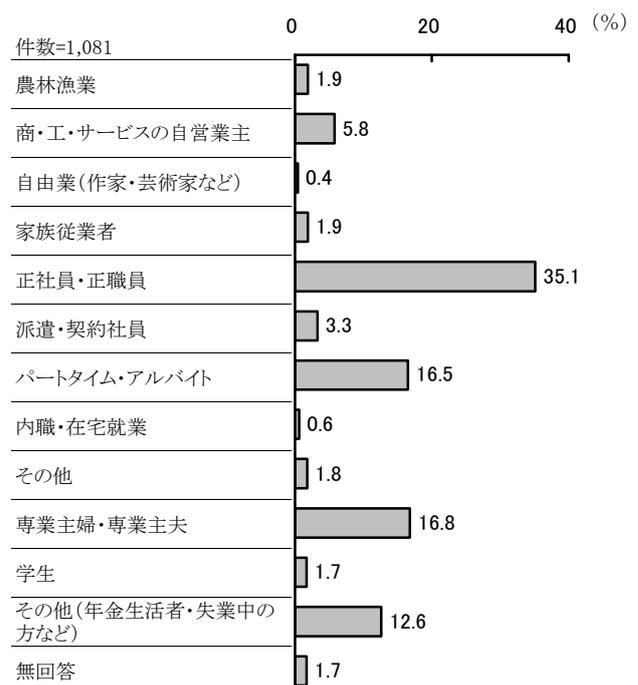
#### 1-2 年齢

- 調査回答者の年齢は、年齢が高いほど割合も高く、「60代以上」が25.7%、「50代」が21.7%、「40代」が20.8%、「30代」が17.5%、最も低い「20代」は12.9%となっている。

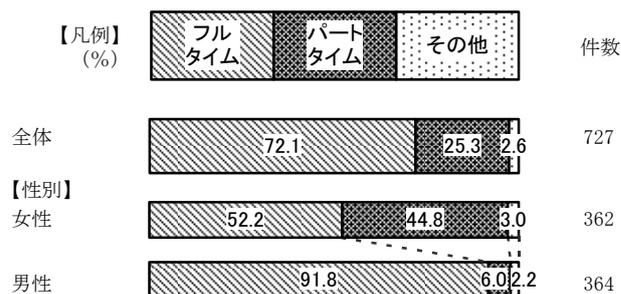


#### 1-3 職業

- 職業は、「正社員・正職員」が35.1%で最も高く、以下、「専業主婦・専業主夫」(16.8%)、「パートタイム・アルバイト」(16.5%)、「その他(年金生活者・失業中の方など)」(12.6%)、「商・工・サービスの自営業主」(5.8%) などとなっている。

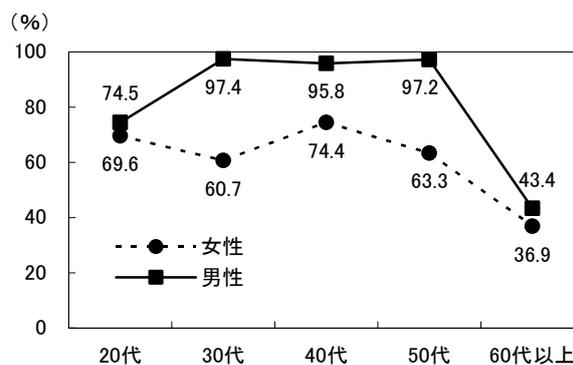
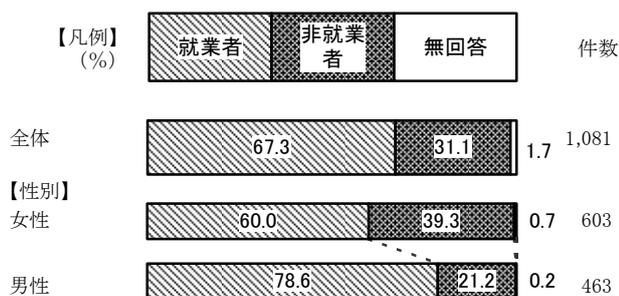


- 就労形態をみると、「フルタイム」労働は72.1%であり、女性（52.2%）よりも男性（91.8%）の割合が高くなっている。



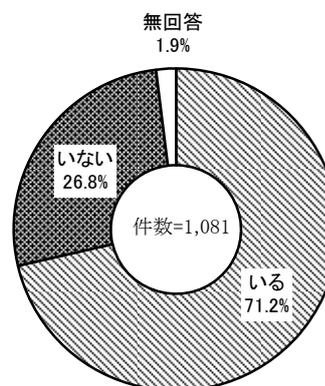
- 就労の有無をみると、「就業者」は67.3%であり、女性（60.0%）よりも男性（78.6%）の割合が高くなっている。

就業者の割合を性・年代別でみると、いずれの年代においても男性の就業者割合が高く、特に30代では36.7ポイント、50代では33.9ポイントの差がみられる。



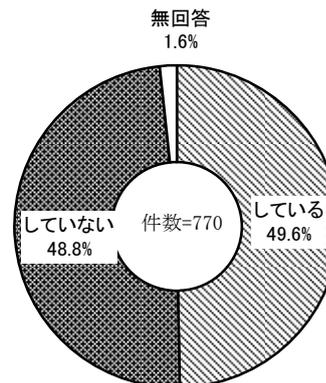
#### 1-4 配偶者の有無

- 配偶者の有無は、「いる（事実婚や別居中を含む）」が71.2%、「いない（死別や離婚を含む）」が26.8%となっている。



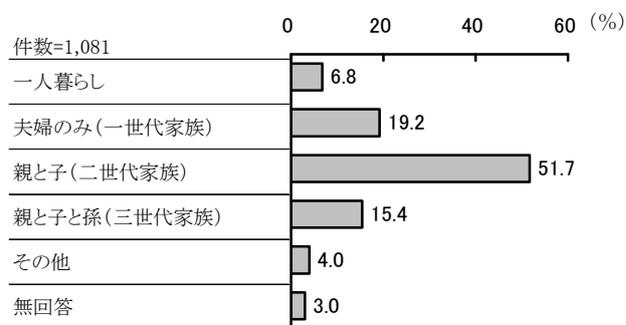
### 1-5 共働きの有無

- 配偶者がいる人で、共働きを「している」のは49.6%、「していない」のは48.8%で、ほぼ同じ割合となっている。



### 1-6 家族構成

- 家族構成は、「親と子（二世世代家族）」（51.7%）が半数以上を占めて高く、次いで「夫婦のみ（一世代家族）」が19.2%、「親と子と孫（三世世代家族）」が15.4%、「一人暮らし」が6.8%となっている。



## 2 男女の平等感について

### 2-1 社会全体の男女の地位評価

問1 社会全体でみた場合は、男女の地位は平等になっていると思いますか。(1つだけ)

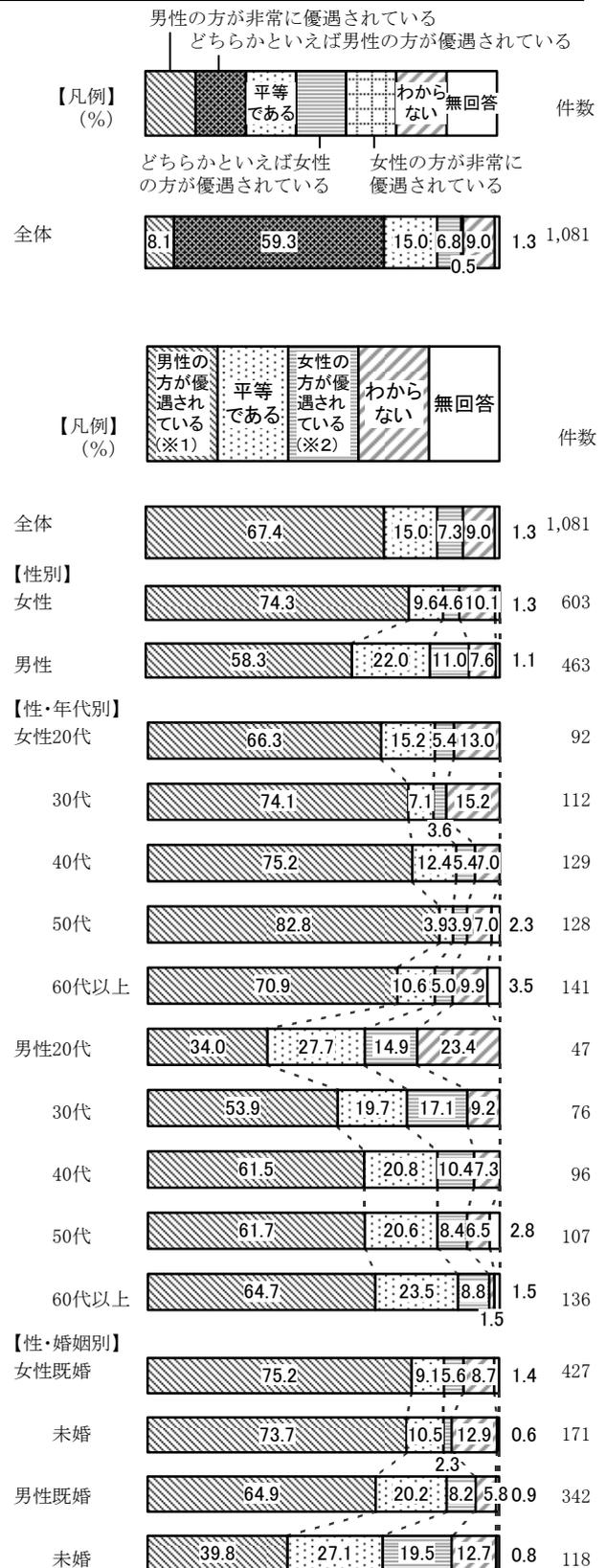
- 社会全体でみた場合の男女の地位について評価してもらったところ、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が59.3%で最も高くなっている。これに「男性の方が非常に優遇されている」(8.1%)をあわせた“男性の方が優遇されている(※1)”と評価する人は67.4%を占める。一方、“女性の方が優遇されている(※2)”と評価する人は7.3%にとどまっている。

- 性別で見ると、“男性の方が優遇されている(※1)”と評価する人は、男性(58.3%)よりも女性(74.3%)の割合が高くなっている。

- 性・年代別で見ると、“男性の方が優遇されている(※1)”と評価する人は、男性20代が34.0%で各年代の中で最も低くなっており、また27.7%が「平等である」と最も高くなっている。

- 性・婚姻別で見ると、“男性の方が優遇されている(※1)”と評価する人は、女性既婚が75.2%で最も高くなっている。また、「平等である」、「女性の方が優遇されている(※2)”は男性未婚で最も高くなっている。

(※1) 「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計  
 (※2) 「女性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の計



## 国、愛知県の調査、市の過去調査との比較

- 国、愛知県の調査と比較すると、“男性の方が優遇されている（※1）”は国（71.5%）や愛知県（72.7%）よりも豊橋市（67.4%）の方が若干低くなっている。「平等である」についてみると、愛知県（14.4%）とは差がないが、国（23.2%）と比べると8.2ポイント下回っている。
- 豊橋市の過去の調査と比較すると、“男性が優遇されている（※1）”と評価する女性は減少し続け、平成13年から6.8ポイント減少している。一方、男性は増減を繰り返している。また、「平等である」は男女ともに増加傾向にあり、全体でみると平成13年の7.7%から平成23年の15.0%へと2倍以上増加している。

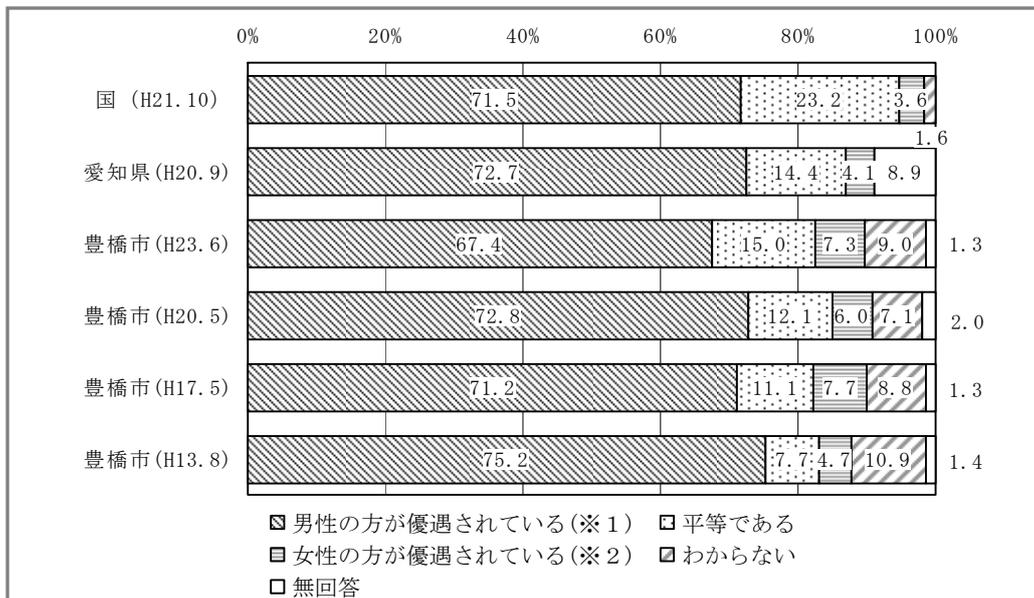
(%)

	男性の方が非常に優遇されている (A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている (B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている (C)	女性の方が非常に優遇されている (D)	わからない (どちらともいえない)	無回答	男性の方が優遇されている (※1) (A+B)	女性の方が優遇されている (※2) (C+D)
国 (H21.10)	<b>9.7</b>	<b>61.9</b>	<b>23.2</b>	<b>3.4</b>	<b>0.3</b>	<b>1.6</b>	-	<b>71.5</b>	<b>3.6</b>
女性	11.6	66.1	18.0	2.3	0.2	1.9	-	77.6	2.4
男性	7.5	57.0	29.2	4.6	0.4	1.2	-	64.6	5.0
愛知県 (H20.9)	<b>14.3</b>	<b>58.4</b>	<b>14.4</b>	<b>3.2</b>	<b>0.9</b>		<b>8.9</b>	<b>72.7</b>	<b>4.1</b>
女性	20.0	59.4	9.2	2.0	0.3		9.0	79.4	2.3
男性	7.5	57.2	20.6	4.5	1.5		8.7	64.7	6.0
豊橋市 (H23.6)	<b>8.1</b>	<b>59.3</b>	<b>15.0</b>	<b>6.8</b>	<b>0.5</b>	<b>9.0</b>	<b>1.3</b>	<b>67.4</b>	<b>7.3</b>
女性	10.9	63.3	9.6	4.3	0.3	10.1	1.3	74.2	4.6
男性	4.1	54.2	22.0	10.4	0.6	7.6	1.1	58.3	11.0
豊橋市 (H20.5)	<b>10.5</b>	<b>62.3</b>	<b>12.1</b>	<b>5.4</b>	<b>0.7</b>	<b>7.1</b>	<b>2.0</b>	<b>72.8</b>	<b>6.0</b>
女性	11.4	66.0	8.3	3.7	0.5	8.7	1.4	77.4	4.2
男性	9.5	57.9	17.3	7.3	1.0	5.6	1.4	67.5	8.3
豊橋市 (H17.5)	<b>10.6</b>	<b>60.6</b>	<b>11.1</b>	<b>7.1</b>	<b>0.6</b>	<b>8.8</b>	<b>1.3</b>	<b>71.2</b>	<b>7.7</b>
女性	13.5	64.5	6.2	3.6	0.2	10.6	1.5	78.0	3.7
男性	6.8	54.9	18.0	11.9	1.2	6.3	0.9	61.7	13.1
豊橋市 (H13.8)	<b>19.8</b>	<b>55.4</b>	<b>7.7</b>	<b>4.3</b>	<b>0.4</b>	<b>10.9</b>	<b>1.4</b>	<b>75.2</b>	<b>4.7</b>
女性	25.6	55.4	3.9	4.1	0.0	9.7	1.2	81.0	4.1
男性	12.4	56.1	12.7	4.4	1.0	12.1	1.3	68.5	5.4

(※) -は、調査していない項目

(※) 平成13年調査では「わからない」は「どちらともいえない」となっている。

(※) 愛知県の調査では、「わからない」と「無回答」を足した割合



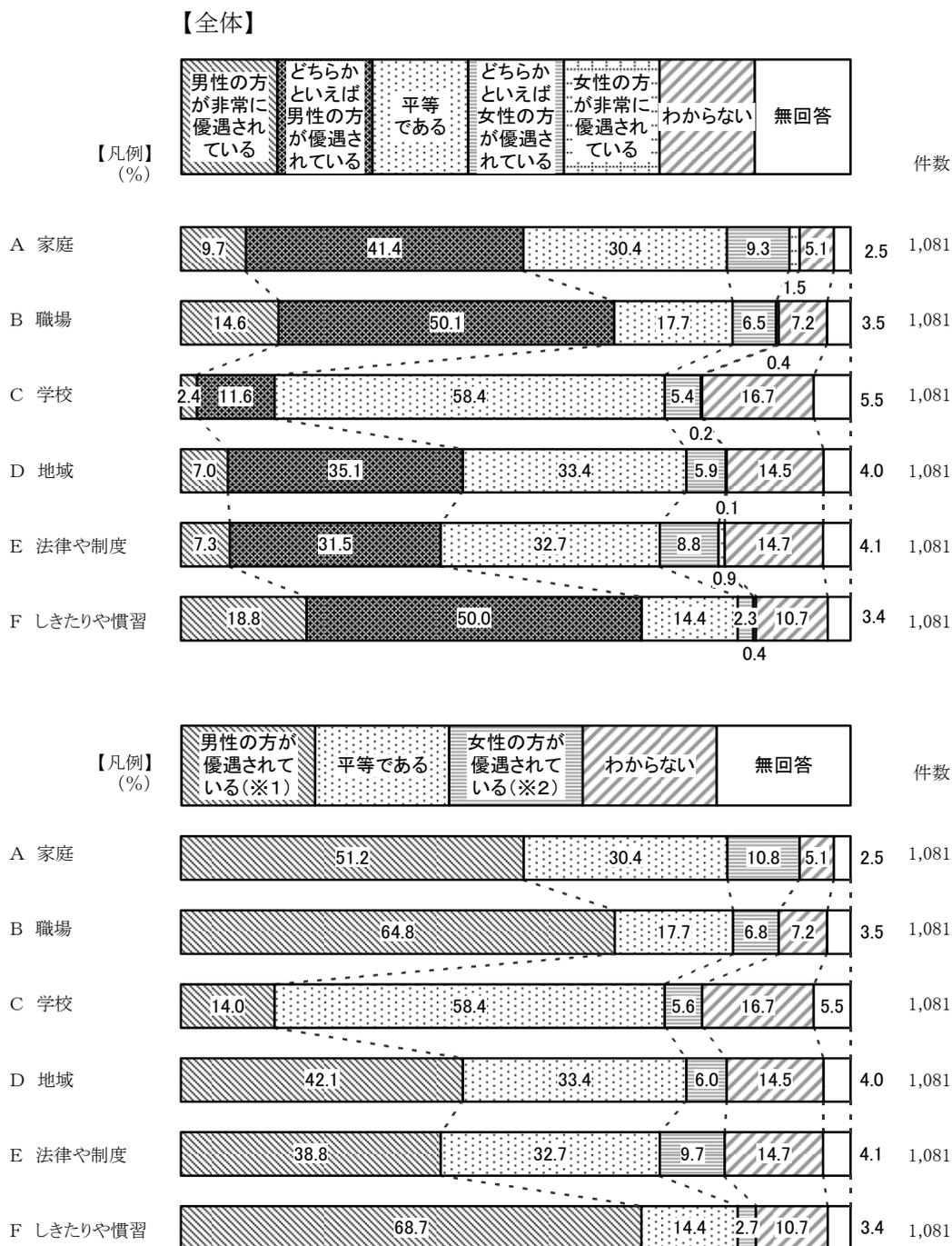
(※1) 「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計

(※2) 「女性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の計

## 2-2 各場面および分野の男女の地位評価

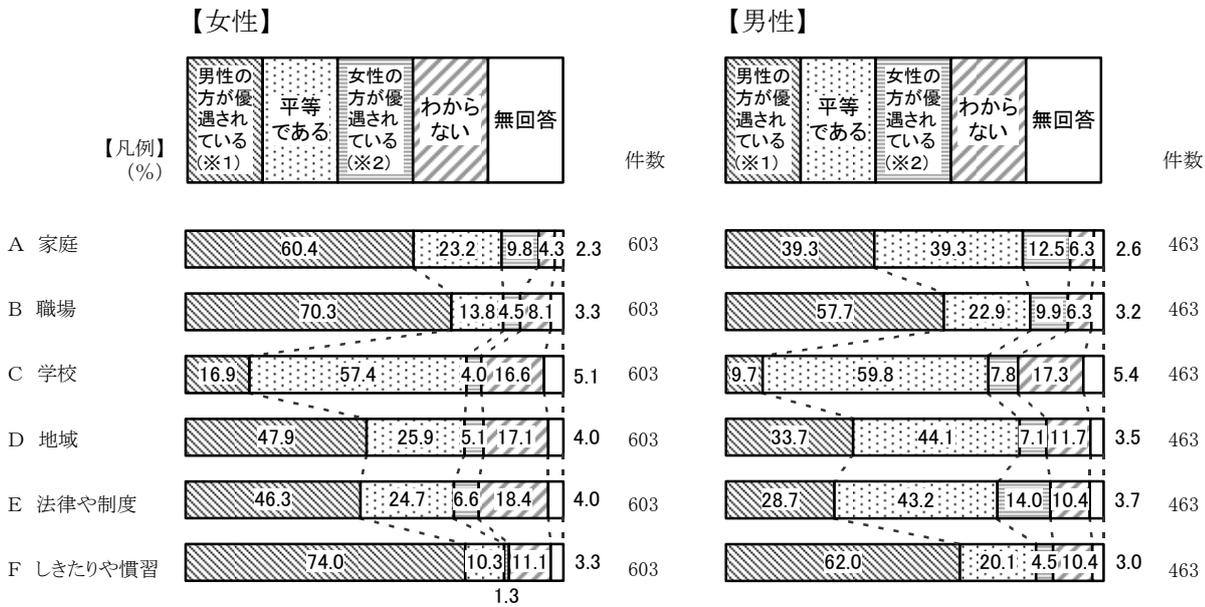
問2 各場面および分野における男女の地位は平等になっていますか。(各1つずつ)

- 場面及び分野別に男女の地位を評価してもらったところ、“男性の方が優遇されている（※1）”と評価する人は、「F しきたりや慣習」（68.7%）、「B 職場」（64.8%）では6割以上を占めている。また、「平等である」との評価は、「C 学校」（58.4%）では約6割を占めている。



(※1) 「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計  
 (※2) 「女性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の計

- 性別でみると、“男性の方が優遇されている（※1）”と評価する人は、いずれの場面・分野においても女性の割合が高く、特に「A 家庭」（21.1ポイント）、「E 法律や制度」（17.6ポイント）では大きな差がみられる。「平等である」と評価する人及び“女性が優遇されている（※2）”と評価する人は、いずれの場面・分野においても男性の割合が高くなっている。



(※1) 「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計  
 (※2) 「女性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の計

- 性・年代別でみると、“男性の方が優遇されている（※1）”と評価する人は、「A 家庭」「D 地域」「F しきたりや慣習」では女性40代、50代で、「B 職場」では女性30代（82.1%）で、「E 法律や制度」では女性30代以上で高くなっている。一方、“女性の方が優遇されている（※2）”と評価する人は、いずれの場面・分野においても男性20代・30代のどちらかが最も高くなっている。

A 家庭

	件数	男性の方が優遇されている（※1）	平等である	女性の方が優遇されている（※2）	わからない	無回答	
全体	1081	51.2	30.4	10.8	5.1	2.5	
性・年代	女性20代	92	44.6	33.7	13.0	7.6	1.1
	30代	112	58.0	25.9	11.6	3.6	0.9
	40代	129	69.0	22.5	6.2	1.6	0.8
	50代	128	64.8	20.3	7.0	3.9	3.9
	60代以上	141	60.3	17.7	12.1	5.7	4.3
	男性20代	47	29.8	40.4	17.0	12.8	-
	30代	76	28.9	39.5	22.4	9.2	-
	40代	96	41.7	34.4	13.5	9.4	1.0
	50代	107	40.2	43.9	8.4	3.7	3.7
	60代以上	136	45.6	39.0	8.1	2.2	5.1

B 職場

	件数	男性の方が優遇されている（※1）	平等である	女性の方が優遇されている（※2）	わからない	無回答	
全体	1081	64.8	17.7	6.8	7.2	3.5	
性・年代	女性20代	92	68.5	19.6	7.6	4.3	-
	30代	112	82.1	2.7	6.3	8.0	0.9
	40代	129	66.7	20.2	5.4	7.0	0.8
	50代	128	74.2	13.3	2.3	8.6	1.6
	60代以上	141	61.7	13.5	2.1	11.3	11.3
	男性20代	47	44.7	34.0	12.8	8.5	-
	30代	76	59.2	21.1	13.2	6.6	-
	40代	96	59.4	21.9	11.5	6.3	1.0
	50代	107	55.1	29.9	10.3	2.8	1.9
	60代以上	136	62.5	15.4	5.9	7.4	8.8

C 学校

	件数	男性の方が優遇されている（※1）	平等である	女性の方が優遇されている（※2）	わからない	無回答	
全体	1081	14.0	58.4	5.6	16.7	5.5	
性・年代	女性20代	92	9.8	65.2	5.4	18.5	1.1
	30代	112	12.5	63.4	6.3	16.1	1.8
	40代	129	20.9	62.0	1.6	14.0	1.6
	50代	128	21.1	54.7	3.1	17.2	3.9
	60代以上	141	17.0	46.1	4.3	17.7	14.9
	男性20代	47	4.3	66.0	19.1	10.6	-
	30代	76	9.2	57.9	10.5	22.4	-
	40代	96	8.3	67.7	5.2	17.7	1.0
	50代	107	7.5	73.8	2.8	10.3	5.6
	60代以上	136	14.7	42.6	8.1	21.3	13.2

D 地域

	件数	男性の方が優遇されている（※1）	平等である	女性の方が優遇されている（※2）	わからない	無回答	
全体	1081	42.1	33.4	6.0	14.5	4.0	
性・年代	女性20代	92	32.6	31.5	5.4	28.3	2.2
	30代	112	42.9	32.1	8.0	16.1	0.9
	40代	129	59.7	19.4	3.9	15.5	1.6
	50代	128	51.6	25.8	4.7	15.6	2.3
	60代以上	141	47.5	23.4	4.3	13.5	11.3
	男性20代	47	19.1	46.8	14.9	19.1	-
	30代	76	19.7	53.9	11.8	13.2	1.3
	40代	96	30.2	49.0	3.1	14.6	3.1
	50代	107	41.1	42.1	6.5	8.4	1.9
	60代以上	136	43.4	36.0	5.1	8.1	7.4

E 法律や制度

	件数	男性の方が優遇されている（※1）	平等である	女性の方が優遇されている（※2）	わからない	無回答	
全体	1081	38.8	32.7	9.7	14.7	4.1	
性・年代	女性20代	92	35.9	29.3	12.0	20.7	2.2
	30代	112	50.0	18.8	7.1	22.3	1.8
	40代	129	51.2	25.6	6.2	15.5	1.6
	50代	128	47.7	28.9	5.5	16.4	1.6
	60代以上	141	44.0	22.0	4.3	18.4	11.3
	男性20代	47	19.1	40.4	25.5	14.9	-
	30代	76	27.6	38.2	23.7	9.2	1.3
	40代	96	34.4	45.8	9.4	8.3	2.1
	50代	107	29.0	45.8	14.0	9.3	1.9
	60代以上	136	28.7	43.4	8.1	11.0	8.8

F しきたりや習慣

	件数	男性の方が優遇されている（※1）	平等である	女性の方が優遇されている（※2）	わからない	無回答	
全体	1081	68.7	14.4	2.7	10.7	3.4	
性・年代	女性20代	92	62.0	18.5	2.2	16.3	1.1
	30代	112	73.2	9.8	0.9	15.2	0.9
	40代	129	81.4	9.3	0.8	7.0	1.6
	50代	128	82.0	6.3	-	9.4	2.3
	60代以上	141	68.1	9.9	2.8	9.9	9.2
	男性20代	47	46.8	29.8	4.3	19.1	-
	30代	76	56.6	21.1	7.9	13.2	1.3
	40代	96	61.5	19.8	6.3	11.5	1.0
	50代	107	68.2	19.6	1.9	8.4	1.9
	60代以上	136	65.4	16.9	3.7	6.6	7.4

（※1）「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計  
 （※2）「女性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の計

- 社会全体の地位評価（問1）別に見ると、社会全体では“男性の方が優遇されている（※1）”と評価する人のうち、場面及び分野別の男女地位評価（問2）で「平等である」と評価する人が「C 学校」では60%近くを占め、「A 家庭」「D 地域」「E 法律や制度」では20%を越えている。

A 家庭

	件数	男性の方が優遇されている（※1）	平等である	女性の方が優遇されている（※2）	わからない	無回答	
全体	1081	51.2	30.4	10.8	5.1	2.5	
社会全体の地位評価	男性の方が優遇されている（※1）	729	62.7	24.0	8.9	2.5	1.9
	平等である	162	21.6	61.7	10.5	4.9	1.2
	女性の方が優遇されている（※2）	79	34.2	32.9	26.6	5.1	1.3
	わからない	97	34.0	24.7	13.4	24.7	3.1

B 職場

	件数	男性の方が優遇されている（※1）	平等である	女性の方が優遇されている（※2）	わからない	無回答	
全体	1081	64.8	17.7	6.8	7.2	3.5	
社会全体の地位評価	男性の方が優遇されている（※1）	729	82.0	10.6	1.6	3.8	1.9
	平等である	162	30.2	51.2	8.6	3.7	6.2
	女性の方が優遇されている（※2）	79	22.8	16.5	51.9	6.3	2.5
	わからない	97	33.0	17.5	7.2	37.1	5.2

C 学校

	件数	男性の方が優遇されている（※1）	平等である	女性の方が優遇されている（※2）	わからない	無回答	
全体	1081	14.0	58.4	5.6	16.7	5.5	
社会全体の地位評価	男性の方が優遇されている（※1）	729	18.9	59.1	3.7	14.3	4.0
	平等である	162	4.3	71.0	6.8	11.1	6.8
	女性の方が優遇されている（※2）	79	1.3	48.1	20.3	22.8	7.6
	わからない	97	5.2	44.3	6.2	38.1	6.2

D 地域

	件数	男性の方が優遇されている（※1）	平等である	女性の方が優遇されている（※2）	わからない	無回答	
全体	1081	42.1	33.4	6.0	14.5	4.0	
社会全体の地位評価	男性の方が優遇されている（※1）	729	52.9	28.8	3.3	12.5	2.5
	平等である	162	24.1	56.2	6.2	8.6	4.9
	女性の方が優遇されている（※2）	79	13.9	35.4	30.4	15.2	5.1
	わからない	97	18.6	32.0	5.2	39.2	5.2

E 法律や制度

	件数	男性の方が優遇されている（※1）	平等である	女性の方が優遇されている（※2）	わからない	無回答	
全体	1081	38.8	32.7	9.7	14.7	4.1	
社会全体の地位評価	男性の方が優遇されている（※1）	729	49.2	29.8	5.3	12.5	3.2
	平等である	162	21.0	54.3	10.5	9.9	4.3
	女性の方が優遇されている（※2）	79	10.1	32.9	45.6	8.9	2.5
	わからない	97	15.5	21.6	12.4	45.4	5.2

F しきたりや慣習

	件数	男性の方が優遇されている（※1）	平等である	女性の方が優遇されている（※2）	わからない	無回答	
全体	1081	68.7	14.4	2.7	10.7	3.4	
社会全体の地位評価	男性の方が優遇されている（※1）	729	80.5	8.8	1.4	7.0	2.3
	平等である	162	48.8	33.3	3.1	10.5	4.3
	女性の方が優遇されている（※2）	79	48.1	26.6	13.9	10.1	1.3
	わからない	97	34.0	17.5	3.1	40.2	5.2

（※1）「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計

（※2）「女性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の計

## 国、愛知県の調査、市の過去調査との比較

- 国、愛知県の調査と比較すると、「平等である」との評価は、全体的に愛知県とは大差は見られないが、国より低くなっている。「家庭」「職場」「しきたりや慣習」では愛知県より高く、国より低くなっている。
- 豊橋市の過去の調査と比較すると、「平等である」との評価は、各場面及び分野で増えているが、特に「家庭」(8.8ポイント)、「職場」(5.5ポイント)、「しきたりや慣習」(6.7ポイント)では平成13年から5ポイント以上増加している。

(家庭)

(%)

	男性の方が非常に優遇されている (A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている (B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている (C)	女性の方が非常に優遇されている (D)	わからない (H13調査はどちらともいえない)	無回答	男性が優遇されている (※1) (A+B)	女性が優遇されている (※2) (C+D)
国 (H21.10)	<b>7.8</b>	<b>38.7</b>	<b>43.1</b>	<b>6.7</b>	<b>1.7</b>	<b>1.9</b>	-	<b>46.5</b>	<b>8.4</b>
女性	10.2	44.2	36.0	6.0	1.7	1.9	-	54.5	7.6
男性	5.0	32.5	51.3	7.5	1.7	2.0	-	37.5	9.3
愛知県 (H20.9)	<b>16.4</b>	<b>40.4</b>	<b>26.6</b>	<b>7.0</b>	<b>2.3</b>	<b>4.1</b>	<b>3.1</b>	<b>56.8</b>	<b>9.3</b>
女性	23.1	42.9	19.8	4.9	1.7	4.5	3.0	66.0	6.6
男性	8.5	37.5	34.8	9.4	3.0	3.7	3.1	46.0	12.4
豊橋市 (H23.6)	<b>9.7</b>	<b>41.4</b>	<b>30.4</b>	<b>9.3</b>	<b>1.5</b>	<b>5.1</b>	<b>2.5</b>	<b>51.1</b>	<b>10.8</b>
女性	13.1	47.3	23.2	8.6	1.2	4.3	2.3	60.4	9.8
男性	5.2	34.1	39.3	10.6	1.9	6.3	2.6	39.3	12.5
豊橋市 (H20.5)	<b>14.5</b>	<b>42.8</b>	<b>27.9</b>	<b>7.8</b>	<b>0.9</b>	<b>4.6</b>	<b>1.6</b>	<b>57.2</b>	<b>8.7</b>
女性	18.6	47.3	21.7	5.5	0.6	5.0	1.4	65.8	6.1
男性	9.7	36.9	36.1	10.9	1.2	4.0	1.2	46.6	12.1
豊橋市 (H17.5)	<b>14.2</b>	<b>47.0</b>	<b>23.3</b>	<b>6.2</b>	<b>0.5</b>	<b>4.4</b>	<b>4.4</b>	<b>61.2</b>	<b>6.7</b>
女性	20.0	48.4	18.1	4.9	0.5	4.2	3.9	68.4	5.4
男性	5.6	45.1	31.3	7.9	0.5	4.7	4.9	50.7	8.4
豊橋市 (H13.8)	<b>22.2</b>	<b>38.4</b>	<b>21.6</b>	<b>5.5</b>	<b>1.8</b>	<b>7.7</b>	<b>2.7</b>	<b>60.6</b>	<b>7.3</b>
女性	28.4	37.3	17.0	4.5	1.4	8.5	3.0	65.7	5.9
男性	15.2	40.6	28.2	5.7	2.3	6.2	1.8	55.8	8.0

(職場)

(%)

	男性の方が非常に優遇されている (A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている (B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている (C)	女性の方が非常に優遇されている (D)	わからない (H13調査はどちらともいえない)	無回答	男性が優遇されている (※1) (A+B)	女性が優遇されている (※2) (C+D)
国 (H21.10)	<b>15.6</b>	<b>46.5</b>	<b>24.4</b>	<b>4.4</b>	<b>0.9</b>	<b>8.1</b>	-	<b>62.1</b>	<b>5.3</b>
女性	18.3	46.9	20.4	2.7	0.7	11.0	-	65.2	3.4
男性	12.5	46.1	29.0	6.5	1.1	4.8	-	58.6	7.6
愛知県 (H20.9)	<b>23.7</b>	<b>44.5</b>	<b>14.1</b>	<b>5.8</b>	<b>1.9</b>	<b>6.5</b>	<b>3.4</b>	<b>68.2</b>	<b>7.7</b>
女性	27.8	43.7	11.4	3.9	0.8	8.8	3.7	71.5	4.7
男性	18.9	45.5	17.3	8.1	3.2	3.8	3.1	64.4	11.3
豊橋市 (H23.6)	<b>14.6</b>	<b>50.1</b>	<b>17.7</b>	<b>6.5</b>	<b>0.4</b>	<b>7.2</b>	<b>3.5</b>	<b>64.7</b>	<b>6.9</b>
女性	18.7	51.6	13.8	4.5	0.0	8.1	3.3	70.3	4.5
男性	9.1	48.6	22.9	9.1	0.9	6.3	3.2	57.7	10.0
豊橋市 (H20.5)	<b>16.5</b>	<b>52.7</b>	<b>14.7</b>	<b>5.3</b>	<b>0.5</b>	<b>6.9</b>	<b>3.4</b>	<b>69.2</b>	<b>5.8</b>
女性	19.5	52.0	12.0	3.4	0.5	9.4	3.3	71.5	3.9
男性	13.1	53.4	18.5	7.3	0.6	4.2	3.0	66.5	7.9
豊橋市 (H17.5)	<b>15.9</b>	<b>50.3</b>	<b>13.5</b>	<b>5.1</b>	<b>0.6</b>	<b>7.0</b>	<b>7.7</b>	<b>66.2</b>	<b>5.7</b>
女性	19.4	51.6	9.8	3.3	0.0	9.0	7.0	71.0	3.3
男性	11.2	48.6	19.2	7.7	1.2	4.2	7.9	59.8	8.9
豊橋市 (H13.8)	<b>26.6</b>	<b>43.3</b>	<b>12.2</b>	<b>3.5</b>	<b>1.4</b>	<b>6.2</b>	<b>6.8</b>	<b>69.9</b>	<b>4.9</b>
女性	32.3	43.0	9.1	2.2	1.4	6.3	5.7	75.3	3.6
男性	19.1	44.4	16.8	4.9	1.6	5.7	7.5	63.5	6.5

(※) -は、調査していない項目

(※1) 「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計

(※2) 「女性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の計

(学校)

(%)

	男性の方が非常に優遇されている (A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている (B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている (C)	女性の方が非常に優遇されている (D)	わからない (H13調査はどちらともいえない)	無回答	男性が優遇されている (※1) (A+B)	女性が優遇されている (※2) (C+D)
国 (H21.10)	<b>1.9</b>	<b>12.0</b>	<b>68.1</b>	<b>3.9</b>	<b>0.9</b>	<b>13.1</b>	-	<b>14.0</b>	<b>4.8</b>
女性	2.3	14.4	66.1	3.5	0.6	13.2	-	16.6	4.0
男性	1.6	9.3	70.3	4.4	1.3	13.1	-	10.9	5.6
愛知県 (H20.9)	<b>3.6</b>	<b>13.9</b>	<b>57.8</b>	<b>3.9</b>	<b>0.8</b>	<b>15.4</b>	<b>4.6</b>	<b>17.5</b>	<b>4.7</b>
女性	5.1	16.1	54.7	2.3	0.8	16.3	4.7	21.2	3.1
男性	1.8	11.2	61.4	5.9	0.9	14.3	4.5	13.0	6.8
豊橋市 (H23.6)	<b>2.4</b>	<b>11.6</b>	<b>58.4</b>	<b>5.4</b>	<b>0.2</b>	<b>16.7</b>	<b>5.5</b>	<b>14.0</b>	<b>5.6</b>
女性	2.8	14.1	57.4	4.0	0.0	16.6	5.1	16.9	4.0
男性	1.9	7.8	59.8	7.3	0.4	17.3	5.4	9.7	7.7
豊橋市 (H20.5)	<b>2.2</b>	<b>13.6</b>	<b>59.1</b>	<b>4.6</b>	<b>0.6</b>	<b>16.0</b>	<b>3.9</b>	<b>15.8</b>	<b>5.2</b>
女性	3.1	17.2	55.5	3.4	0.3	16.8	3.6	20.3	3.7
男性	1.2	9.3	64.3	6.0	1.0	14.7	3.6	10.5	6.9
豊橋市 (H17.5)	<b>2.1</b>	<b>12.2</b>	<b>56.0</b>	<b>3.2</b>	<b>0.7</b>	<b>17.7</b>	<b>8.1</b>	<b>14.3</b>	<b>3.9</b>
女性	2.4	14.8	52.9	2.1	0.3	20.2	7.2	17.3	2.4
男性	1.4	8.4	61.9	4.4	1.2	13.8	8.9	9.8	5.6
豊橋市 (H13.8)	<b>3.7</b>	<b>15.9</b>	<b>54.8</b>	<b>3.2</b>	<b>1.5</b>	<b>13.2</b>	<b>7.7</b>	<b>19.6</b>	<b>4.7</b>
女性	5.7	19.9	49.1	2.4	0.8	15.8	6.3	25.6	3.2
男性	1.3	10.9	62.3	4.7	1.8	10.6	8.5	12.2	6.5

(地域)

(%)

	男性の方が非常に優遇されている (A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている (B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている (C)	女性の方が非常に優遇されている (D)	わからない (H13調査はどちらともいえない)	無回答	男性が優遇されている (※1) (A+B)	女性が優遇されている (※2) (C+D)
国 (H21.10)	<b>6.5</b>	<b>28.2</b>	<b>51.0</b>	<b>6.4</b>	<b>0.6</b>	<b>7.3</b>	-	<b>34.7</b>	<b>7.0</b>
女性	8.6	32.8	45.3	5.1	0.5	7.7	-	41.4	5.5
男性	4.1	22.8	57.5	7.9	0.9	6.8	-	27.0	8.7
愛知県 (H20.9)	<b>7.2</b>	<b>29.5</b>	<b>37.8</b>	<b>8.5</b>	<b>1.4</b>	<b>11.7</b>	<b>3.9</b>	<b>36.7</b>	<b>9.9</b>
女性	10.2	34.1	31.7	6.3	0.7	12.7	4.2	44.3	7.0
男性	3.5	24.1	45.0	11.0	2.3	10.5	3.6	27.6	13.3
豊橋市 (H23.6)	<b>7.0</b>	<b>35.1</b>	<b>33.4</b>	<b>5.9</b>	<b>0.1</b>	<b>14.5</b>	<b>4.0</b>	<b>42.1</b>	<b>6.0</b>
女性	8.5	39.5	25.9	5.0	0.2	17.1	4.0	48.0	5.2
男性	5.2	28.5	44.1	7.1	0.0	11.7	3.5	33.7	7.1
豊橋市 (H20.5)	<b>5.5</b>	<b>28.2</b>	<b>39.3</b>	<b>9.0</b>	<b>0.9</b>	<b>13.1</b>	<b>3.9</b>	<b>33.8</b>	<b>9.9</b>
女性	7.2	34.9	33.7	5.9	0.6	14.4	3.3	42.1	6.6
男性	3.6	20.6	46.2	12.7	1.0	11.9	4.0	24.2	13.7
豊橋市 (H17.5)	<b>5.4</b>	<b>30.3</b>	<b>37.3</b>	<b>7.3</b>	<b>0.2</b>	<b>12.3</b>	<b>7.2</b>	<b>35.7</b>	<b>7.5</b>
女性	6.4	33.9	32.6	6.4	0.0	14.0	6.8	40.2	6.4
男性	4.0	24.8	45.3	8.9	0.5	9.6	7.0	28.7	9.3
豊橋市 (H13.8)	<b>10.5</b>	<b>33.9</b>	<b>30.1</b>	<b>7.3</b>	<b>1.2</b>	<b>12.1</b>	<b>5.0</b>	<b>44.4</b>	<b>8.5</b>
女性	13.2	36.9	24.3	4.3	1.0	15.2	5.1	50.1	5.3
男性	7.5	30.5	37.2	10.9	1.3	8.5	4.1	38.0	12.2

(※) ーは、調査していない項目

(※) 国、愛知県、豊橋市の過去調査では「地域」は「地域活動」となっている。

(※1) 「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計

(※2) 「女性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の計

## (法律や制度)

(%)

	男性の方が非常に優遇されている (A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている (B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている (C)	女性の方が非常に優遇されている (D)	わからない (H13調査はどちらともいえない)	無回答	男性が優遇されている (※1) (A+B)	女性が優遇されている (※2) (C+D)
国 (H21.10)	<b>7.8</b>	<b>33.5</b>	<b>44.4</b>	<b>6.5</b>	<b>0.9</b>	<b>6.9</b>	-	<b>41.4</b>	<b>7.3</b>
女性	9.8	38.6	37.5	5.3	0.3	8.6	-	48.4	5.6
男性	5.6	27.8	52.5	7.8	1.5	4.9	-	33.4	9.3
愛知県 (H20.9)	<b>13.0</b>	<b>29.2</b>	<b>35.5</b>	<b>5.7</b>	<b>1.2</b>		<b>15.4</b>	<b>42.2</b>	<b>6.9</b>
女性	18.3	33.4	26.6	2.1	0.3		19.3	51.7	2.4
男性	6.7	24.2	45.9	10.1	2.2		10.9	30.9	12.3
豊橋市 (H23.6)	<b>7.3</b>	<b>31.5</b>	<b>32.7</b>	<b>8.8</b>	<b>0.9</b>	<b>14.7</b>	<b>4.1</b>	<b>38.8</b>	<b>9.7</b>
女性	10.3	36.0	24.7	6.3	0.3	18.4	4.0	46.3	6.6
男性	3.0	25.7	43.2	12.3	1.7	10.4	3.7	28.7	14.0
豊橋市 (H20.5)	<b>6.7</b>	<b>32.5</b>	<b>34.5</b>	<b>7.9</b>	<b>0.9</b>	<b>13.9</b>	<b>3.6</b>	<b>39.2</b>	<b>8.8</b>
女性	9.5	40.6	25.4	3.9	0.3	17.0	3.3	50.1	4.2
男性	3.4	23.4	45.4	12.9	1.4	10.1	3.4	26.8	14.3
豊橋市 (H17.5)	<b>6.5</b>	<b>35.8</b>	<b>30.2</b>	<b>7.7</b>	<b>0.8</b>	<b>12.4</b>	<b>6.6</b>	<b>42.3</b>	<b>8.4</b>
女性	9.4	42.3	21.8	5.7	0.3	14.5	5.9	51.8	6.0
男性	2.6	26.4	42.5	10.7	1.4	9.3	7.0	29.0	12.1
豊橋市 (H13.8)	<b>13.1</b>	<b>34.6</b>	<b>29.8</b>	<b>5.0</b>	<b>1.4</b>	<b>11.4</b>	<b>4.8</b>	<b>47.7</b>	<b>6.4</b>
女性	18.7	39.6	18.3	3.6	0.6	14.4	4.7	58.3	4.2
男性	6.2	29.2	44.4	7.0	2.3	7.0	3.9	35.4	9.3

## (しきたりや慣習)

(%)

	男性の方が非常に優遇されている (A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている (B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている (C)	女性の方が非常に優遇されている (D)	わからない (H13調査はどちらともいえない)	無回答	男性が優遇されている (※1) (A+B)	女性が優遇されている (※2) (C+D)
国 (H21.10)	<b>18.7</b>	<b>53.2</b>	<b>20.6</b>	<b>3.4</b>	<b>0.5</b>	<b>3.6</b>	-	<b>71.9</b>	<b>3.9</b>
女性	21.4	54.2	17.5	2.7	0.3	4.0	-	75.6	2.9
男性	15.7	52.0	24.2	4.2	0.7	3.2	-	67.7	4.9
愛知県 (H20.9)	<b>30.0</b>	<b>46.6</b>	<b>10.9</b>	<b>2.4</b>	<b>1.1</b>		<b>9.0</b>	<b>76.6</b>	<b>3.5</b>
女性	37.1	43.3	7.5	1.6	0.6		9.9	80.4	2.2
男性	21.5	50.6	14.9	3.4	1.6		7.9	72.1	5.0
豊橋市 (H23.6)	<b>18.8</b>	<b>50.0</b>	<b>14.4</b>	<b>2.3</b>	<b>0.4</b>	<b>10.7</b>	<b>3.4</b>	<b>68.8</b>	<b>2.7</b>
女性	24.4	49.6	10.3	1.3	0.0	11.1	3.3	74.0	1.3
男性	11.0	51.0	20.1	3.7	0.9	10.4	3.0	62.0	4.6
豊橋市 (H20.5)	<b>21.0</b>	<b>49.9</b>	<b>14.5</b>	<b>2.7</b>	<b>0.7</b>	<b>8.3</b>	<b>2.8</b>	<b>70.9</b>	<b>3.4</b>
女性	26.2	50.2	9.7	1.6	0.5	9.5	2.3	76.4	2.0
男性	14.9	50.2	20.4	4.2	0.8	6.7	2.8	65.1	5.0
豊橋市 (H17.5)	<b>22.6</b>	<b>49.2</b>	<b>12.0</b>	<b>2.6</b>	<b>0.0</b>	<b>7.8</b>	<b>5.9</b>	<b>71.8</b>	<b>2.6</b>
女性	28.8	47.1	9.4	1.5	0.0	8.0	5.2	75.9	1.5
男性	13.6	53.3	15.9	4.0	0.0	7.2	6.1	66.8	4.0
豊橋市 (H13.8)	<b>39.0</b>	<b>41.2</b>	<b>7.7</b>	<b>1.6</b>	<b>0.6</b>	<b>6.7</b>	<b>3.1</b>	<b>80.2</b>	<b>2.2</b>
女性	46.7	35.5	5.3	1.2	0.2	8.3	2.8	82.2	1.4
男性	28.9	49.6	10.6	2.1	1.0	4.4	3.4	78.5	3.1

(※) -は、調査していない項目

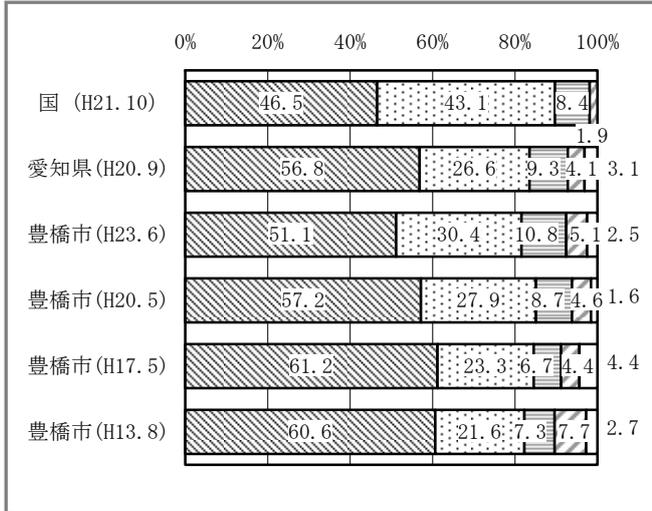
(※) 愛知県の調査では、「わからない」と「無回答」を足した割合

(※1) 「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計

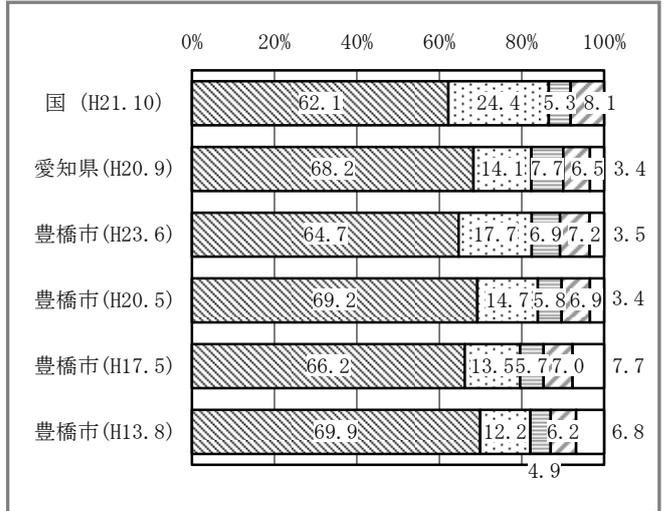
(※2) 「女性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の計



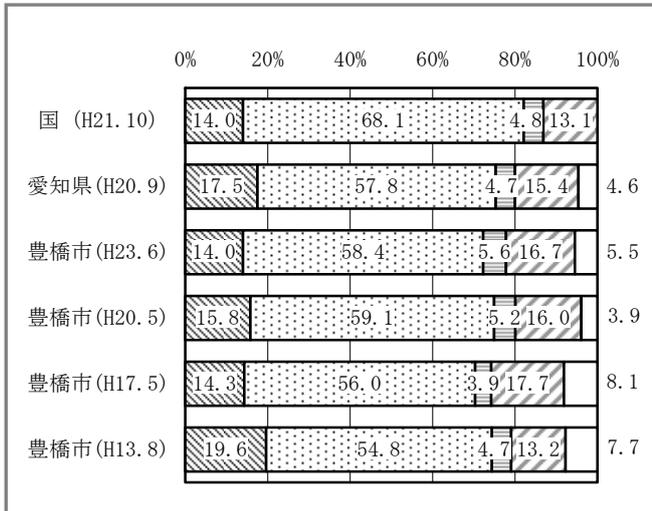
【家庭】



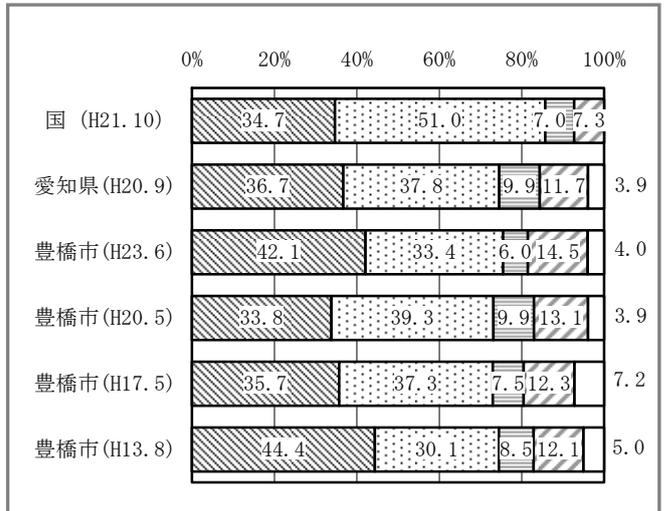
【職場】



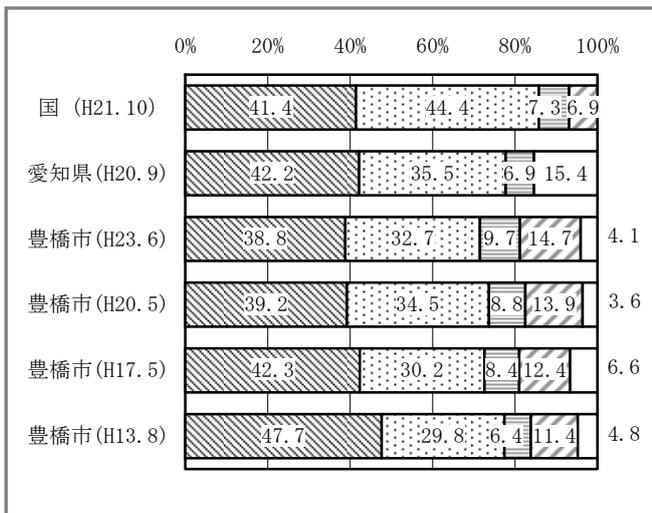
【学校】



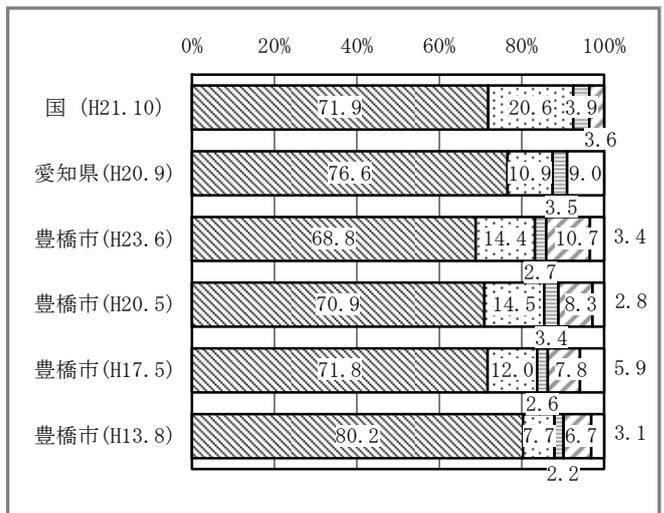
【地域】



【法律や制度】



【しきたりや慣習】



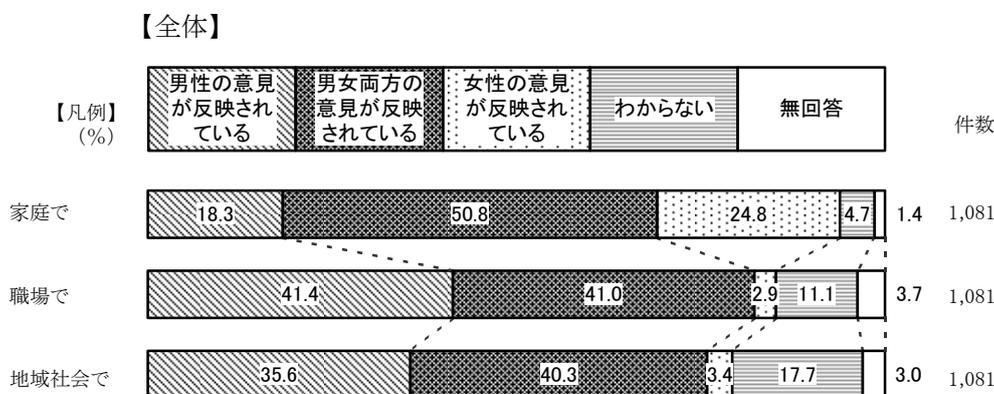
(※) 国、愛知県、豊橋市の過去調査では「地域」は「地域活動」となっている。  
 (※) 愛知県の調査では、「法律や制度」「しきたりや慣習」は「わからない」と「無回答」を足した割合  
 (※1) 「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計  
 (※2) 「女性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の計

### 3 男女の意思決定について

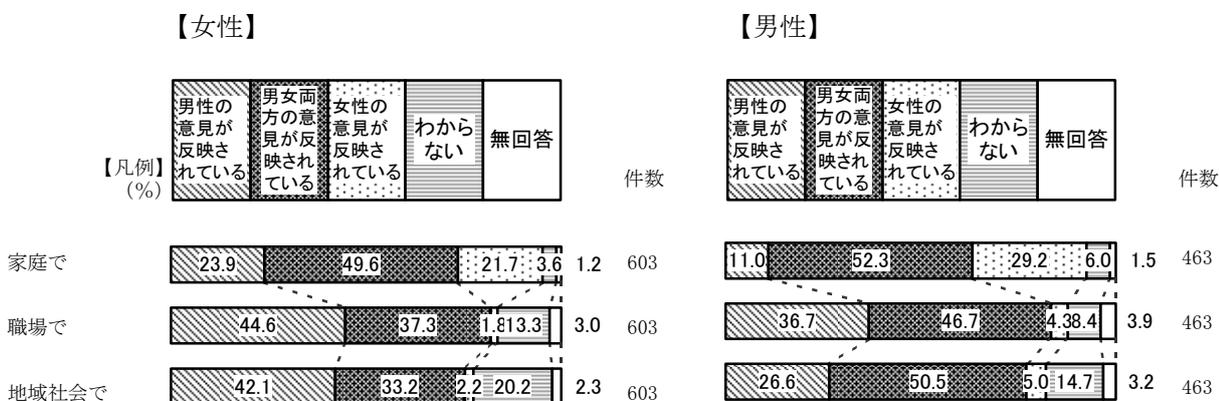
#### 3-1 各場面の意見の反映度

問3 次の場面で男女どちらの意見が反映されていると思いますか。(1つだけ)

- 場面別に男女の意見の反映度をたずねたところ、「家庭で」では「男女両方の意見が反映されている」が50.8%を占めており、次いで「女性の意見が反映されている」(24.8%)、「男性の意見が反映されている」(18.3%)となっている。一方、「職場で」「地域社会で」では「男女両方の意見が反映されている」が約4割を占めるものの、「男性の意見が反映されている」の割合も高く、「女性の意見が反映されている」は5%以下となっている。



- 性別でみると、「男性の意見が反映されている」は、いずれの場面においても女性の割合が高く、「男女両方の意見が反映されている」「女性の意見が反映されている」は男性で高くなっている。



- 女性20代と男性20代というように同年代の性別で比較すると、「男性の意見が反映されている」は、いずれの場面、いずれの年代層においても女性の割合が高い。

家庭で

	件数	て男性の意見が反映され	さ男女両方の意見が反映	て女性の意見が反映され	わからない	無回答	
全体	1081	18.3	50.8	24.8	4.7	1.4	
性・年代	女性20代	92	17.4	54.3	23.9	4.3	-
	30代	112	22.3	48.2	25.0	4.5	-
	40代	129	25.6	54.3	17.1	3.1	-
	50代	128	25.0	46.9	23.4	3.1	1.6
	60代以上	141	27.0	45.4	20.6	3.5	3.5
	男性20代	47	2.1	57.4	27.7	12.8	-
	30代	76	13.2	46.1	31.6	9.2	-
	40代	96	7.3	56.3	30.2	5.2	1.0
	50代	107	7.5	51.4	32.7	5.6	2.8
	60代以上	136	18.4	51.5	25.0	2.9	2.2

職場で

	件数	て男性の意見が反映され	さ男女両方の意見が反映	て女性の意見が反映され	わからない	無回答	
全体	1081	41.4	41.0	2.9	11.1	3.7	
性・年代	女性20代	92	43.5	41.3	2.2	13.0	-
	30代	112	48.2	38.4	-	11.6	1.8
	40代	129	47.3	38.8	3.1	10.1	0.8
	50代	128	45.3	37.5	1.6	14.8	0.8
	60代以上	141	39.0	32.6	2.1	16.3	9.9
	男性20代	47	40.4	40.4	4.3	14.9	-
	30代	76	31.6	51.3	9.2	6.6	1.3
	40代	96	36.5	55.2	4.2	3.1	1.0
	50代	107	38.3	53.3	2.8	2.8	2.8
	60代以上	136	37.5	35.3	2.9	14.7	9.6

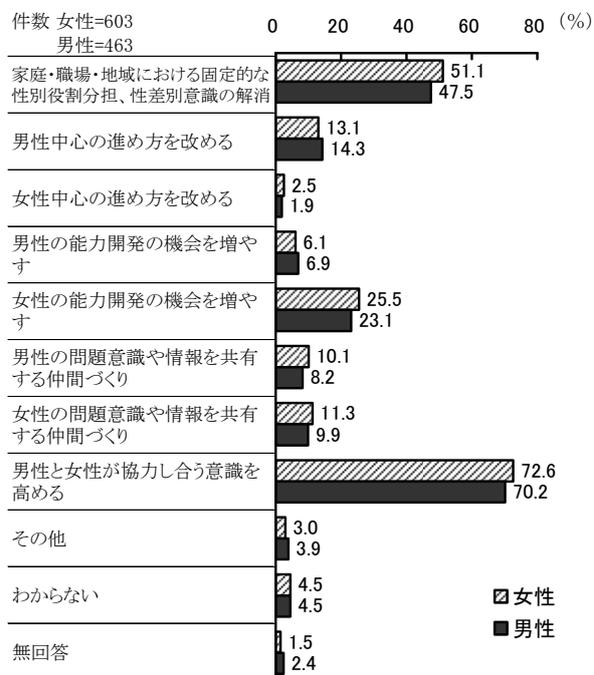
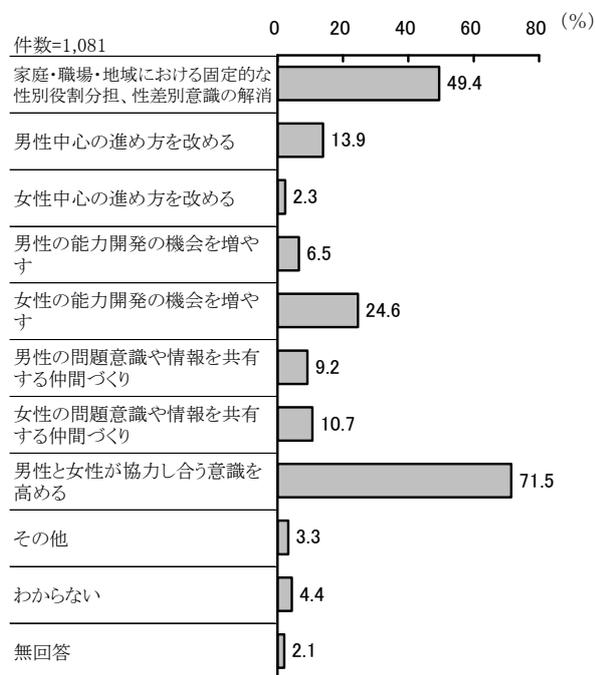
地域社会で

	件数	て男性の意見が反映され	さ男女両方の意見が反映	て女性の意見が反映され	わからない	無回答	
全体	1081	35.6	40.3	3.4	17.7	3.0	
性・年代	女性20代	92	37.0	33.7	2.2	27.2	-
	30代	112	42.0	30.4	2.7	24.1	0.9
	40代	129	48.1	35.7	-	15.5	0.8
	50代	128	42.2	36.7	1.6	18.0	1.6
	60代以上	141	39.7	29.8	4.3	19.1	7.1
	男性20代	47	25.5	34.0	8.5	31.9	-
	30代	76	19.7	56.6	7.9	15.8	-
	40代	96	33.3	46.9	4.2	15.6	-
	50代	107	20.6	59.8	2.8	14.0	2.8
	60代以上	136	30.9	47.8	4.4	8.1	8.8

### 3-2 男女が協力して意思決定を行えるようにするために必要なこと

問4 男女が協力して意思決定を行えるようにするためには、どうしたら良いと思いますか。  
(1つだけ)

- 男女が協力して意思決定を行えるようにするために必要なことは、「男性と女性が協力し合う意識を高める」が71.5%で最も高く、次いで「家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識の解消」が49.4%、「女性の能力開発の機会を増やす」が24.6%となっている。
- 性別でもみても大きな差はみられない。



- 性・年代別で見ると、「家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識の解消」は女性30～50代で高く、「女性の能力開発の機会を増やす」は男女ともに20代、30代で高くなっている。
- 性・共働き別で見ると、「家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識の解消」は共働きをしている女性（56.9%）で、「男性と女性が協力し合う意識を高める」は共働きをしていない女性（78.5%）で高くなっている。

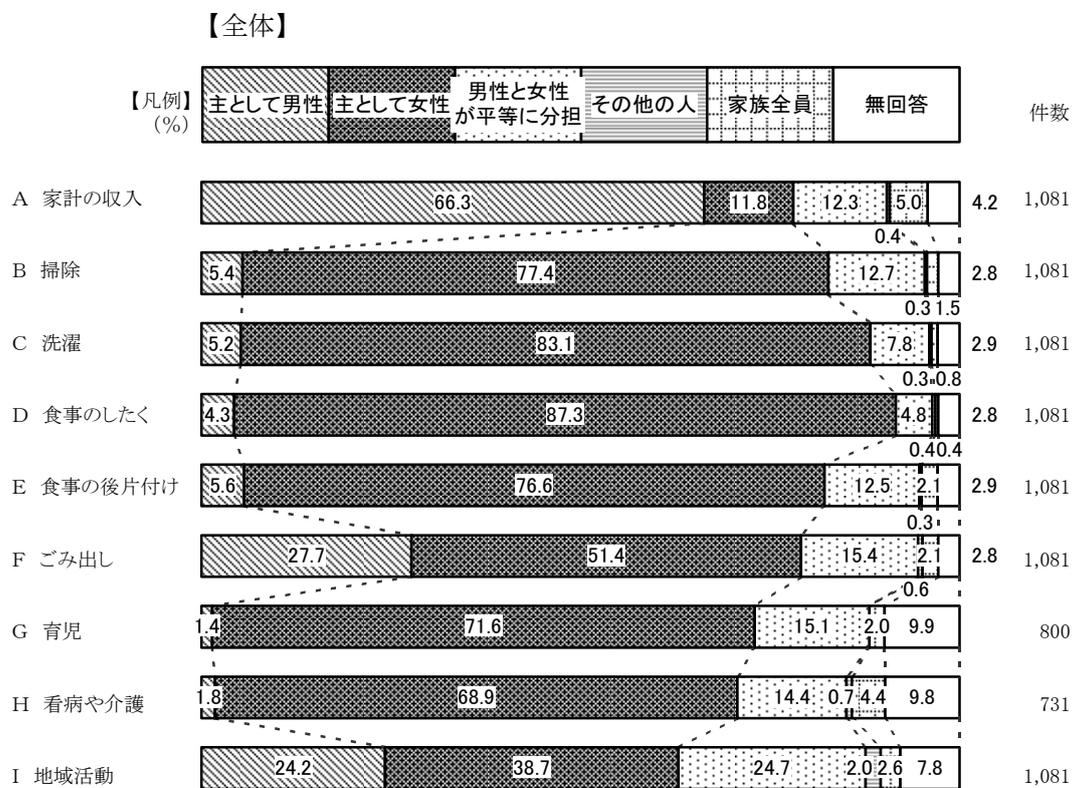
	件数	意識的な解消	家庭・職場・地域における性別役割分担、性差別意識の解消	男性中心の進め方を改める	女性中心の進め方を改める	男性の能力開発の機会を増やす	女性の能力開発の機会を増やす	男性の問題意識や情報を共有する仲間づくり	女性の問題意識や情報を共有する仲間づくり	男性と女性が協力し合う意識を高める	その他	わからない	無回答
全体	1081	49.4	13.9	2.3	6.5	24.6	9.2	10.7	71.5	3.3	4.4	2.1	
性・年代	女性20代	92	40.2	6.5	4.3	10.9	33.7	14.1	18.5	73.9	2.2	6.5	1.1
	30代	112	55.4	17.0	3.6	3.6	29.5	13.4	14.3	71.4	5.4	3.6	1.8
	40代	129	56.6	12.4	0.8	3.1	20.9	13.2	13.2	65.9	4.7	7.8	-
	50代	128	58.6	14.1	2.3	5.5	21.9	3.9	6.3	75.0	2.3	-	-
	60代以上	141	42.6	14.2	2.1	8.5	24.1	7.8	6.4	76.6	0.7	5.0	4.3
	男性20代	47	46.8	6.4	2.1	12.8	27.7	14.9	17.0	74.5	2.1	4.3	-
	30代	76	43.4	18.4	3.9	13.2	28.9	10.5	11.8	60.5	6.6	5.3	3.9
	40代	96	44.8	11.5	2.1	2.1	18.8	4.2	8.3	63.5	6.3	8.3	1.0
	50代	107	52.3	12.1	1.9	6.5	24.3	10.3	13.1	69.2	3.7	2.8	2.8
	60代以上	136	48.5	18.4	0.7	5.1	20.6	5.9	5.1	79.4	1.5	2.9	2.9
性・共働き	女性共働きをしている	218	56.9	15.1	3.2	5.5	26.6	10.6	10.1	68.8	2.3	6.0	-
	共働きをしていない	214	50.0	10.7	0.9	6.1	23.8	8.9	10.3	78.5	3.3	3.3	1.4
	男性共働きをしている	165	50.3	17.0	1.2	3.6	22.4	6.1	6.7	73.9	3.6	3.6	1.2
	共働きをしていない	183	50.3	12.0	1.6	7.1	21.9	7.7	8.7	66.7	4.4	4.9	4.4

## 4 家庭・仕事・地域活動のバランスについて

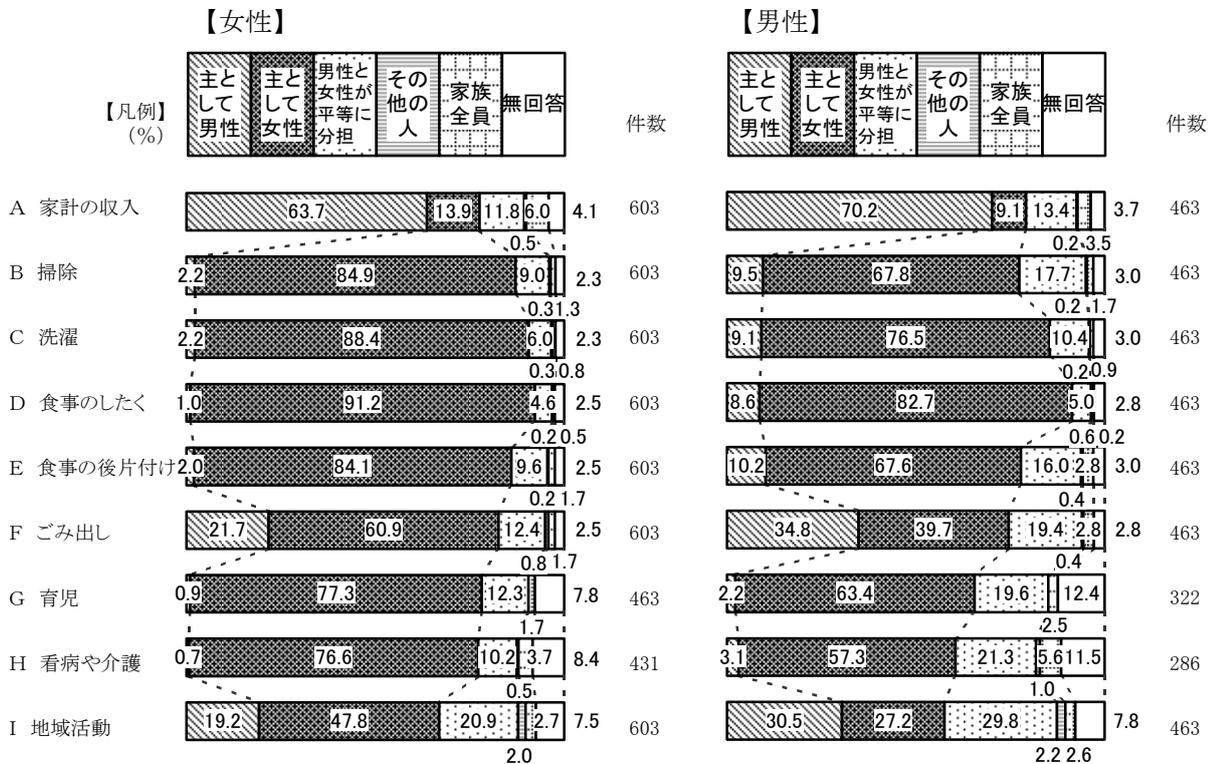
### 4-1 家庭における役割分担

問5 あなたの家庭では、次にあげる項目について、主にだれが担っていますか。(各1つずつ)

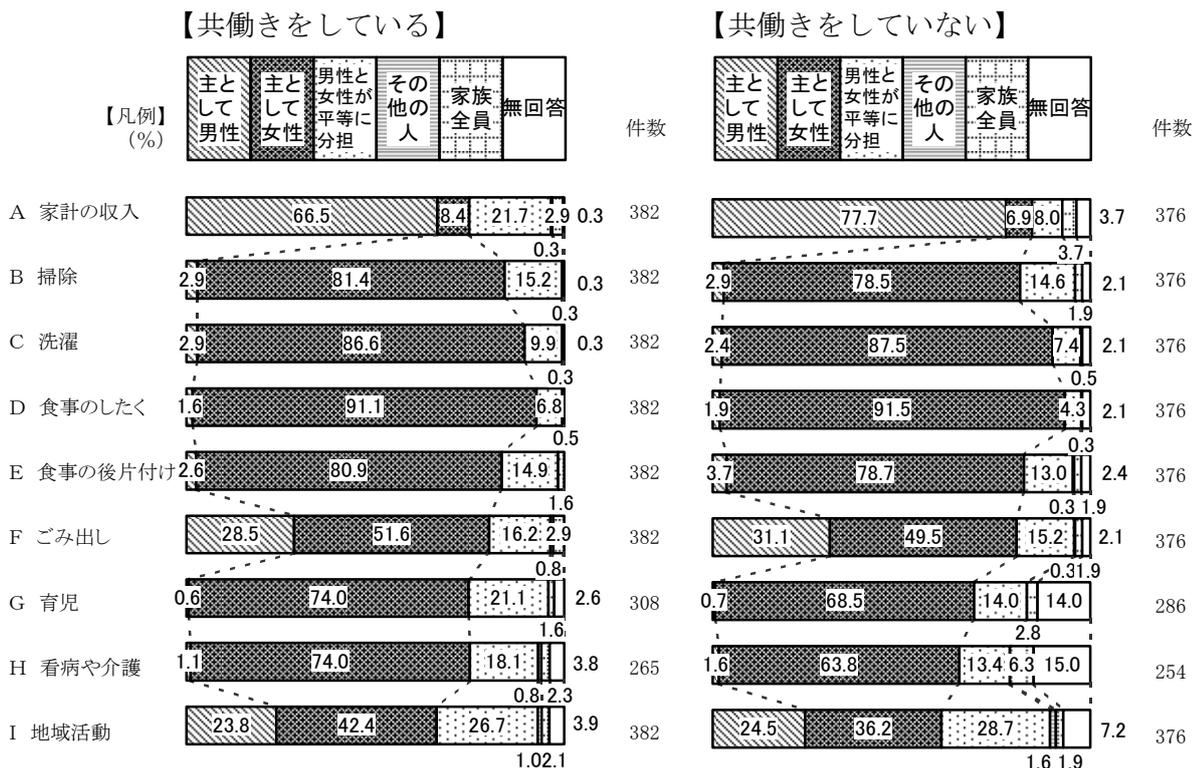
- 家庭における役割分担についてたずねたところ、「A 家計の収入」以外の項目では「主として女性」の占める割合が最も高く、特に「D 食事のしたく」(87.3%)、「C 洗濯」(83.1%)では8割を超えている。一方、「主として男性」は、「A 家計の収入」で66.3%を占めている他に、「F ごみ出し」(27.7%)、「I 地域活動」(24.2%)で2割以上みられる。また、「I 地域活動」は「男性と女性が平等に分担」の割合も高く24.7%となっている。



- 性別でみると、「主として女性」と答えた人は、いずれの項目でも男性より女性の割合が高くなっているのに対し、「主として男性」「男性と女性が平等に分担」と答えた人はいずれの項目でも男性の割合が高くなっている。



- 共働きの状況別でみると、「A 家計の収入」以外の項目では、共働きをしている、していないにかかわらず、「主として女性」の割合が高くなっている。



- 性・年代別でみると、「主として女性」の割合は、「A 家計の収入」以外の全ての項目において、全般的に女性30～50代で高くなっている。

A 家計の収入

	件数	主として男性	主として女性	等男性と女性に分担	その他の人	家族全員	無回答	
全体	1081	66.3	11.8	12.3	0.4	5.0	4.2	
性・年代	女性20代	92	52.2	22.8	15.2	1.1	7.6	1.1
	30代	112	72.3	8.0	12.5	-	5.4	1.8
	40代	129	69.0	14.7	11.6	0.8	3.1	0.8
	50代	128	71.1	10.2	9.4	-	6.3	3.1
	60代以上	141	53.2	15.6	10.6	0.7	7.8	12.1
	男性20代	47	74.5	6.4	12.8	-	4.3	2.1
	30代	76	72.4	10.5	10.5	1.3	3.9	1.3
	40代	96	75.0	10.4	9.4	-	3.1	2.1
	50代	107	76.6	6.5	12.1	-	1.9	2.8
	60代以上	136	58.8	10.3	19.1	-	4.4	7.4

B 掃除

	件数	主として男性	主として女性	等男性と女性に分担	その他の人	家族全員	無回答	
全体	1081	5.4	77.4	12.7	0.3	1.5	2.8	
性・年代	女性20代	92	2.2	80.4	13.0	1.1	3.3	-
	30代	112	2.7	84.8	10.7	-	0.9	0.9
	40代	129	3.9	88.4	7.0	0.8	-	-
	50代	128	1.6	86.7	7.0	-	2.3	2.3
	60代以上	141	0.7	83.0	8.5	-	0.7	7.1
	男性20代	47	17.0	68.1	12.8	-	-	2.1
	30代	76	10.5	67.1	17.1	-	3.9	1.3
	40代	96	4.2	79.2	14.6	-	1.0	1.0
	50代	107	8.4	70.1	17.8	-	-	3.7
	60代以上	136	11.0	58.1	22.1	0.7	2.9	5.1

C 洗濯

	件数	主として男性	主として女性	等男性と女性に分担	その他の人	家族全員	無回答	
全体	1081	5.2	83.1	7.8	0.3	0.8	2.9	
性・年代	女性20代	92	4.3	87.0	5.4	1.1	2.2	-
	30代	112	2.7	86.6	9.8	-	-	0.9
	40代	129	2.3	92.2	4.7	0.8	-	-
	50代	128	0.8	93.0	3.1	-	0.8	2.3
	60代以上	141	1.4	83.0	7.1	-	1.4	7.1
	男性20代	47	19.1	72.3	6.4	-	-	2.1
	30代	76	9.2	76.3	11.8	-	1.3	1.3
	40代	96	6.3	82.3	9.4	-	1.0	1.0
	50代	107	8.4	76.6	11.2	-	-	3.7
	60代以上	136	8.1	73.5	11.0	0.7	1.5	5.1

D 食事のしたく

	件数	主として男性	主として女性	等男性と女性に分担	その他の人	家族全員	無回答	
全体	1081	4.3	87.3	4.8	0.4	0.4	2.8	
性・年代	女性20代	92	1.1	92.4	5.4	-	1.1	-
	30代	112	0.9	92.0	5.4	-	0.9	0.9
	40代	129	1.6	93.0	3.9	0.8	-	0.8
	50代	128	1.6	89.8	6.3	-	-	2.3
	60代以上	141	-	89.4	2.8	-	0.7	7.1
	男性20代	47	17.0	78.7	2.1	-	-	2.1
	30代	76	9.2	82.9	5.3	-	1.3	1.3
	40代	96	5.2	84.4	8.3	1.0	-	1.0
	50代	107	7.5	86.9	1.9	-	-	3.7
	60代以上	136	8.8	79.4	5.9	1.5	-	4.4

E 食事の後片付け

	件数	主として男性	主として女性	等男性と女性に分担	その他の人	家族全員	無回答	
全体	1081	5.6	76.6	12.5	0.3	2.1	2.9	
性・年代	女性20代	92	4.3	80.4	10.9	-	4.3	-
	30代	112	1.8	84.8	12.5	-	-	0.9
	40代	129	3.1	83.7	10.1	0.8	1.6	0.8
	50代	128	-	90.6	6.3	-	0.8	2.3
	60代以上	141	1.4	80.1	9.2	-	2.1	7.1
	男性20代	47	21.3	55.3	14.9	-	6.4	2.1
	30代	76	11.8	68.4	15.8	-	2.6	1.3
	40代	96	6.3	74.0	15.6	-	3.1	1.0
	50代	107	6.5	74.8	12.1	-	2.8	3.7
	60代以上	136	11.0	61.0	19.9	1.5	1.5	5.1

F ごみ出し

	件数	主として男性	主として女性	等男性と女性に分担	その他の人	家族全員	無回答	
全体	1081	27.7	51.4	15.4	0.6	2.1	2.8	
性・年代	女性20代	92	22.8	58.7	13.0	2.2	3.3	-
	30代	112	33.0	50.0	14.3	-	1.8	0.9
	40代	129	20.9	69.0	7.0	1.6	1.6	-
	50代	128	16.4	68.8	10.2	0.8	1.6	2.3
	60代以上	141	17.7	56.0	17.7	-	0.7	7.8
	男性20代	47	34.0	44.7	17.0	-	2.1	2.1
	30代	76	48.7	31.6	17.1	1.3	-	1.3
	40代	96	28.1	39.6	24.0	-	7.3	1.0
	50代	107	27.1	49.5	16.8	-	2.8	3.7
	60代以上	136	38.2	35.3	19.9	0.7	1.5	4.4

## G 育児

	件数	主として男性	主として女性	等男性と女性に分担	その他の人	家族全員	無回答
全体	800	1.4	71.6	15.1	-	2.0	9.9
性・年代	女性20代	66	-	78.8	16.7	-	4.5
	30代	94	1.1	83.0	13.8	-	2.1
	40代	110	1.8	81.8	15.5	-	0.9
	50代	95	-	86.3	8.4	-	2.1
	60代以上	97	1.0	56.7	8.2	-	1.0
	男性20代	27	3.7	63.0	29.6	-	-
	30代	57	3.5	61.4	22.8	-	5.3
	40代	78	3.8	70.5	21.8	-	1.3
	50代	75	1.3	69.3	17.3	-	2.7
	60代以上	84	-	52.4	14.3	-	2.4

## H 看病や介護

	件数	主として男性	主として女性	等男性と女性に分担	その他の人	家族全員	無回答
全体	731	1.8	68.9	14.4	0.7	4.4	9.8
性・年代	女性20代	52	-	78.8	17.3	-	3.8
	30代	75	1.3	84.0	10.7	1.3	1.3
	40代	95	1.1	84.2	8.4	-	2.1
	50代	97	-	83.5	8.2	-	4.1
	60代以上	111	0.9	57.7	9.9	0.9	6.3
	男性20代	33	3.0	57.6	27.3	3.0	6.1
	30代	38	2.6	57.9	23.7	2.6	7.9
	40代	53	5.7	66.0	22.6	-	1.9
	50代	77	-	59.7	23.4	-	7.8
	60代以上	84	4.8	48.8	15.5	1.2	4.8

## I 地域活動

	件数	主として男性	主として女性	等男性と女性に分担	その他の人	家族全員	無回答
全体	1081	24.2	38.7	24.7	2.0	2.6	7.8
性・年代	女性20代	92	15.2	39.1	23.9	6.5	8.7
	30代	112	17.9	44.6	28.6	2.7	1.8
	40代	129	14.7	65.9	12.4	-	1.6
	50代	128	18.8	50.0	25.8	-	0.8
	60代以上	141	27.7	37.6	15.6	2.1	2.1
	男性20代	47	25.5	31.9	27.7	6.4	4.3
	30代	76	28.9	28.9	30.3	3.9	3.9
	40代	96	31.3	29.2	33.3	1.0	2.1
	50代	107	23.4	28.0	38.3	0.9	1.9
	60代以上	136	38.2	22.8	20.6	1.5	2.2

4-2 性別役割分担意識

問6 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどのように思いますか。

(1つだけ)

● 「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担への考え方についてたずねたところ、性別役割分担に肯定的な人(※1)は38.5%、否定的な人(※2)は33.3%で、肯定的な人の割合が若干高い。また、「どちらともいえない」と答えた人は26.4%となっている。

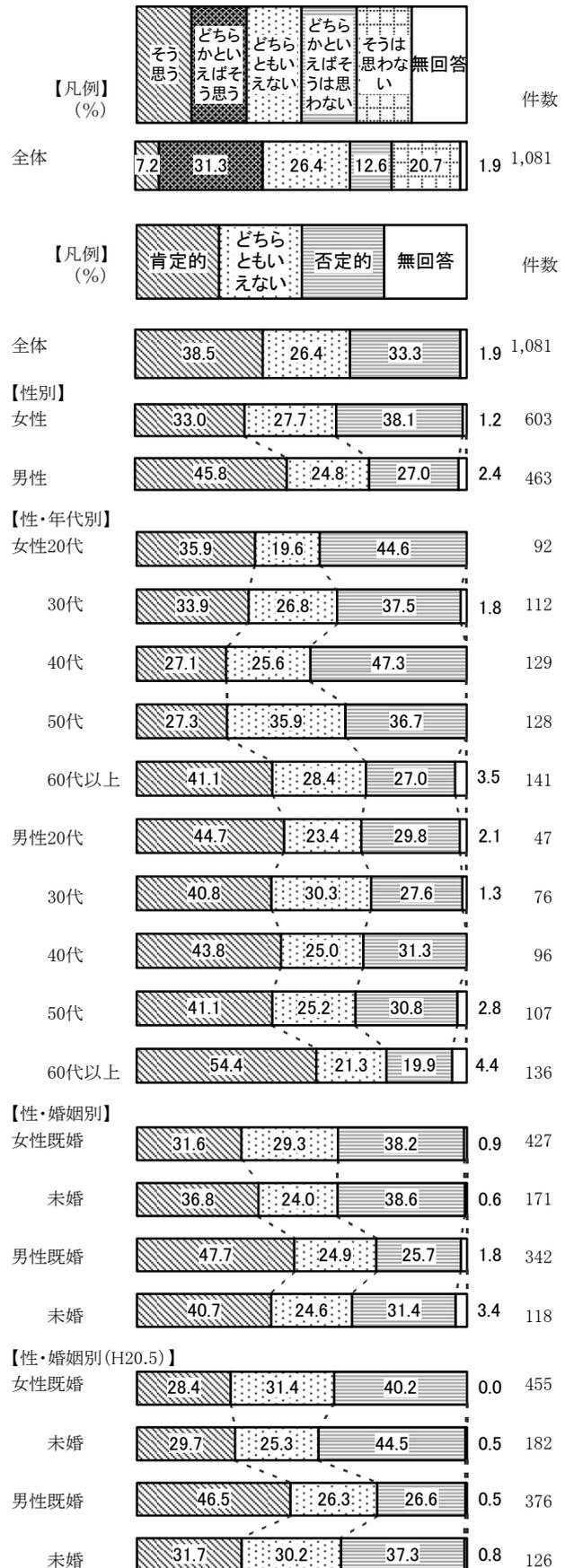
● 性別でみると、性別役割分担に肯定的な人(※1)は、男性(45.8%)の割合が高く、否定的な人(※2)は女性(38.1%)で高くなっている。

● 性・年代別でみると、性別役割分担に肯定的な人(※1)は、男性60代以上(54.4%)で半数以上を占めている。一方、否定的な人(※2)は女性20代(44.6%)、40代(47.3%)で高くなっている。

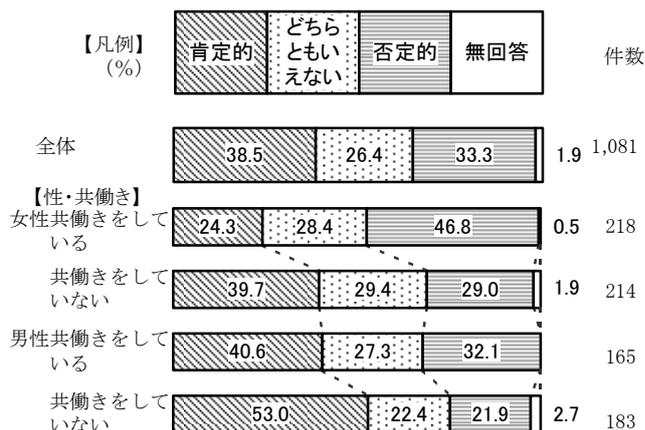
● 性・婚姻別でみると、性別役割分担に肯定的な人(※1)は、男性既婚(47.7%)で高くなっている。

● 性・婚姻別に平成20年の調査と比較すると、肯定的な人(※1)は男女ともに未婚者で大きく増加し、否定的な人(※2)も男女ともに未婚者で減少している。

(※1)「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の計  
(※2)「そうは思わない」「どちらかといえばそうは思わない」の計



- 性・共働きの状況別でみると、性別役割分担に肯定的な人（※1）は共働きをしていない男性（53.0%）で高く、否定的な人（※2）は共働きをしている女性（46.8%）で高くなっている。



### 国、愛知県の調査、市の過去調査との比較

- 国、愛知県の調査との比較は、選択肢が異なるため一概に比較はできないが、国の調査では性別役割分担に否定的な人（※2）が肯定的な人（※1）の割合を上回っているが、愛知県、豊橋市の調査では、肯定的な人（※1）の割合が高くなっている。
- 市の過去の調査と比較すると、性別役割分担に肯定的な人（※1）は、平成13年（40.2%）から平成20年（34.6%）にかけて減少したが、平成23年は38.5%へと増加している。

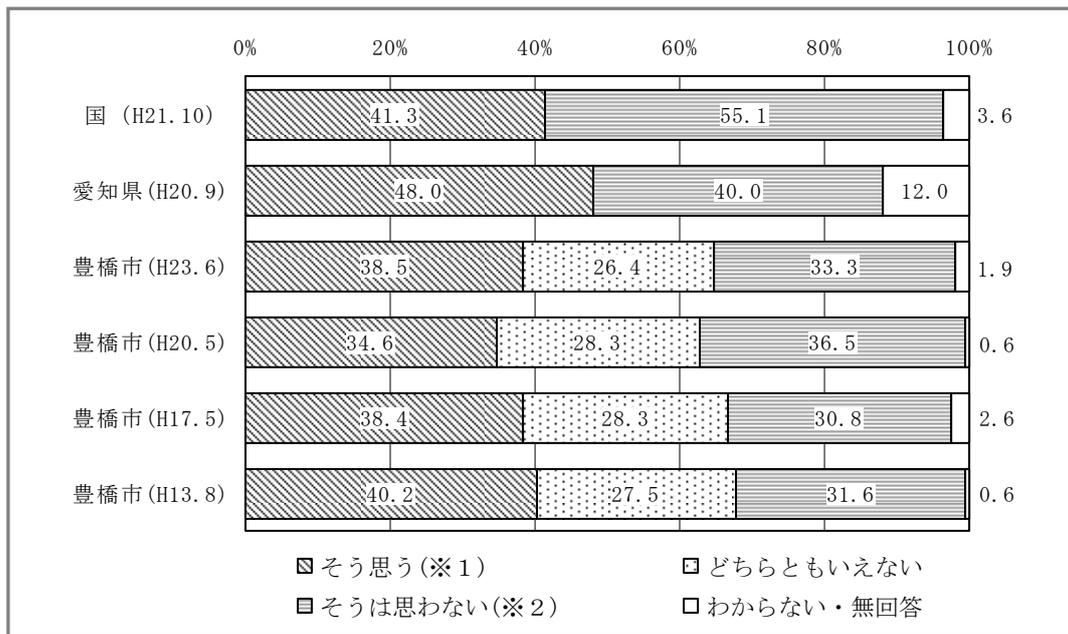
(%)

	そう思う (A)	どちらかといえばそう思う (B)	どちらともいえない (C)	どちらかといえばそうは思わない (D)	そうは思わない (D)	わからない	無回答	肯定的 (※1) (A+B)	否定的 (※2) (C+D)
国 (H21. 10)	10.6	30.7	-	31.3	23.8	3.6	-	41.3	55.1
女性	9.5	27.8	-	32.0	26.6	4.0	-	37.3	58.6
男性	11.9	34.0	-	30.4	20.7	3.1	-	45.8	51.1
愛知県 (H20. 9)	8.3	39.7	-	25.2	14.8	10.2	1.8	48.0	40.0
女性	6.2	37.2	-	27.0	17.3	10.2	2.0	43.4	44.3
男性	10.7	42.6	-	23.1	11.8	10.2	1.5	53.3	34.9
豊橋市 (H23. 6)	7.2	31.3	26.4	12.6	20.7	-	1.9	38.5	33.3
女性	5.1	27.9	27.7	13.3	24.9	-	1.2	33.0	38.2
男性	9.9	35.9	24.8	11.4	15.6	-	2.4	45.8	27.0
豊橋市 (H20. 5)	6.4	28.2	28.3	15.1	21.4	-	0.6	34.6	36.5
女性	5.1	23.6	29.6	17.5	24.0	-	0.2	28.7	41.5
男性	8.3	34.5	27.2	11.9	17.5	-	0.6	42.9	29.4
豊橋市 (H17. 5)	7.4	31.0	28.3	11.7	19.1	-	2.6	38.4	30.8
女性	5.9	28.7	29.5	13.7	20.0	-	2.3	34.5	33.7
男性	9.8	33.4	26.9	9.1	18.0	-	2.8	43.2	27.1
豊橋市 (H13. 8)	9.4	30.8	27.5	13.3	18.3	-	0.6	40.2	31.6
女性	6.7	27.8	27.4	17.0	20.5	-	0.6	34.5	37.5
男性	12.7	33.9	28.7	9.3	15.0	-	0.5	46.6	24.3

(※) -は、調査をしていない項目

(※1) 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の計

(※2) 「そうは思わない」「どちらかといえばそうは思わない」の計



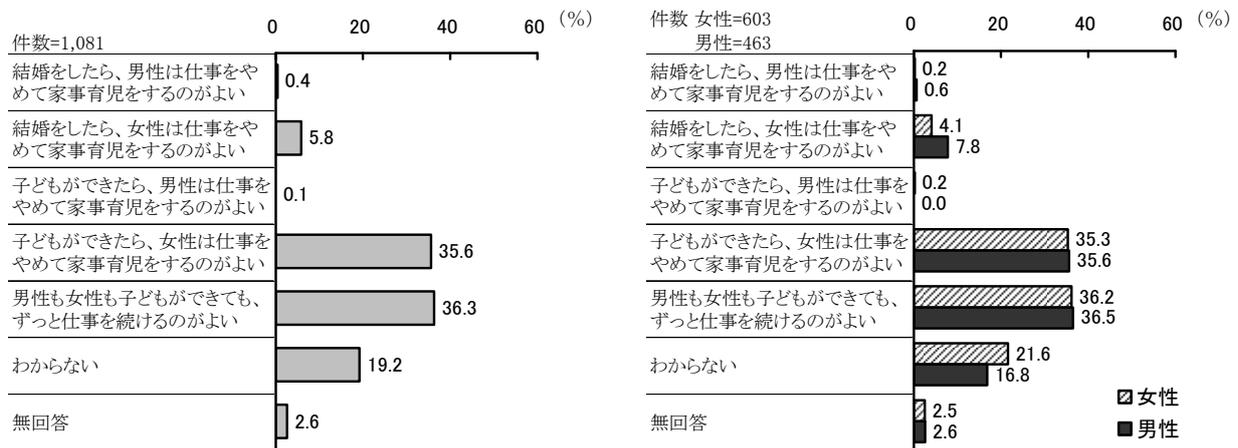
(※1) 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の計

(※2) 「そうは思わない」「どちらかといえばそうは思わない」の計

### 4-3 仕事と家事・育児の分担についての考え方

問7 あなたは、男性と女性の仕事と家事・育児の分担についてどう思いますか。(1つだけ)

- 仕事と家事・育児の分担についての考え方は、「男性も女性も子どもができて、ずっと仕事を続けるのがよい」(36.3%)、「子どもができたなら、女性は仕事をやめて家事育児をするのがよい」(35.6%)が3割以上を占めている。これらに次いで「結婚したら、女性は仕事をやめて家事育児をするのがよい」が5.8%となっている。
- 性別でみても、大きな差はみられない。
- 性・年代別でみると、「結婚したら、女性は仕事をやめて家事育児をするのがよい」「子どもができたなら、女性は仕事をやめて家事育児をするのがよい」は男性60代以上で高くなっている。



	件数	結婚したら、男性は仕事をやめて家事育児をするのがよい	結婚したら、女性は仕事をやめて家事育児をするのがよい	子どもができたなら、男性は仕事をやめて家事育児をするのがよい	子どもができたなら、女性は仕事をやめて家事育児をするのがよい	男性も女性も子どもができて、ずっと仕事を続けるのがよい	わからない	無回答	
全体	1081	0.4	5.8	0.1	35.6	36.3	19.2	2.6	
性・年代	女性20代	92	-	3.3	1.1	33.7	43.5	18.5	-
	30代	112	-	3.6	-	37.5	36.6	19.6	2.7
	40代	129	-	1.6	-	29.5	34.9	30.2	3.9
	50代	128	-	3.1	-	37.5	36.7	21.9	0.8
	60代以上	141	0.7	8.5	-	38.3	31.2	17.0	4.3
	男性20代	47	-	6.4	-	36.2	36.2	21.3	-
	30代	76	-	5.3	-	31.6	43.4	19.7	-
	40代	96	-	6.3	-	33.3	35.4	21.9	3.1
	50代	107	0.9	7.5	-	29.9	40.2	16.8	4.7
	60代以上	136	1.5	11.0	-	43.4	30.9	10.3	2.9

- 性・共働きの状況別でみると、「結婚したら、女性は仕事をやめて家事育児をするのがよい」は共働きをしていない男性で高く、「男性も女性も子どもができて、ずっと仕事を続けるのがよい」は共働きをしている男女で高くなっている。
- 性別役割分担意識（問6）別でみると、「男性も女性も子どもができて、ずっと仕事を続けるのがよい」は性別役割分担意識に否定的な人（51.9%）で高く、「結婚したら」「子どもができたなら、女性は仕事をやめて家事育児をするのがよい」は性別役割分担意識に肯定的な人で高くなっている。

	件数	結婚したら、女性が仕事をやめて家事育児をするのがよい	結婚したら、男性も女性も子どもができて、ずっと仕事を続けるのがよい	子どもができて、ずっと仕事を続けるのがよい	男性も女性も子どもができて、ずっと仕事を続けるのがよい	わからない	無回答		
全体	1081	0.4	5.8	0.1	35.6	36.3	19.2	2.6	
性・共働き	女性共働きをしている	218	-	2.3	-	30.3	45.4	20.2	1.8
	共働きをしていない	214	-	4.2	0.5	39.3	29.0	24.8	2.3
	男性共働きをしている	165	1.2	4.2	-	32.7	46.7	12.1	3.0
	共働きをしていない	183	0.5	10.9	-	42.1	24.6	19.1	2.7
性別役割分担意識	肯定的	416	0.7	10.8	0.2	53.1	23.8	10.8	0.5
	どちらともいえない	285	0.4	2.8	-	29.5	36.1	28.1	3.2
	否定的	360	-	2.5	-	20.0	51.9	22.5	3.1

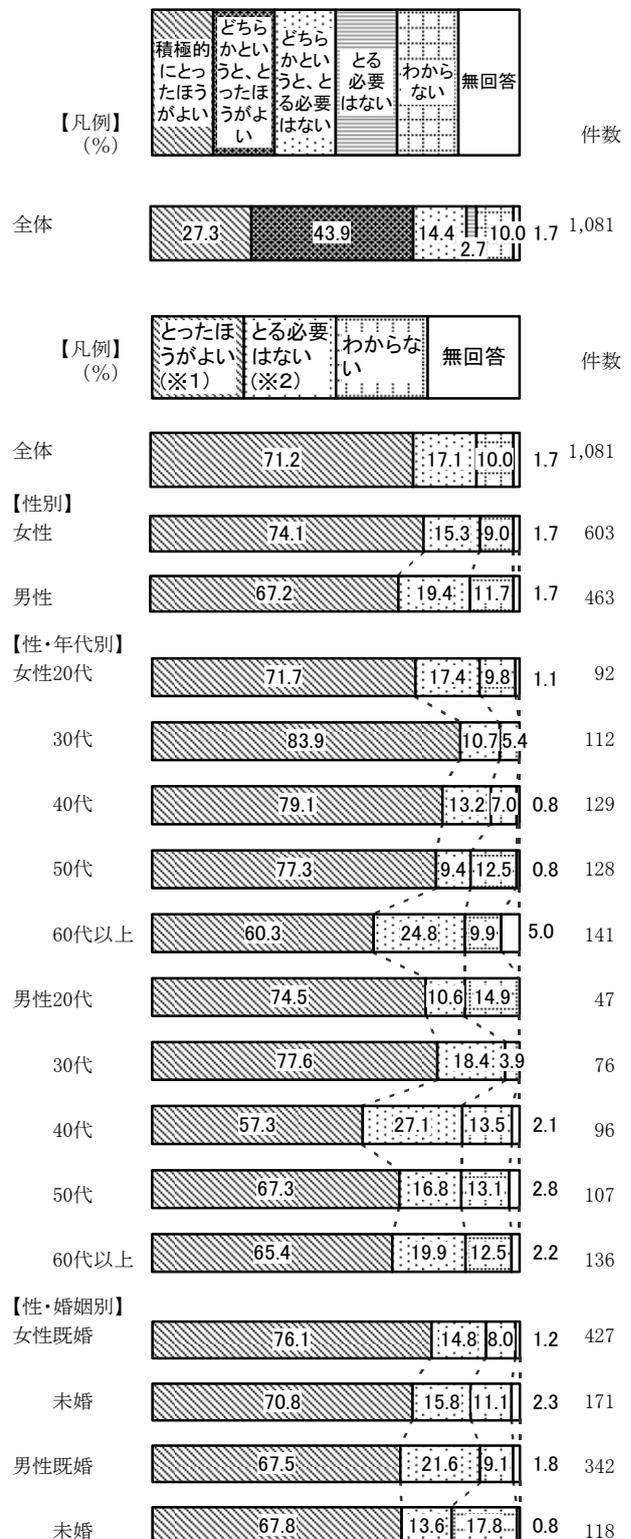
#### 4-4 男性が育児や介護で休みをとることについての考え方

問8 あなたは、男性が育児や介護で休みをとることについて、どのように思いますか。

(1つだけ)

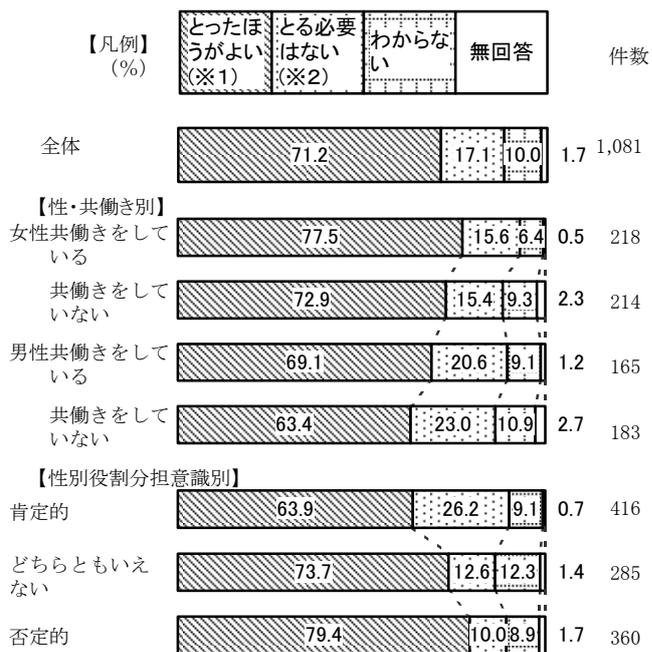
- 男性が育児や介護で休みをとることについての考え方は、「どちらかというと、とったほうがよい」が43.9%で最も高く、これに「積極的にとったほうがよい」(27.3%)をあわせた“とったほうがよい”とする人は71.2%を占めている。一方、“とる必要はない(※2)”とする人は17.1%となっている。
- 性別で見ると、“とったほうがよい(※1)”は女性が74.1%、男性は67.2%を占めている。
- 性・年代別で見ると、“とる必要はない(※2)”は女性60代以上(24.8%)、男性40代(27.1%)で高くなっている。
- 性・婚姻別で見ると、“とったほうがよい(※1)”は女性既婚(76.1%)で高く、“とる必要はない(※2)”は男性既婚(21.6%)で高くなっている。

(※1)「積極的にとったほうがよい」「どちらかというと、とったほうがよい」の計  
 (※2)「とる必要はない」「どちらかというと、とる必要はない」の計



● 性・共働きの状況別でみると、“とったほうがよい（※1）”は共働きをしている女性（77.5%）で高くなっている。

● 性別役割分担意識（問6）別でみると、“とったほうがよい（※1）”は性別役割分担意識に否定的な人（79.4%）で高く、“とる必要はない（※2）”は性別役割分担意識に肯定的な人（26.2%）で高くなっている。



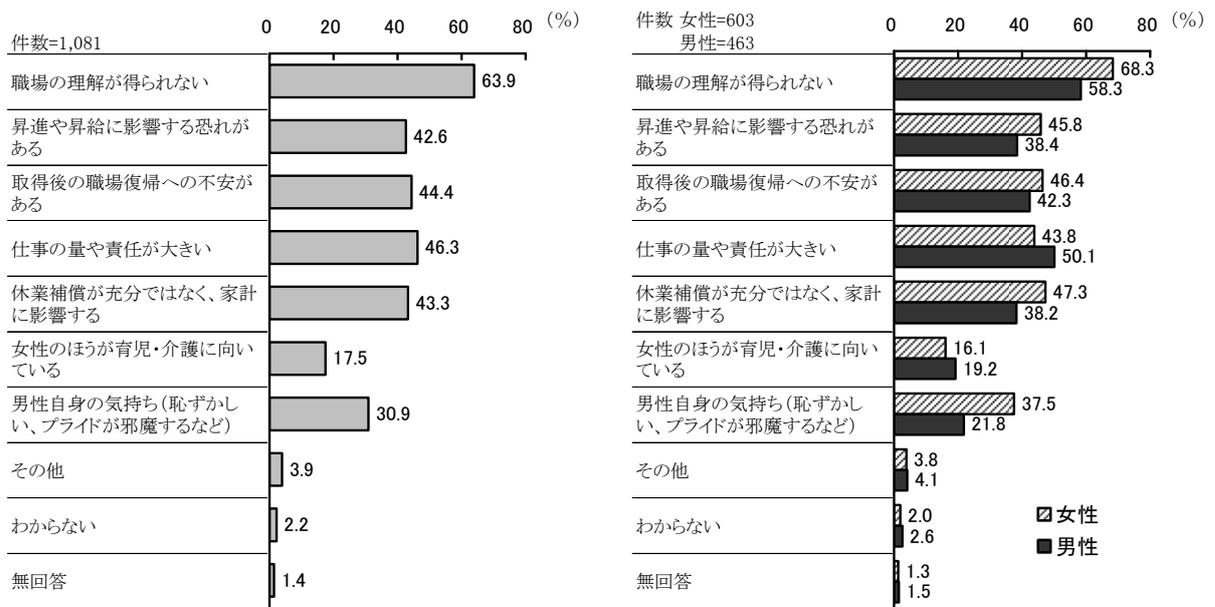
(※1) 「積極的にとったほうがよい」「どちらかという、とったほうがよい」の計

(※2) 「とる必要はない」「どちらかという、とる必要はない」の計

#### 4-5 男性が育児や介護で休みをとらない理由

問9 育児や介護で休みをとる男性が少ない現状にありますか、その理由は何だと思いますか。  
(いくつでも)

- 男性が育児や介護で休みをとらない理由については、「職場の理解が得られない」が63.9%で最も高く、次いで「仕事の量や責任が大きい」(46.3%)、「取得後の職場復帰への不安がある」(44.4%)、「休業補償が充分ではなく、家計に影響する」(43.3%)、「昇進や昇給に影響する恐れがある」(42.6%)が4割台で続いている。
- 性別でみると、「職場の理解が得られない」「休業補償が充分ではなく、家計に影響する」「男性自身の気持ち」は、男性よりも女性の割合が高くなっている。
- 性・年代別でみると、「仕事の量や責任が大きい」は男性40代(68.8%)で、「男性自身の気持ち」は女性20代(51.1%)で高くなっている。



	件数	職場の理解が得られない	昇進や昇給に影響する恐れがある	取得後の職場復帰への不安がある	仕事の量や責任が大きい	休業補償が充分ではないが昇進や昇給に影響する	女性に性向のほが育児・介護にむいている	男性自身の気持ち(恥ずかしい、プライドが邪魔するなど)	その他	わからない	無回答	
全体	1081	63.9	42.6	44.4	46.3	43.3	17.5	30.9	3.9	2.2	1.4	
性・年代	女性20代	92	77.2	53.3	46.7	57.6	46.7	15.2	51.1	3.3	2.2	-
	30代	112	73.2	56.3	50.9	52.7	50.0	11.6	39.3	6.3	0.9	-
	40代	129	75.2	51.2	48.1	54.3	51.2	11.6	41.1	4.7	0.8	0.8
	50代	128	71.1	42.2	46.9	38.3	56.3	14.8	37.5	3.1	1.6	0.8
	60代以上	141	49.6	30.5	40.4	23.4	34.0	25.5	24.1	2.1	4.3	4.3
	男性20代	47	63.8	57.4	53.2	42.6	38.3	19.1	21.3	2.1	-	-
	30代	76	71.1	47.4	47.4	60.5	42.1	13.2	21.1	3.9	1.3	-
	40代	96	64.6	41.7	46.9	68.8	37.5	18.8	27.1	5.2	3.1	-
50代	107	54.2	29.9	36.4	51.4	38.3	18.7	24.3	4.7	1.9	1.9	
60代以上	136	48.5	31.6	37.5	33.1	36.0	23.5	16.9	3.7	4.4	3.7	

- 性・共働きの状況別でみると、「職場の理解が得られない」「昇進や昇給に影響する恐れがある」「休業補償が十分ではなく、家計に影響する」は共働きをしている女性で高く、「仕事の量や責任が大きい」は共働きをしている男性（59.4%）で高くなっている。
- 性別役割分担意識（問6）別でみると、「女性のほうが育児・介護に向いている」は性別役割分担意識に肯定的な人（25.0%）で高く、「男性自身の気持ち」は性別役割分担意識に否定的な人（39.2%）で高くなっている。

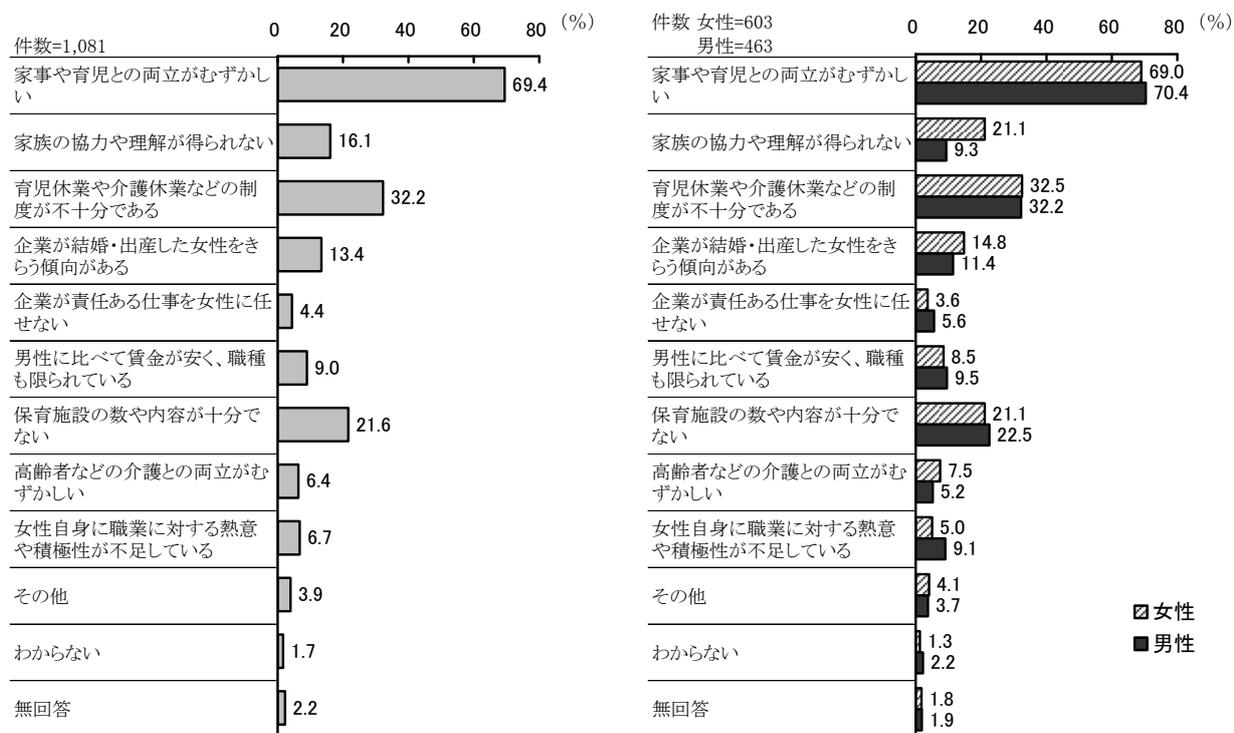
	件数	職場の理解が得られない	昇進や昇給に影響する恐れがある	取得後の職場復帰への不安がある	仕事の量や責任が大きい	休業補償が充分ではなく、家計に影響する	女性のほうが育児・介護に向いている	男性自身の気持ち（恥ずかしい、プライドが邪魔するなど）	その他	わからない	無回答	
全体	1081	63.9	42.6	44.4	46.3	43.3	17.5	30.9	3.9	2.2	1.4	
性・共働き	女性共働きをしている	218	72.9	47.7	50.0	45.9	53.2	16.1	39.0	6.0	0.9	0.5
	共働きをしていない	214	66.4	39.7	45.8	45.3	41.6	16.8	34.1	1.9	2.3	1.9
	男性共働きをしている	165	57.6	39.4	43.0	59.4	43.6	20.6	20.6	6.1	0.6	1.2
	共働きをしていない	183	55.7	36.6	41.5	45.9	35.0	17.5	23.0	2.7	3.3	2.2
性別役割分担意識	肯定的	416	57.0	41.6	45.4	48.1	41.8	25.0	26.9	2.6	1.4	0.5
	どちらともいえない	285	68.8	42.5	43.2	47.4	44.9	14.0	27.4	3.9	2.5	1.4
	否定的	360	69.2	45.3	45.6	44.4	45.0	11.7	39.2	5.6	2.5	1.1

#### 4-6 女性が結婚や出産を機に仕事をやめる理由

問10 結婚や出産を機に仕事をやめる女性がありますが、その理由は何だと思えますか。

(2つまで)

- 女性が結婚や出産を機に仕事をやめる理由については、「家事や育児との両立がむずかしい」が69.4%で他の項目を37ポイント以上引き離して高くなっている。これに次いで、「育児休業や介護休業などの制度が不十分である」が32.2%、「保育施設の数や内容が十分でない」が21.6%などとなっている。
- 性別でみると、「家族の協力や理解が得られない」は男性(9.3%)よりも女性(21.1%)の割合が高くなっている。



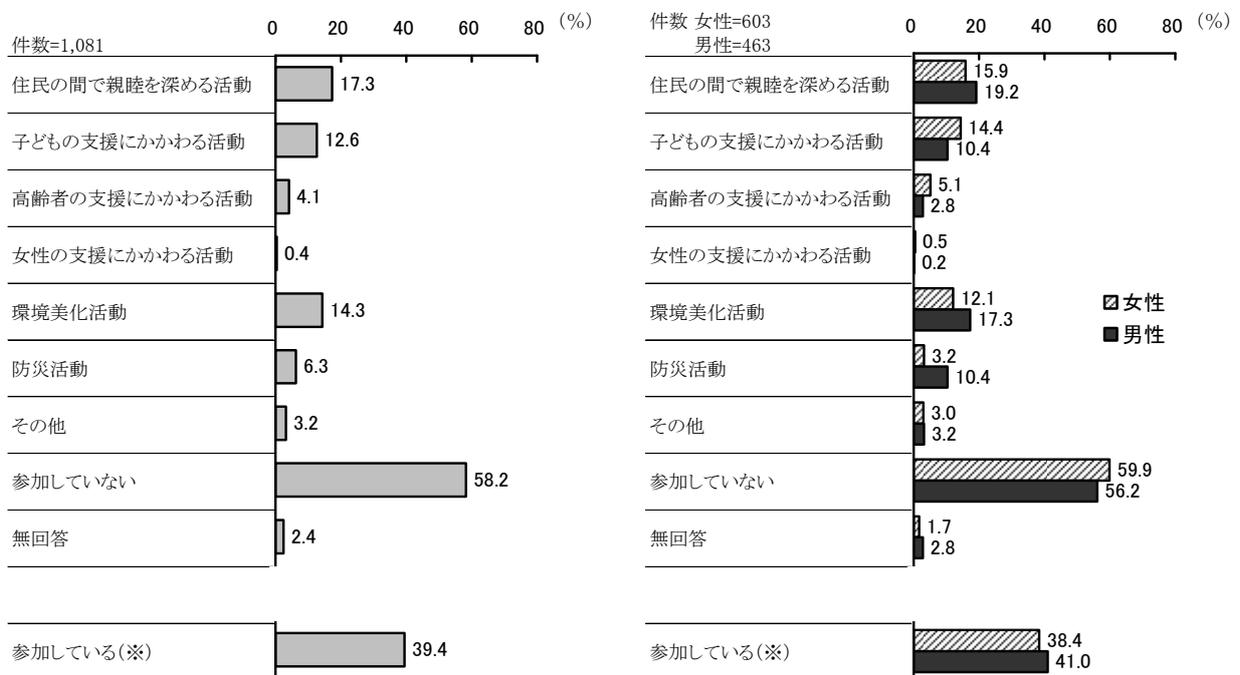
- 性・年代別でみると、「家事や育児との両立がむずかしい」は女性20代（80.4%）、男性40代（81.3%）で8割を超えている。また、「家族の協力や理解が得られない」は女性40代（26.4%）、50代（26.6%）で高くなっている。
- 性・婚姻別でみると、「家族の協力や理解が得られない」は女性既婚（22.5%）で高く、「女性自身に職業に対する熱意や積極性が不足している」は男性未婚（11.9%）で高くなっている。
- 性・共働きの状況別でみると、「家族の協力や理解が得られない」は共働きをしている女性（24.3%）で高くなっている。また、「高齢者等の介護との両立がむずかしい」は共働きをしていない女性（10.3%）で1割を超えている。

	件数	家事や育児との両立がむずかしい	家族の協力や理解が得られない	育児休業や介護休業などの制度が不十分である	企業が結婚・出産した女性をきらい傾向がある	企業が責任ある仕事を女性に任せない	男性に比べて賃金が安く、職種も限られている	保育施設の数や内容が十分でない	高齢者などの介護との両立がむずかしい	女性自身に職業に対する熱意や積極性が不足している	その他	わからない	無回答	
全体	1081	69.4	16.1	32.2	13.4	4.4	9.0	21.6	6.4	6.7	3.9	1.7	2.2	
性・年代	女性20代	92	80.4	21.7	28.3	12.0	5.4	9.8	20.7	2.2	7.6	3.3	2.2	-
	30代	112	73.2	15.2	32.1	21.4	3.6	8.0	21.4	-	7.1	8.0	-	0.9
	40代	129	69.8	26.4	30.2	17.1	5.4	7.8	17.1	8.5	4.7	6.2	-	0.8
	50代	128	65.6	26.6	39.1	14.1	1.6	4.7	24.2	10.2	3.1	2.3	0.8	0.8
	60代以上	141	61.0	14.9	31.2	9.9	2.8	12.1	22.0	13.5	3.5	1.4	3.5	5.7
	男性20代	47	68.1	10.6	38.3	21.3	6.4	4.3	14.9	2.1	12.8	4.3	2.1	-
	30代	76	72.4	9.2	38.2	13.2	1.3	13.2	17.1	5.3	11.8	2.6	1.3	-
	40代	96	81.3	9.4	30.2	7.3	8.3	4.2	16.7	4.2	9.4	6.3	3.1	-
50代	107	65.4	14.0	31.8	7.5	6.5	10.3	28.0	2.8	10.3	3.7	1.9	1.9	
60代以上	136	66.9	5.1	27.9	13.2	5.1	11.8	27.9	8.8	5.1	2.2	2.2	5.1	
性・婚姻	女性既婚	427	68.1	22.5	33.0	14.8	3.7	8.0	21.5	8.0	4.7	4.0	1.2	1.6
	未婚	171	71.3	17.5	32.2	15.2	3.5	9.4	20.5	6.4	5.8	4.7	1.8	1.2
	男性既婚	342	72.2	9.4	33.6	10.5	6.1	9.6	23.1	5.3	7.9	4.1	1.2	1.8
	未婚	118	66.1	9.3	28.0	14.4	4.2	8.5	21.2	5.1	11.9	2.5	5.1	1.7
性・共働き	女性共働きをしている	218	68.3	24.3	29.8	16.5	4.1	9.6	21.6	6.0	5.0	5.0	0.9	0.5
	共働きをしていない	214	66.8	20.1	35.5	13.1	3.7	7.5	21.0	10.3	3.7	2.8	1.4	3.3
	男性共働きをしている	165	73.3	9.7	38.2	6.7	6.1	10.3	23.0	6.1	7.3	4.2	0.6	1.2
	共働きをしていない	183	69.9	8.7	29.5	13.1	6.0	9.3	22.4	4.9	9.3	3.3	2.2	2.7

#### 4-7 参加している地域活動

問11 あなたは、現在、地域のどのような活動に参加していますか。(いくつでも)

- 現在参加している地域活動をみると、何らかの活動に「参加している人(※)」は39.4%で、具体的には「住民の間で親睦を深める活動」(17.3%)、「環境美化活動」(14.3%)、「子どもの支援にかかわる活動」(12.6%)となっている。
- 性別でみると、「防災活動」は女性(3.2%)よりも男性(10.4%)の割合が高くなっている。
- 性・年代別でみると、「子どもの支援にかかわる活動」は女性30代(25.0%)、40代(27.1%)、男性40代(20.8%)で高く、「高齢者の支援にかかわる活動」は女性60代以上(14.2%)で高くなっている。一方、「参加していない」は男女ともに20代で高くなっている。



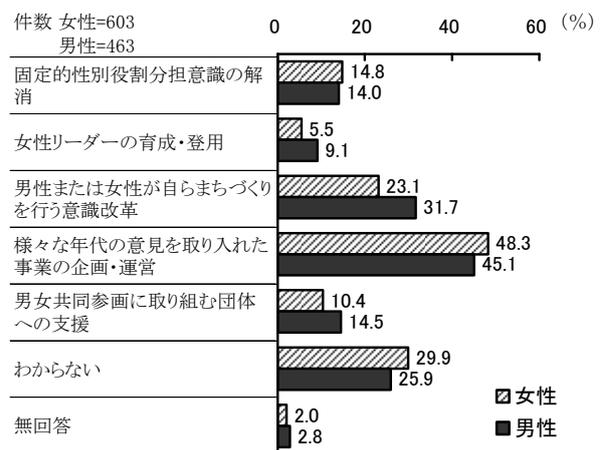
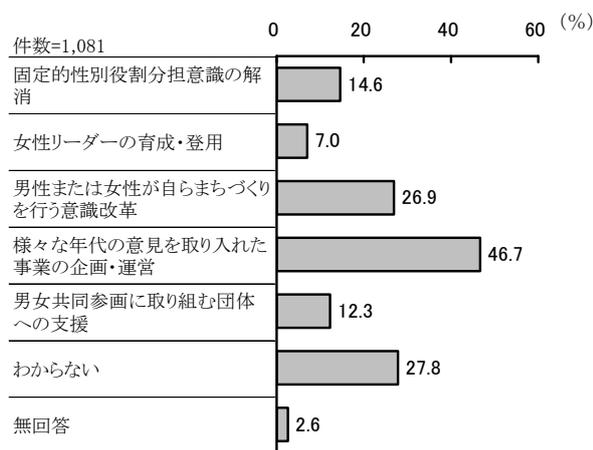
性・年代	件数	深住め民の活動で親睦を	か子ども活動支援にか	か高齢者活動支援にか	わ女性活動支援にか	環境美化活動	防災活動	その他	参加していない	無回答	(※)参加している	
		割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	
全体	1081	17.3	12.6	4.1	0.4	14.3	6.3	3.2	58.2	2.4	39.4	
性・年代	女性20代	92	4.3	3.3	-	-	5.4	-	-	90.2	-	9.8
	30代	112	14.3	25.0	1.8	1.8	8.9	0.9	2.7	59.8	0.9	39.3
	40代	129	19.4	27.1	2.3	-	14.0	1.6	3.1	48.8	-	51.2
	50代	128	18.8	8.6	4.7	-	13.3	2.3	3.9	61.7	1.6	36.7
	60代以上	141	19.1	6.4	14.2	0.7	16.3	9.2	4.3	48.9	5.0	46.1
	男性20代	47	10.6	2.1	2.1	-	4.3	4.3	-	83.0	-	17.0
	30代	76	11.8	14.5	2.6	-	14.5	3.9	1.3	61.8	2.6	35.6
	40代	96	21.9	20.8	-	-	15.6	13.5	3.1	54.2	-	45.8
	50代	107	19.6	6.5	-	0.9	20.6	13.1	3.7	57.0	1.9	41.1
	60代以上	136	23.5	6.6	7.4	-	21.3	11.8	5.1	44.9	6.6	48.5

(※) 全体から「参加していない」「無回答」を除いた割合

#### 4-8 地域活動が活発になるために必要なこと

問12 あなたは、地域活動が活発になるためには、何が重要だと思いますか。(いくつでも)

- 地域活動が活発になるために必要なことは、「様々な年代の意見を取り入れた事業の企画・運営」が46.7%で最も高く、次いで「男性または女性が自らまちづくりを行う意識改革」が26.9%となっている。
- 性別で見ると、「男性または女性が自らまちづくりを行う意識改革」は女性（23.1%）よりも男性（31.7%）の割合が高くなっている。
- 性・年代別で見ると、「男性または女性が自らまちづくりを行う意識改革」は男性60代以上（36.0%）で、「様々な年代の意見を取り入れた事業の企画・運営」は女性20代（60.9%）で、「男女共同参画に取り組む団体への支援」は男性50代（24.3%）で高くなっている。

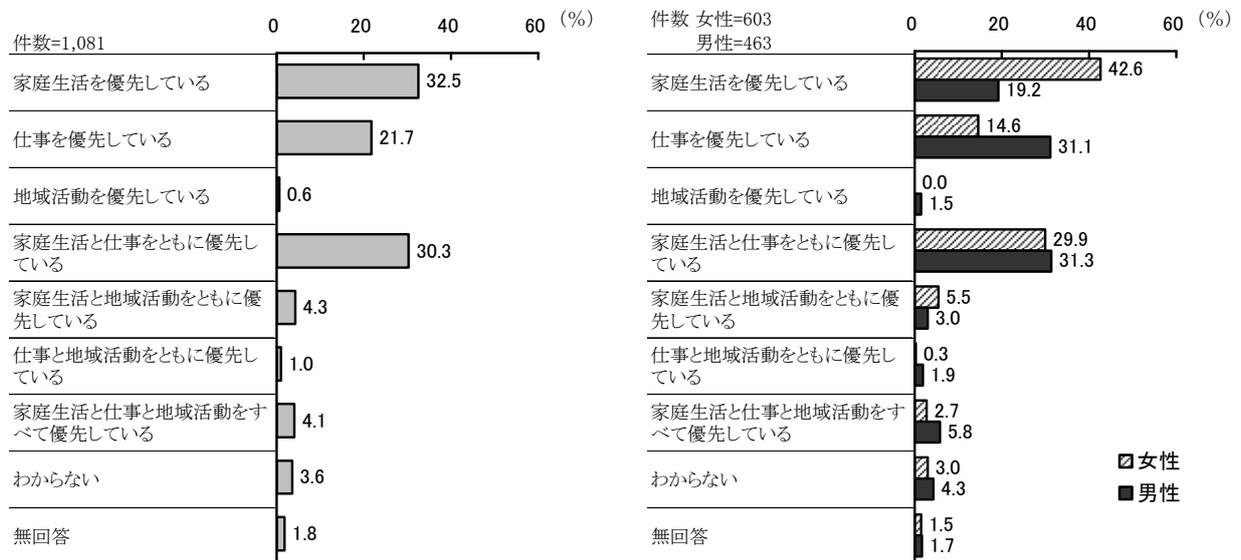


性・年代	件数	の固定的性別役割分担意識	用女性リーダーの育成・登用	ち男性づくりたは女性意識改革	入様々な事業の企画・運営	団男女共同参画に取り組む	わ	無回答		
									わからない	
全体	1081	14.6	7.0	26.9	46.7	12.3	27.8	2.6		
女性	20代	92	17.4	3.3	15.2	60.9	9.8	28.3	-	
	30代	112	16.1	4.5	15.2	49.1	9.8	32.1	0.9	
	40代	129	15.5	2.3	27.1	45.7	9.3	31.0	0.8	
	50代	128	15.6	6.3	28.9	46.9	8.6	29.7	2.3	
	60代以上	141	10.6	9.2	25.5	42.6	14.2	28.4	5.0	
	男性	20代	47	4.3	8.5	27.7	46.8	6.4	31.9	-
		30代	76	7.9	9.2	28.9	40.8	14.5	35.5	1.3
		40代	96	10.4	7.3	30.2	50.0	9.4	29.2	1.0
		50代	107	16.8	11.2	30.8	46.7	24.3	23.4	2.8
60代以上		136	20.6	8.8	36.0	42.6	13.2	18.4	5.9	

4-9 現状における家庭生活・仕事・地域活動の関係

問13 家庭生活・仕事・地域活動の関係について、現在の状況では、あなたはどれに該当しますか。(1つだけ)

- 家庭生活・仕事・地域活動の関係について、現在の状況をたずねたところ、「家庭生活を優先している」(32.5%)、「家庭生活と仕事をともに優先している」(30.3%)がそれぞれ約3割を占め、次いで「仕事を優先している」が21.7%となっている。これら以外の項目は5%以下となっている。
- 性別でみると、「家庭生活を優先している」は男性(19.2%)よりも女性(42.6%)で高く、「仕事を優先している」は女性(14.6%)よりも男性(31.1%)で高くなっている。
- 性・年代別でみると、「家庭生活を優先している」は女性30代(56.3%)、60代以上(46.1%)で、「仕事を優先している」は女性20代(38.0%)、男性50代以下で、「家庭生活と仕事をともに優先し地得る」は男女ともに40代で高くなっている。



	件数	家庭生活を優先している	仕事を優先している	地域活動を優先している	家庭生活と仕事をともに優先している	家庭生活と地域活動をともに優先している	仕事と地域活動をともに優先している	家庭生活と仕事と地域活動をすべて優先している	わからない	無回答
全体	1081	32.5	21.7	0.6	30.3	4.3	1.0	4.1	3.6	1.8
性・年代	女性20代	92	29.3	38.0	-	25.0	1.1	-	6.5	-
	30代	112	56.3	10.7	-	25.0	4.5	-	2.7	0.9
	40代	129	38.8	12.4	-	41.1	2.3	-	2.3	0.8
	50代	128	40.6	10.9	-	34.4	7.8	-	3.1	2.3
	60代以上	141	46.1	7.8	-	22.7	9.9	1.4	3.5	3.5
	男性20代	47	17.0	51.1	-	19.1	-	-	4.3	8.5
	30代	76	10.5	40.8	1.3	39.5	-	-	7.9	-
	40代	96	10.4	38.5	1.0	42.7	-	1.0	3.1	3.1
50代	107	9.3	32.7	0.9	37.4	1.9	4.7	6.5	4.7	
60代以上	136	39.0	12.5	2.9	18.4	8.1	2.2	6.6	5.9	

- 性・婚姻別で見ると、「家庭生活を優先している」は女性既婚（52.5%）で高くなっているのに対し、「仕事を優先している」は女性既婚以外で高くなっている。

	件数	家庭生活を優先している	仕事を優先している	地域活動を優先している	家庭生活と仕事をともに優先している	家庭生活と地域活動をともに優先している	仕事と地域活動をともに優先している	家庭生活と仕事をすべて優先している	わからない	無回答	
全体	1081	32.5	21.7	0.6	30.3	4.3	1.0	4.1	3.6	1.8	
性・婚姻	女性既婚	427	52.5	5.6	-	29.7	6.3	0.2	3.0	1.4	1.2
	未婚	171	18.7	36.8	-	30.4	2.9	0.6	1.8	7.0	1.8
	男性既婚	342	21.1	26.3	1.8	35.1	3.8	2.0	7.0	1.5	1.5
	未婚	118	14.4	44.9	0.8	21.2	0.8	1.7	2.5	11.9	1.7

### 国、愛知県の調査との比較

- 国、愛知県の調査との比較は、選択肢が一部異なるため一概に比較することはできないが、「家庭生活と仕事をともに優先している」は国（21.0%）、愛知県（20.2%）より豊橋市（30.3%）の方が約10ポイント高くなっている。また、「家庭生活を優先している」も愛知県（23.4%）を上回っている（豊橋市32.5%）。一方、「仕事を優先している」「家庭生活と仕事と地域活動をすべて優先している」は愛知県よりも豊橋市の方が低くなっている。

(%)

	家庭生活を優先している	仕事を優先している	地域活動を優先している	家庭生活と仕事をともに優先している	家庭生活と地域活動をともに優先している	仕事と地域活動をともに優先している	家庭生活と仕事と地域活動をすべて優先している	その他	わからない	無回答
国 (H21.10)	<b>33.0</b>	<b>25.8</b>	<b>3.7</b>	<b>21.0</b>	<b>6.7</b>	<b>3.6</b>	<b>4.6</b>	-	<b>1.6</b>	-
女性	44.2	15.3	2.9	21.1	8.5	2.3	4.2	-	1.5	-
男性	20.1	37.8	4.6	21.0	4.6	5.1	5.1	-	1.7	-
愛知県 (H20.9)	<b>23.4</b>	<b>30.2</b>	<b>2.5</b>	<b>20.2</b>	<b>5.8</b>	<b>3.2</b>	<b>8.4</b>	<b>1.0</b>	<b>2.6</b>	<b>2.5</b>
女性	36.0	16.2	2.1	19.9	8.0	2.2	9.5	1.0	2.9	2.3
男性	8.5	46.9	3.0	20.6	3.3	4.4	7.2	0.9	2.4	2.8
豊橋市 (H23.6)	<b>32.5</b>	<b>21.7</b>	<b>0.6</b>	<b>30.3</b>	<b>4.3</b>	<b>1.0</b>	<b>4.1</b>	-	<b>3.6</b>	<b>1.8</b>
女性	42.6	14.6	0.0	29.9	5.5	0.3	2.7	-	3.0	1.5
男性	19.2	31.1	1.5	31.3	3.0	1.9	5.8	-	4.3	1.7

(※) -は、調査をしていない項目

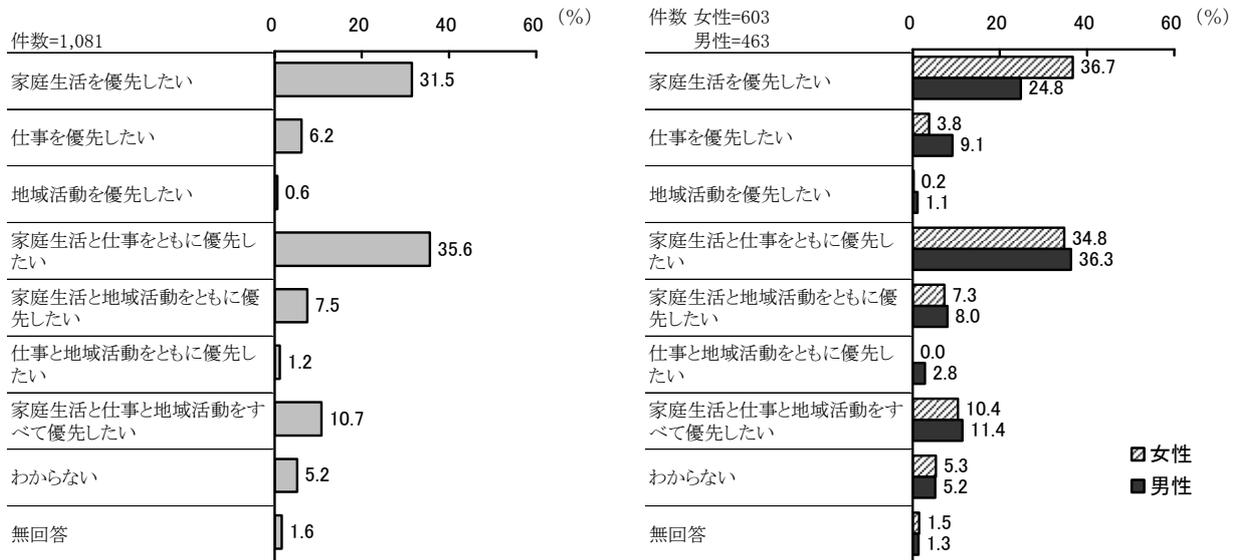
(※) 国、愛知県の調査では「地域活動」は「地域・個人の生活」となっている。

4-10 望ましい家庭生活・仕事・地域活動の関係

問14 家庭生活・仕事・地域活動の関係について、あなたの希望はどれに該当しますか。

(1つだけ)

- 望ましい家庭生活・仕事・地域活動の関係についてたずねたところ、「家庭生活と仕事をともに優先したい」が35.6%で最も高く、次いで「家庭生活を優先したい」が31.5%、「家庭生活と仕事と地域活動をすべて優先したい」が10.7%となっている。
- 性別でみると、「家庭生活を優先したい」は男性（24.8%）よりも女性（36.7%）の割合が高くなっている。
- 性・年代別でみると、「家庭生活を優先したい」は女性30代（43.8%）、40代（41.1%）で高く、「家庭生活と地域活動をともに優先したい」は男女ともに60代以上で高くなっている。



性・年代	件数	家庭生活を優先したい	仕事を優先したい	地域活動を優先したい	家庭生活と仕事をともに優先したい	家庭生活と地域活動をともに優先したい	仕事と地域活動をともに優先したい	家庭生活と仕事と地域活動をすべて優先したい	わからない	無回答	
全体	1081	31.5	6.2	0.6	35.6	7.5	1.2	10.7	5.2	1.6	
性・年代	女性20代	92	30.4	7.6	-	46.7	2.2	-	8.7	4.3	-
	30代	112	43.8	-	0.9	39.3	2.7	-	10.7	2.7	-
	40代	129	41.1	3.1	-	42.6	1.6	-	6.2	4.7	0.8
	50代	128	34.4	5.5	-	28.9	9.4	-	15.6	5.5	0.8
	60代以上	141	33.3	3.5	-	22.0	17.7	-	9.9	8.5	5.0
	男性20代	47	29.8	12.8	-	34.0	2.1	2.1	8.5	10.6	-
	30代	76	30.3	13.2	-	44.7	5.3	2.6	3.9	-	-
	40代	96	24.0	9.4	1.0	44.8	1.0	1.0	13.5	5.2	-
50代	107	19.6	8.4	0.9	42.1	1.9	3.7	15.9	5.6	1.9	
60代以上	136	25.0	5.9	2.2	22.1	20.6	3.7	11.8	5.9	2.9	

- 性・婚姻別で見ると、「家庭生活を優先したい」は女性既婚（41.9%）で、「仕事を優先したい」は男性未婚（19.5%）で、「家庭生活と仕事をともに優先したい」は女性未婚（43.9%）で高くなっている。

	件数	家庭生活を優先したい	仕事を優先したい	地域活動を優先したい	家庭生活と仕事をともに優先したい	家庭生活と地域活動をともに優先したい	仕事と地域活動をともに優先したい	家庭生活と仕事をすべて優先したい	わからない	無回答	
全体	1081	31.5	6.2	0.6	35.6	7.5	1.2	10.7	5.2	1.6	
性・婚姻	女性既婚	427	41.9	2.3	0.2	31.6	8.2	-	11.5	3.0	1.2
	未婚	171	23.4	7.6	-	43.9	4.7	-	8.2	10.5	1.8
	男性既婚	342	27.5	5.3	1.2	36.8	9.9	2.6	12.9	2.9	0.9
	未婚	118	17.8	19.5	0.8	34.7	2.5	3.4	7.6	11.9	1.7

### 国、愛知県の調査との比較

- 国、愛知県の調査との比較は、選択肢が一部異なるため一概に比較することはできないが、「家庭生活と仕事と地域活動をすべて優先したい」は国（16.9%）、愛知県（27.8%）よりも豊橋市（10.7%）の方が低くなっている。一方、「家庭生活を優先したい」「家庭生活と仕事をともに優先したい」は国、愛知県よりも高くなっている。

(%)

	家庭生活を優先したい	仕事を優先したい	地域活動を優先したい	家庭生活と仕事をともに優先したい	家庭生活と地域活動をともに優先したい	仕事と地域活動をともに優先したい	家庭生活と仕事と地域活動をすべて優先したい	その他	わからない	無回答
国 (H21.10)	<b>28.7</b>	<b>8.5</b>	<b>2.2</b>	<b>31.2</b>	<b>7.8</b>	<b>3.6</b>	<b>16.9</b>	-	<b>1.1</b>	-
女性	34.1	4.4	2.1	29.7	9.0	2.5	17.0	-	1.2	-
男性	22.5	13.3	2.3	33.0	6.4	4.8	16.7	-	0.9	-
愛知県 (H20.9)	<b>21.9</b>	<b>4.8</b>	<b>2.6</b>	<b>27.8</b>	<b>9.0</b>	<b>1.7</b>	<b>27.8</b>	<b>0.8</b>	<b>1.2</b>	<b>2.3</b>
女性	25.6	2.1	2.4	23.4	11.1	1.6	29.6	0.8	1.2	2.3
男性	17.5	8.0	2.9	33.1	6.6	2.0	25.6	0.7	1.2	2.4
豊橋市 (H23.6)	<b>31.5</b>	<b>6.2</b>	<b>0.6</b>	<b>35.6</b>	<b>7.5</b>	<b>1.2</b>	<b>10.7</b>	-	<b>5.2</b>	<b>1.6</b>
女性	36.7	3.8	0.2	34.8	7.3	0.0	10.4	-	5.3	1.5
男性	24.8	9.1	1.1	36.3	8.0	2.8	11.4	-	5.2	1.3

(※) -は、調査をしていない項目

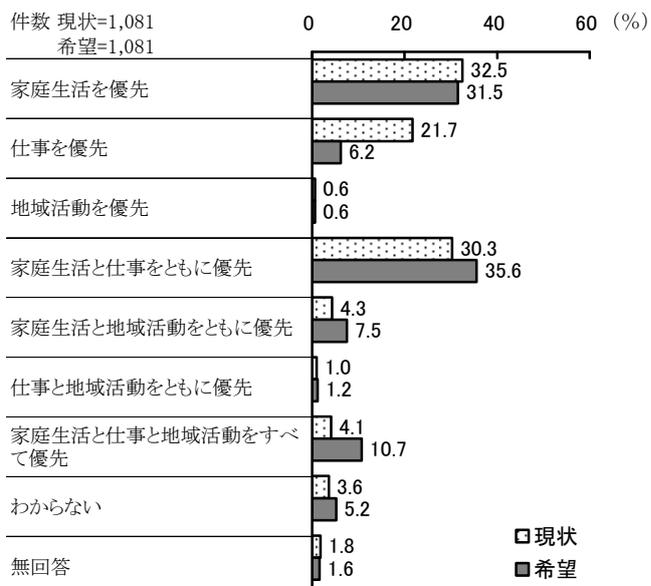
(※) 国、愛知県の調査では「地域活動」は「地域・個人の生活」となっている。

● 現状に比べて、希望している割合が高い項目（希望（問14）と現状（問13）の差）をみると、「家庭生活と仕事をともに優先」（5.3ポイント）、「家庭生活と仕事と地域活動をすべて優先」（6.6ポイント）で希望度が高い状況にある。

● 性別でみると、「家庭生活と仕事と地域活動をすべて優先」は女性（7.7ポイント）で希望度が高い。

● 性・年代別でみると、「家庭生活を優先」は男性20～50代で、「家庭生活と仕事をともに優先」は女性20代（21.7ポイント）、30代（14.3ポイント）、男性20代（14.9ポイント）で、「家庭生活と地域活動をともに優先」は男性60代以上（12.5ポイント）で、「家庭生活と仕事と地域活動をすべて優先」は女性50代（12.5ポイント）、男性40代（10.4ポイント）で希望度が高い。

● 性・共働きの状況別でみると、「家庭生活を優先」は共働きをしている男性（13.3ポイント）で、「家庭生活と仕事をともに優先」は共働きをしていない女性（10.3ポイント）で希望度が高い。



【希望と現状の差】

	件数	家庭生活を優先	仕事を優先	地域活動を優先	家庭生活と仕事をともに優先	家庭生活と仕事と地域活動を優先	仕事と地域活動を優先	家庭生活と仕事と地域活動をすべて優先	わからない	無回答	
全体	1081	-1.0	-15.5	0.0	5.3	3.2	0.2	6.6	1.6	-0.2	
性別	女性	603	-5.9	-10.8	0.2	4.9	1.8	-0.3	7.7	2.3	0.0
	男性	463	5.6	-22.0	-0.4	5.0	5.0	0.9	5.6	0.9	-0.4
性・年代	女性20代	92	1.1	-30.4	0.0	21.7	1.1	0.0	8.7	-2.2	0.0
	30代	112	-12.5	-10.7	0.9	14.3	-1.8	0.0	8.0	1.8	0.0
	40代	129	2.3	-9.3	0.0	1.5	-0.7	0.0	3.9	2.4	0.0
	50代	128	-6.2	-5.4	0.0	-5.5	1.6	0.0	12.5	3.2	0.0
	60代以上	141	-12.8	-4.3	0.0	-0.7	7.8	-1.4	6.4	5.0	0.0
	男性20代	47	12.8	-38.3	0.0	14.9	2.1	2.1	4.2	2.1	0.0
	30代	76	19.8	-27.6	-1.3	5.2	5.3	2.6	-4.0	0.0	0.0
	40代	96	13.6	-29.1	0.0	2.1	1.0	0.0	10.4	2.1	0.0
50代	107	10.3	-24.3	0.0	4.7	0.0	-1.0	9.4	0.9	0.0	
60代以上	136	-14.0	-6.6	-0.7	3.7	12.5	1.5	5.2	0.0	-1.5	
性・婚姻	女性既婚	427	-10.6	-3.3	0.2	1.9	1.9	-0.2	8.5	1.6	0.0
	未婚	171	4.7	-29.2	0.0	13.5	1.8	-0.6	6.4	3.5	0.0
	男性既婚	342	6.4	-21.0	-0.6	1.7	6.1	0.6	5.9	1.4	-0.6
	未婚	118	3.4	-25.4	0.0	13.5	1.7	1.7	5.1	0.0	0.0
性・共働き	女性共働きをしている	218	0.5	-5.5	0.5	-6.8	0.5	0.0	9.7	1.4	0.0
	共働きをしていない	214	-21.5	-1.4	0.0	10.3	3.8	-0.5	7.0	2.3	0.0
	男性共働きをしている	165	13.3	-29.1	-0.6	4.8	5.5	0.0	5.5	1.2	-0.6
	共働きをしていない	183	-0.5	-13.1	-0.6	0.0	6.0	1.7	4.9	2.2	-0.6

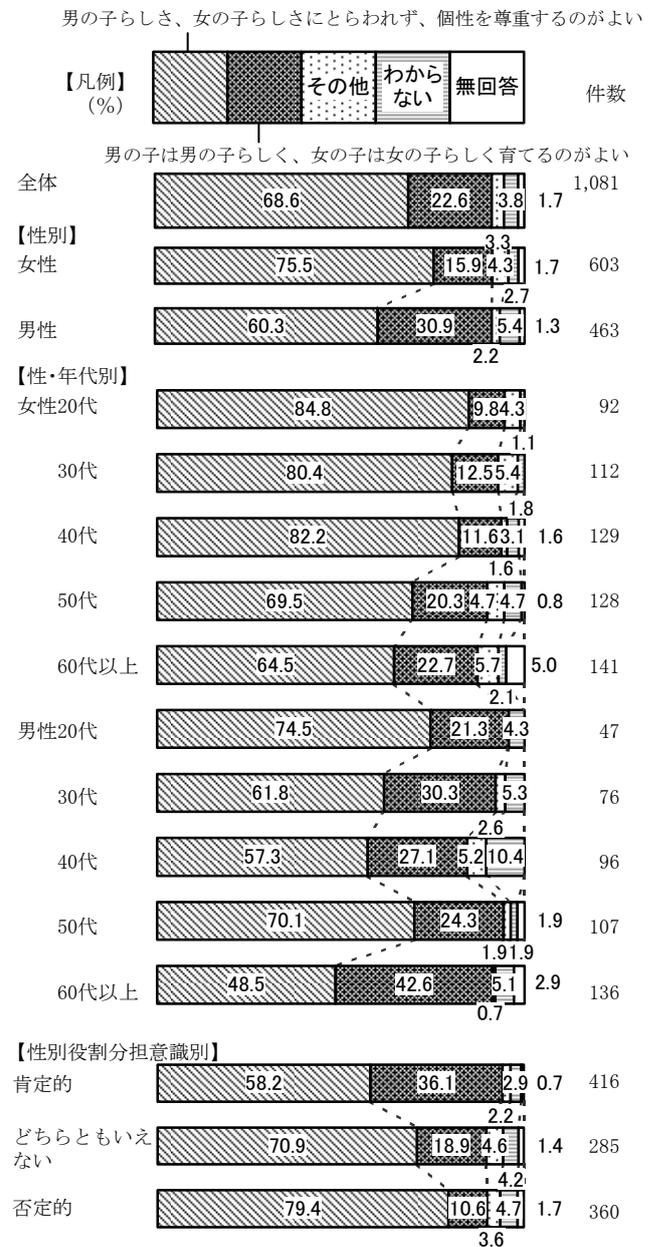
(※) 「希望から現状を引いた値」であり、プラスは現状より希望度が高いことを示す。

## 5 子どもへの男女共同参画教育について

### 5-1 子育てについての考え方

問15 あなたは、子育てについてどのような考えをお持ちですか。(1つだけ)

- 子育てについての考え方は、「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性を尊重するのがよい」が68.6%を占め、「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい」(22.6%)を46.0ポイント上回っている。
- 性別で見ると、「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性を尊重するのがよい」は、男性(60.3%)よりも女性(75.5%)の割合が高く、「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい」は、女性(15.9%)よりも男性(30.9%)で高くなっている。
- 性・年代別で見ると、「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性を尊重するのがよい」は、女性40代以下で約8割を占めている。一方、「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい」は、男性60代以上(42.6%)で高くなっている。
- 性別役割分担意識(問6)別で見ると、「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性を尊重するのがよい」は、性別役割分担に否定的な人(79.4%)で高く、「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい」は、性別役割分担に肯定的な人(36.1%)で高くなっている。



## 市の過去調査との比較

- 過去の調査と比較すると、「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性を尊重するのがよい」は、平成13年(61.5%)から平成17年(55.9%)にかけて減少したが、平成20年62.3%、平成23年68.6%と増加している。

(%)

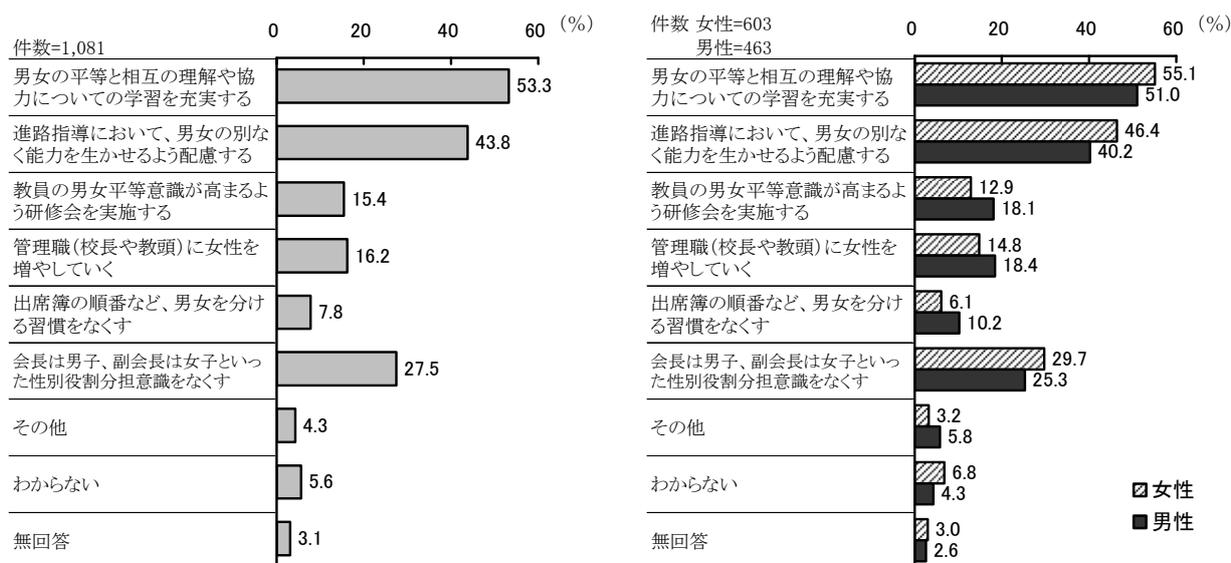
	男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性を尊重するのがよい	男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい	その他	わからない	無回答
豊橋市(H23.6)	<b>68.6</b>	<b>22.6</b>	<b>3.3</b>	<b>3.8</b>	<b>1.7</b>
女性	75.5	15.9	4.3	2.7	1.7
男性	60.3	30.9	2.2	5.4	1.3
豊橋市(H20.5)	<b>62.3</b>	<b>28.0</b>	<b>4.1</b>	<b>3.2</b>	<b>2.4</b>
女性	67.7	21.7	5.8	3.4	1.4
男性	56.0	36.7	2.2	3.0	2.2
豊橋市(H17.5)	<b>55.9</b>	<b>33.9</b>	<b>3.3</b>	<b>3.3</b>	<b>3.6</b>
女性	61.6	27.0	3.9	4.1	3.4
男性	48.4	43.5	2.3	2.3	3.5
豊橋市(H13.8)	<b>61.5</b>	<b>29.1</b>	<b>3.4</b>	<b>3.5</b>	<b>2.6</b>
女性	66.9	24.3	3.9	2.8	2.2
男性	54.8	36.2	2.8	3.6	2.6

## 5-2 男女平等のための学校教育のあり方

問16 男女平等の人間関係をつくるために、学校教育の場で何が必要だと思いますか。

(2つまで)

- 男女平等の人間関係をつくるために、学校教育の場でどのようなことに力を入れるとよいかたずねたところ、「男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」が53.3%で最も高く、次いで「進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する」が43.8%、「会長は男子、副会長は女子といった性別役割分担意識をなくす」が27.5%となっている。
- 性別でみても大きな差はみられない。
- 性・年代別でみると、「男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」は女性50代(67.2%)で、「管理職(校長や教頭)に女性を増やしていく」は女性20代(26.1%)、男性20代(25.5%)、30代(25.0%)で、「出席簿の順番など、男女を分ける習慣をなくす」は男女ともに20代で高くなっている。



性・年代	件数	必要と思われる項目の割合 (%)										
		男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する	教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する	管理職(校長や教頭)に女性を増やしていく	出席簿の順番など、男女を分ける習慣をなくす	会長は男子、副会長は女子といった性別役割分担意識をなくす	その他	わからない	無回答		
全体	1081	53.3	43.8	15.4	16.2	7.8	27.5	4.3	5.6	3.1		
女性・年代	女性20代	92	41.3	39.1	13.0	26.1	15.2	34.8	2.2	7.6	1.1	
	30代	112	50.0	50.9	9.8	17.9	7.1	32.1	5.4	7.1	0.9	
	40代	129	58.9	48.1	15.5	10.9	7.0	31.8	3.1	7.0	0.8	
	50代	128	67.2	43.0	10.9	13.3	2.3	28.1	2.3	5.5	3.1	
	60代以上	141	53.2	49.6	14.2	9.9	2.1	24.1	2.8	7.1	7.8	
	男性・年代	男性20代	47	40.4	48.9	21.3	25.5	27.7	23.4	4.3	-	-
		30代	76	44.7	32.9	18.4	25.0	7.9	27.6	10.5	3.9	-
		40代	96	51.0	38.5	14.6	17.7	9.4	21.9	10.4	5.2	1.0
		50代	107	52.3	43.0	16.8	18.7	12.1	26.2	4.7	2.8	1.9
		60代以上	136	56.6	39.7	20.6	12.5	4.4	26.5	1.5	6.6	6.6

- 性・婚姻別でみると、「進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する」は女性既婚（49.6%）で高くなっている。

	件数	充実する	男女の平等と相互の学習を	進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する	教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する	管理職（校長や教頭）に女性を増やしていく	出席簿の順番など、男女を分ける習慣をなくす	会長は男子、副会長は女子といった性別役割分担意識をなくす	その他	わからない	無回答
全体	1081	53.3	43.8	15.4	16.2	7.8	27.5	4.3	5.6	3.1	
性・婚姻	女性既婚	427	56.7	49.6	12.4	12.6	6.8	30.9	2.8	6.1	2.3
	未婚	171	52.0	39.8	14.0	19.3	4.7	27.5	4.1	8.8	2.9
	男性既婚	342	54.4	40.1	18.4	17.3	9.1	24.3	5.0	4.4	2.6
	未婚	118	40.7	39.8	17.8	22.0	13.6	28.8	8.5	4.2	1.7

### 市の過去調査との比較

- 過去の調査と比較すると、「進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する」は平成13年（57.6%）から平成23年（43.8%）まで減少し続けている。また、「管理職（校長や教頭）に女性を増やしていく」「会長は男子、副会長は女子といった性別役割分担意識をなくす」は平成13年から平成20年にかけて増加していたが、平成23年は減少している。

(%)

	男女の平等と相互の学習を充実する	進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する	教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する	管理職（校長や教頭）に女性を増やしていく	出席簿の順番など、男女を分ける習慣をなくす	会長は男子、副会長は女子といった性別役割分担意識をなくす	その他	わからない	無回答
豊橋市(H23.6)	<b>53.3</b>	<b>43.8</b>	<b>15.4</b>	<b>16.2</b>	<b>7.8</b>	<b>27.5</b>	<b>4.3</b>	<b>5.6</b>	<b>3.1</b>
女性	55.1	46.4	12.9	14.8	6.1	29.7	3.2	6.8	3.0
男性	51.0	40.2	18.1	18.4	10.2	25.3	5.8	4.3	2.6
豊橋市(H20.5)	<b>51.0</b>	<b>47.8</b>	<b>15.3</b>	<b>20.5</b>	<b>6.7</b>	<b>36.1</b>	<b>3.5</b>	-	<b>2.9</b>
女性	51.8	49.1	14.8	21.4	5.9	34.6	2.5	-	2.3
男性	50.6	46.0	16.7	18.8	7.7	36.9	5.0	-	3.6
豊橋市(H17.5)	<b>51.5</b>	<b>54.3</b>	<b>12.0</b>	<b>18.2</b>	<b>5.9</b>	<b>31.9</b>	<b>2.6</b>	-	<b>4.3</b>
女性	53.9	54.9	10.7	20.0	5.4	29.3	2.1	-	4.2
男性	47.7	53.0	14.3	16.4	6.8	36.0	3.5	-	4.2
豊橋市(H13.8)	<b>51.0</b>	<b>57.6</b>	<b>13.3</b>	<b>15.7</b>	<b>6.5</b>	<b>31.0</b>	<b>2.1</b>	-	<b>3.8</b>
女性	52.7	58.8	12.2	17.8	7.1	30.8	1.4	-	3.2
男性	48.8	55.8	15.2	12.7	5.9	31.0	3.1	-	4.1

(※) -は、調査していない項目

## 6 高齢化・福祉について

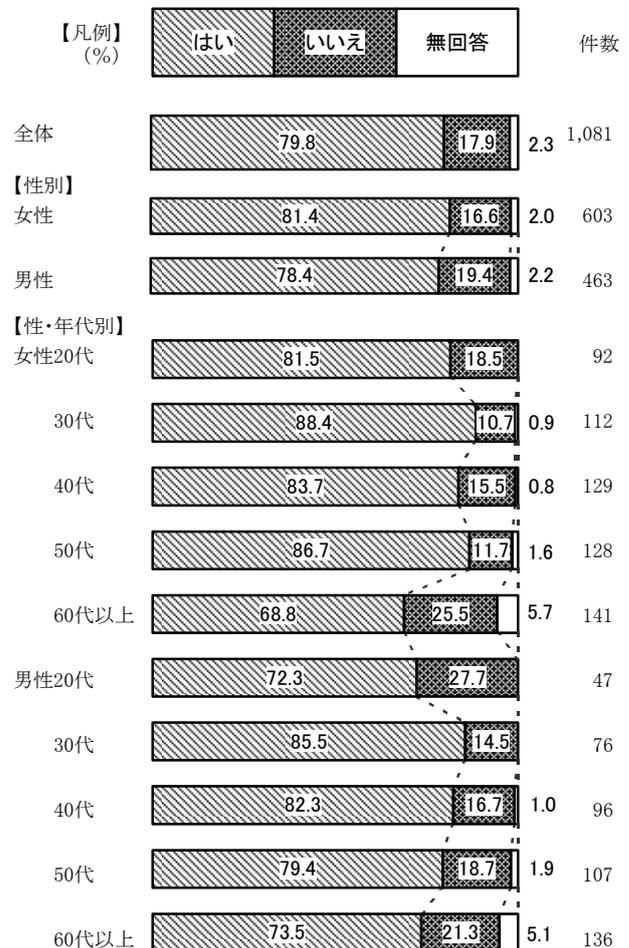
### 6-1 老後の不安の有無

問17 あなたは、自分の老後について、不安を感じていますか。(1つだけ)

- 老後の不安の有無についてたずねたところ、「はい(ある)」が79.8%を占めている。
- 性別でみても大きな差はみられない。
- 性・年代別で見ると、「はい(ある)」はほとんどの性・年代層で7割を超えており、特に女性30代(88.4%)で高くなっている。一方、「いいえ(ない)」は女性60代以上(25.5%)、男性20代(27.7%)、60代以上(21.3%)で2割以上となっている。

#### 市の過去調査との比較

- 過去の調査との比較は、平成17年以前は選択肢が異なるため一概に比較することはできないが、平成20年と比較しても「はい(不安がある)」は2.7ポイント減少し、「いいえ(不安はない)」は4.8ポイント増加している。



(%)

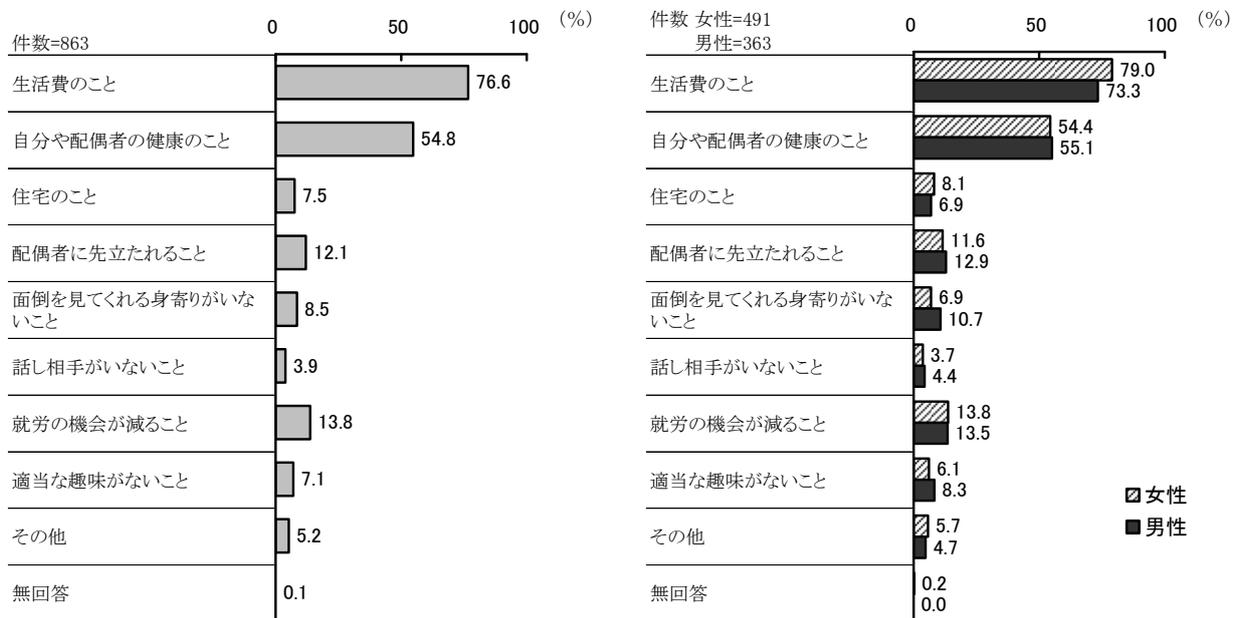
	はい	いいえ	無回答
豊橋市(H23.6)	<b>79.8</b>	<b>17.9</b>	<b>2.3</b>
女性	81.4	16.6	2.0
男性	78.4	19.4	2.2
豊橋市(H20.5)	<b>82.5</b>	<b>13.1</b>	<b>4.4</b>
女性	84.7	11.7	3.6
男性	80.4	14.5	5.2
豊橋市(H17.5)	<b>91.7</b>	<b>3.3</b>	<b>5.0</b>
女性	92.2	3.7	4.1
男性	90.9	2.8	6.3
豊橋市(H13.8)	<b>91.1</b>	<b>5.5</b>	<b>3.4</b>
女性	92.3	5.3	2.4
男性	89.9	5.7	4.4

## 6-2 老後に不安を感じていること

＜問17で不安を感じていると答えた方にお聞きします。＞

問17-1 それは、どのような不安ですか。(2つまで)

- 老後の不安は、「生活費のこと」が76.6%で最も高く、次いで「自分や配偶者の健康のこと」が54.8%となっている。
- 性別でも、大きな差はみられない。
- 性・年代別でみると、「生活費のこと」は男女ともに50代以下で高く、特に男性20代(91.2%)では9割を超えている。また、「配偶者に先立たれること」は男女ともに60代以上で高くなっている。



	件数	生活費のこと	自分や配偶者の健康のこと	住宅のこと	配偶者に先立たれること	面倒を見てくれる身寄りがいないこと	話し相手がないこと	就労の機会が減ること	適当な趣味がないこと	その他	無回答	
全体	863	76.6	54.8	7.5	12.1	8.5	3.9	13.8	7.1	5.2	0.1	
性・年代	女性20代	75	88.0	44.0	6.7	10.7	6.7	2.7	16.0	4.0	4.0	-
	30代	99	87.9	44.4	14.1	5.1	9.1	3.0	16.2	5.1	3.0	-
	40代	108	88.9	54.6	6.5	8.3	6.5	1.9	16.7	5.6	7.4	-
	50代	111	81.1	60.4	6.3	10.8	4.5	3.6	16.2	2.7	6.3	-
	60代以上	97	49.5	64.9	7.2	23.7	8.2	7.2	4.1	13.4	7.2	1.0
	男性20代	34	91.2	64.7	8.8	11.8	-	5.9	5.9	2.9	5.9	-
	30代	65	84.6	41.5	6.2	4.6	16.9	3.1	20.0	9.2	6.2	-
	40代	79	82.3	53.2	6.3	5.1	13.9	2.5	12.7	11.4	3.8	-
50代	85	74.1	55.3	3.5	10.6	11.8	3.5	17.6	9.4	4.7	-	
60代以上	100	52.0	62.0	10.0	27.0	7.0	7.0	9.0	6.0	4.0	-	

- 性・婚姻別でみると、「自分や配偶者の健康のこと」は男女ともに既婚での割合が高く、「面倒を見てくれる身寄りがいないこと」「話し相手がないこと」は男女ともに未婚で高くなっている。
- 性・共働きの状況別でみると、「生活費のこと」は共働きをしている女性（86.2%）で高くなっている。

	件数	生活費のこと	自分や配偶者の健康のこと	住宅のこと	配偶者に先立たれること	面倒を見てくれる身寄りがいないこと	話し相手がないこと	就労の機会が減ること	適当な趣味がないこと	その他	無回答	
全体	863	76.6	54.8	7.5	12.1	8.5	3.9	13.8	7.1	5.2	0.1	
性・婚姻	女性既婚	346	78.9	62.4	8.1	14.2	4.3	11.0	5.5	6.1	-	
	未婚	144	79.9	34.7	8.3	4.9	13.2	8.3	7.6	4.9	0.7	
	男性既婚	268	72.8	63.8	5.6	15.7	6.3	1.5	12.3	3.4	-	
	未婚	93	74.2	30.1	9.7	5.4	23.7	12.9	5.4	8.6	-	
性・共働き	女性共働きをしている	181	86.2	63.0	5.5	7.7	2.2	1.7	13.8	5.0	7.2	-
	共働きをしていない	166	70.5	61.4	10.8	20.5	7.2	1.8	8.4	5.4	4.8	-
	男性共働きをしている	142	76.1	59.2	4.9	11.3	8.5	0.7	18.3	9.9	2.8	-
	共働きをしていない	134	68.7	64.9	7.5	17.9	5.2	3.0	6.0	6.0	-	

### 市の過去調査との比較

- 選択肢がほぼ同じ平成20年の調査と比較すると、「自分や配偶者の健康のこと」は5.7ポイント減少し、「就労の機会が減ること」が5.4ポイント増加している。

(%)

	生活費のこと	自分や配偶者の健康のこと	住宅のこと	配偶者に先立たれること	面倒を見てくれる身寄りがいないこと	話し相手がないこと	就労の機会が減ること	適当な趣味がないこと
豊橋市(H23.6)	<b>76.6</b>	<b>54.8</b>	<b>7.5</b>	<b>12.1</b>	<b>8.5</b>	<b>3.9</b>	<b>13.8</b>	<b>7.1</b>
女性	79.0	54.4	8.1	11.6	6.9	3.7	13.8	6.1
男性	73.3	55.1	6.9	12.9	10.7	4.4	13.5	8.3
豊橋市(H20.5)	<b>75.8</b>	<b>60.5</b>	<b>6.6</b>	<b>12.2</b>	<b>7.0</b>	<b>2.4</b>	<b>8.4</b>	<b>5.4</b>
女性	76.6	59.3	6.4	11.2	7.7	2.2	8.3	3.9
男性	76.3	62.2	6.4	12.8	5.9	2.5	8.4	6.9
豊橋市(H17.5)	<b>42.0</b>	-	<b>2.2</b>	<b>23.4</b>	<b>4.8</b>	<b>1.7</b>	<b>4.0</b>	<b>3.3</b>
女性	45.9	-	2.1	20.4	4.9	1.3	4.1	2.6
男性	37.6	-	2.3	27.1	4.9	2.3	4.0	4.4
豊橋市(H13.8)	<b>39.8</b>	-	<b>1.6</b>	<b>23.4</b>	<b>4.0</b>	<b>1.4</b>	<b>5.2</b>	<b>5.5</b>
女性	44.0	-	1.4	19.5	4.3	1.8	5.5	4.9
男性	34.6	-	1.8	28.2	3.4	0.8	5.2	6.7

	自分や配偶者がねたきりや病気になること	自分の健康のこと	その他	特に不安は感じていない	無回答
豊橋市(H23.6)	-	-	<b>5.2</b>	-	<b>0.1</b>
女性	-	-	5.7	-	0.2
男性	-	-	4.7	-	0.0
豊橋市(H20.5)	-	-	<b>4.7</b>	<b>0.2</b>	<b>0.3</b>
女性	-	-	5.2	0.2	0.2
男性	-	-	4.2	0.2	0.5
豊橋市(H17.5)	<b>54.2</b>	<b>34.4</b>	<b>1.2</b>	<b>3.3</b>	<b>5.0</b>
女性	55.7	34.2	1.3	3.7	4.1
男性	51.4	34.6	1.2	2.8	6.3
豊橋市(H13.8)	<b>54.1</b>	<b>32.3</b>	<b>1.7</b>	<b>5.5</b>	<b>3.4</b>
女性	55.8	32.7	2.0	5.3	2.4
男性	53.0	30.5	1.6	5.7	4.4

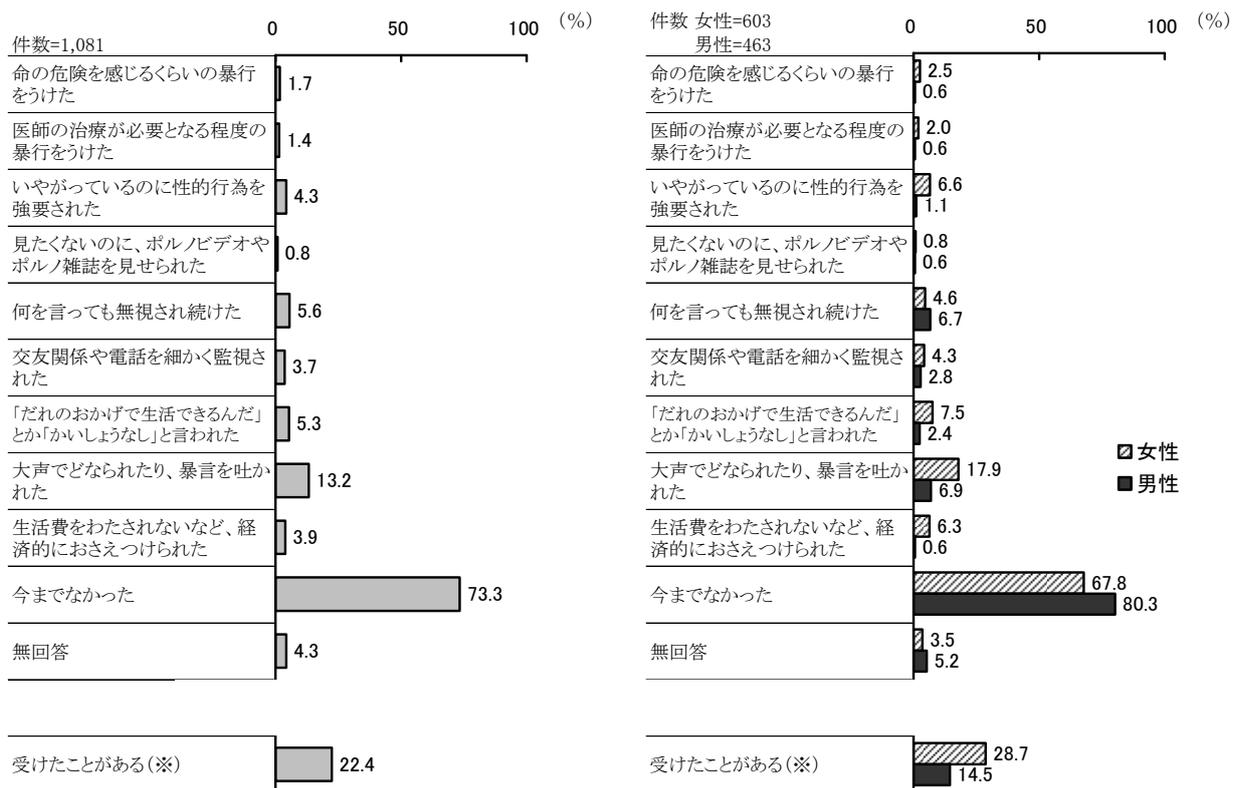
(※) -は、調査していない項目

## 7 配偶者等からの暴力について

### 7-1 夫または妻や恋人から暴力を受けた経験

問18 あなたは、これまでにあなたの夫または妻や恋人から、次のようなことをされた経験がありますか。(いくつでも)

- 暴力などを受けた経験についてみると、「今までなかった」は73.3%となっている。一方、何らかの暴力を“受けたことがある(※)”人は22.4%で、暴力を受けた内容については、「大声でどなられたり、暴言を吐かれた」が13.2%、「何を言っても無視され続けた」が5.6%、「だれのおかげで生活できるんだ」とか「かいしょうなし」と言われた」が5.3%などとなっている。
- 性別でみると、何らかの暴力を“受けたことがある(※)”人は、男性が14.5%でおよそ7人に1人の割合、女性が28.7%でおよそ3～4人に1人の割合となっている。また、「大声でどなられたり、暴言を吐かれた」は、女性で17.9%と2割弱を占めている。



(※) 全体から「今までなかった」「無回答」を除いた割合

- 性・年代別で見ると、「いやがっているのに性的行為を強要された」「だれのおかげで生活できるんだ」とか「かいしょうなし」と言われた」「大声でどなられたり、暴言を吐かれた」は女性30代、40代で高くなっている。また、「何を言っても無視され続けた」は男性40代(11.5%)、50代(11.2%)で高くなっている。
- 性・婚姻別で見ると、何らかの暴力を“受けたことがある(※)”人は女性既婚で28.3%、女性未婚で30.4%となっている。

	件数	命の危険を感じた	医師の治療が必要となる	いやがっているのに性的行為を強要された	せられたオヤポルノ、雑誌を見	見たくないのに、ポルノ	何を言っても無視され続	監視された	交友関係や電話を細かく	「だれのおかげで生活でき	「かいしょうなし」と言われた	大声でどなられたり、暴	言を吐かれた	ら、生活費をわたされな	生、経済的におさえつ	な	今までなかった	無回答	受けたことがある(※)
全体	1081	1.7	1.4	4.3	0.8	5.6	3.7	5.3	13.2	3.9	73.3	4.3	22.4						
性・年代	女性20代	92	1.1	1.1	4.3	-	2.2	7.6	6.5	10.9	4.3	80.4	1.1	18.5					
	30代	112	3.6	2.7	8.9	0.9	8.0	8.0	9.8	22.3	7.1	60.7	0.9	38.4					
	40代	129	4.7	3.1	11.6	1.6	5.4	3.9	12.4	23.3	8.5	62.0	2.3	35.7					
	50代	128	1.6	1.6	3.9	0.8	6.3	2.3	3.9	18.0	9.4	67.2	3.1	29.7					
	60代以上	141	1.4	1.4	4.3	0.7	1.4	1.4	5.0	13.5	2.1	71.6	8.5	19.9					
	男性20代	47	-	-	-	-	2.1	6.4	-	-	-	93.6	-	6.4					
	30代	76	2.6	2.6	2.6	1.3	2.6	3.9	5.3	10.5	1.3	81.6	2.6	15.8					
	40代	96	-	-	1.0	-	11.5	2.1	4.2	9.4	-	77.1	2.1	20.8					
	50代	107	0.9	0.9	1.9	0.9	11.2	4.7	0.9	4.7	0.9	79.4	3.7	16.9					
60代以上	136	-	-	-	0.7	3.7	-	1.5	7.4	0.7	77.9	11.8	10.3						
性・婚姻	女性既婚	427	1.9	2.1	6.8	0.7	4.9	4.2	7.0	18.0	4.2	69.1	2.6	28.3					
	未婚	171	4.1	1.8	6.4	1.2	4.1	4.7	8.8	18.1	11.7	65.5	4.1	30.4					
	男性既婚	342	0.6	0.6	1.2	0.3	7.0	3.2	2.6	8.5	0.6	79.5	4.7	15.8					
	未婚	118	0.8	0.8	0.8	1.7	5.9	1.7	1.7	2.5	0.8	83.1	5.9	11.0					

(※) 全体から「今までなかった」「無回答」を除いた割合

## 市の過去調査との比較

- 過去の調査と比較すると、暴力を“受けたことがある（※1）”は、平成13年（15.9％）に比べ6.5ポイント増加しており、特に男性は約2倍となっている（7.3％→14.5％）。

(%)

	命の危険を感じるくらい の暴行を受けた	医師の治療が 必要となる程 度の暴行をう けた	いやがっ ているのに 性的行為を 強要された	見たくない のに、ポル ノビデオや ポルノ雑誌 を見せられ た	何を言っ ても無視さ れ続けた	交友関係 や電話を細 かく監視さ れた	「だれのお かげで生活 できるんだ 」とか「か いしょうな し」と言わ れた	大声でど んなら吐か れたり、暴 言を吐かれ た
豊橋市 (H23.6)	<b>1.7</b>	<b>1.4</b>	<b>4.3</b>	<b>0.8</b>	<b>5.6</b>	<b>3.7</b>	<b>5.3</b>	<b>13.2</b>
女性	2.5	2.0	6.6	0.8	4.6	4.3	7.5	17.9
男性	0.6	0.6	1.1	0.6	6.7	2.8	2.4	6.9
豊橋市 (H20.5)	<b>1.1</b>	<b>1.9</b>	<b>4.0</b>	<b>0.9</b>	<b>5.9</b>	<b>4.2</b>	<b>5.8</b>	<b>13.9</b>
女性	1.9	3.1	6.2	1.1	5.1	4.2	7.3	18.9
男性	0.2	0.4	1.2	0.6	6.9	4.2	4.0	8.1
豊橋市 (H17.5)	<b>0.6</b>	<b>0.9</b>	<b>3.1</b>	<b>0.3</b>	<b>3.7</b>	<b>3.7</b>	<b>4.0</b>	<b>9.7</b>
女性	1.0	1.3	5.2	0.3	3.9	3.9	5.4	13.8
男性	0.0	0.2	0.2	0.2	3.3	3.3	2.1	4.2
豊橋市 (H13.8)	<b>1.0</b>	<b>1.4</b>	<b>4.3</b>	<b>0.6</b>	<b>3.5</b>	<b>2.8</b>	<b>3.9</b>	<b>8.3</b>
女性	1.8	2.4	6.9	1.0	3.9	3.4	5.7	12.6
男性	0.0	0.0	1.0	0.3	2.8	2.1	1.6	3.1

	生活費をわ たされな いなど、 経済的に おさえつ けられ た	医師の治 療が必 要でない 程度の 暴行を うけた	今までな かった (そのよ うなこ とはな かった)	無回答 (H20調 査では 該当な し(その ような ことは なかつ た)と して分 析)	暴力を受 けたこ とがあ る(※ 1)
豊橋市 (H23.6)	<b>3.9</b>	-	<b>73.3</b>	<b>4.3</b>	<b>22.4</b>
女性	6.3	-	67.8	3.5	28.7
男性	0.6	-	80.3	5.2	14.5
豊橋市 (H20.5)	<b>3.3</b>	<b>3.1</b>	-	<b>76.5</b>	<b>23.5</b>
女性	5.5	4.8	-	70.4	29.6
男性	0.8	0.8	-	83.7	16.3
豊橋市 (H17.5)	<b>2.4</b>	<b>3.3</b>	<b>72.2</b>	<b>9.9</b>	<b>17.9</b>
女性	3.6	5.2	67.6	8.6	23.8
男性	0.7	0.7	78.7	11.4	9.9
豊橋市 (H13.8)	<b>2.2</b>	<b>3.9</b>	<b>68.5</b>	<b>15.6</b>	<b>15.9</b>
女性	3.4	5.9	65.1	12.6	22.3
男性	0.5	1.6	74.4	18.3	7.3

(※) -は、調査していない項目

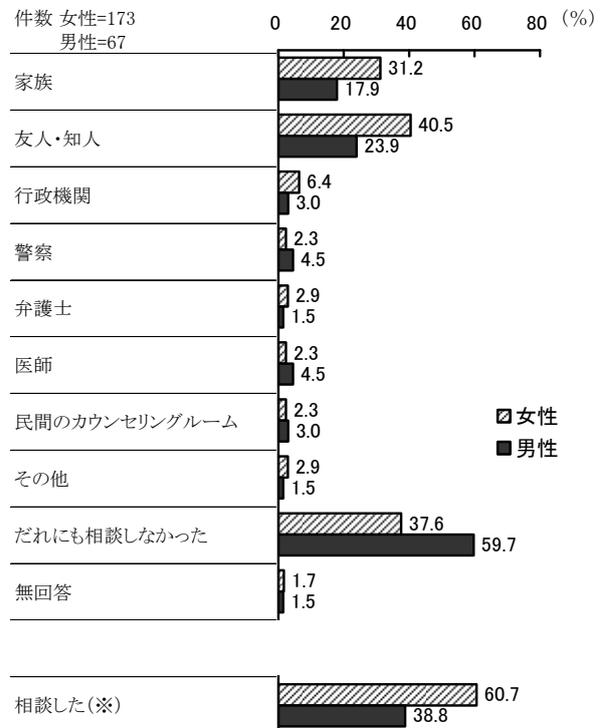
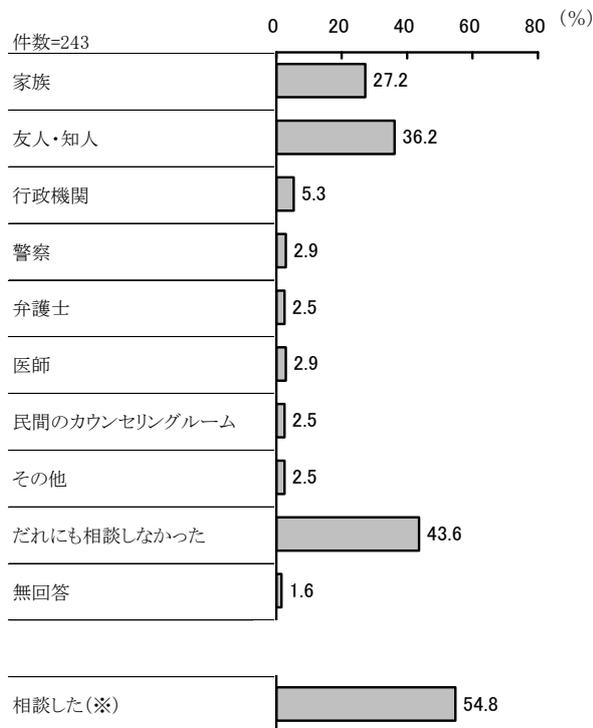
(※1) 全体から「今までなかった」「無回答」を除いた割合

## 7-2 暴力行為についての相談相手

<問18で、該当のある方にお聞きします。>

問19 あなたは、これまでに配偶者や交際相手から受けた行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(いくつでも)

- 暴力行為についての相談相手をたずねたところ、「だれにも相談しなかった」が43.6%となっている。一方、“相談した(※)”人は54.8%で、具体的には「友人・知人」が36.2%で最も高く、次いで「家族」が27.2%となっている。これら以外の項目では1割未満となっている。
- 性別でみると、「だれにも相談しなかった」は女性(37.6%)よりも男性(59.7%)で高くなっている。



(※) 全体から「だれにも相談しなかった」「無回答」を除いた割合

- 性・年代別でみると、「友人・知人」は女性20～40代で高くなっている。一方、「だれにも相談しなかった」は男性のすべての年代層において半数以上を占めている。
- 性・婚姻別でみると、「だれにも相談しなかった」は男性既婚（66.7%）で高くなっている。

	件数	家族	友人・知人	行政機関	警察	弁護士	医師	民間のカウンセリング	その他	だれにも相談しなかった	無回答	相談した（※）	
全体	243	27.2	36.2	5.3	2.9	2.5	2.9	2.5	2.5	43.6	1.6	54.8	
性・年代	女性20代	17	17.6	47.1	11.8	5.9	11.8	-	-	47.1	-	52.9	
	30代	43	23.3	46.5	7.0	4.7	2.3	-	2.3	4.7	2.3	60.5	
	40代	46	37.0	52.2	10.9	2.2	2.2	6.5	4.3	4.3	4.3	76.1	
	50代	38	36.8	23.7	2.6	-	2.6	-	-	-	50.0	-	50.0
	60代以上	28	35.7	32.1	-	-	-	3.6	3.6	3.6	42.9	-	57.1
	男性20代	3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	66.7	-	33.3
	30代	12	33.3	25.0	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	-	50.0	-	50.0
	40代	20	20.0	20.0	-	-	-	-	-	5.0	65.0	-	35.0
性・婚姻	女性既婚	121	30.6	37.2	5.0	1.7	1.7	2.5	0.8	4.1	38.8	2.5	58.7
	未婚	52	32.7	48.1	9.6	3.8	5.8	1.9	5.8	-	34.6	-	65.4
	男性既婚	54	16.7	20.4	-	1.9	1.9	1.9	1.9	-	66.7	1.9	31.4
	未婚	13	23.1	38.5	15.4	15.4	-	15.4	7.7	7.7	30.8	-	69.2

（※）全体から「だれにも相談しなかった」「無回答」を除いた割合

### 市の過去調査との比較

- 過去調査との比較は、選択肢が異なるため一概に比較することはできないが、“相談した（※1）”は平成17年20.6%、平成20年39.9%、平成23年54.8%と増加している。

(%)

	家族	友人・知人	行政機関	警察	弁護士	医師	民間のカウンセリンググループ	その他
豊橋市(H23.6)	<b>27.2</b>	<b>36.2</b>	<b>5.3</b>	<b>2.9</b>	<b>2.5</b>	<b>2.9</b>	<b>2.5</b>	<b>2.5</b>
女性	31.2	40.5	6.4	2.3	2.9	2.3	2.3	2.9
男性	17.9	23.9	3.0	4.5	1.5	4.5	3.0	1.5
豊橋市(H20.5)	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	-	-	-	-	-	-	-	-
男性	-	-	-	-	-	-	-	-
豊橋市(H17.5)	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	-	-	-	-	-	-	-	-
男性	-	-	-	-	-	-	-	-

	だれにも相談しなかった	無回答	相談した（※1）
豊橋市(H23.6)	<b>43.6</b>	<b>1.6</b>	<b>54.8</b>
女性	37.6	1.7	60.7
男性	59.7	1.5	38.8
豊橋市(H20.5)	<b>53.3</b>	<b>6.9</b>	<b>39.9</b>
女性	51.6	5.8	42.6
男性	56.1	9.8	34.1
豊橋市(H17.5)	<b>29.1</b>	<b>50.3</b>	<b>20.6</b>
女性	28.8	47.9	23.3
男性	31.0	57.1	11.9

（※）-は、調査していない項目

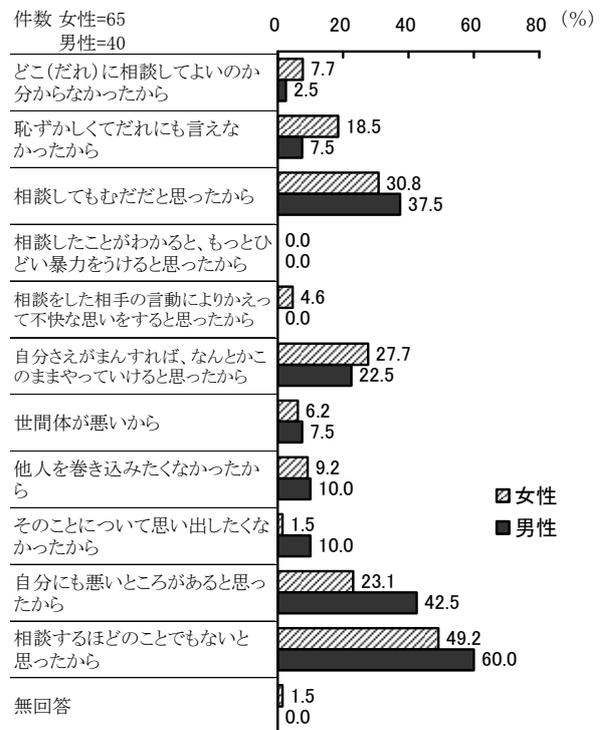
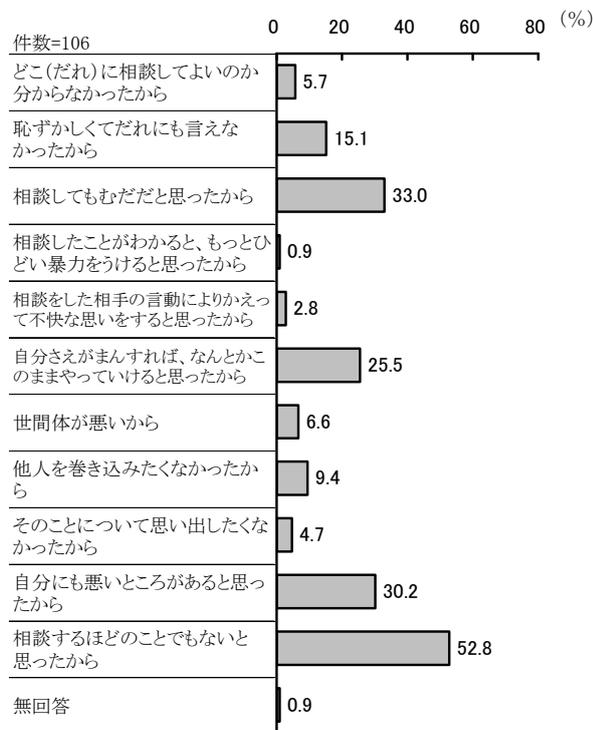
（※1）平成23年の調査は、全体から「だれにも相談しなかった」「無回答」を除いた割合

### 7-3 相談をしなかった理由

＜前の質問で、だれにも相談しなかったと答えた方にお聞きします。＞

問20 だれにも相談しなかったのは、なぜですか。(いくつでも)

- だれにも相談しなかった理由は、「相談するほどのことでもないと思ったから」が52.8%で最も高く、次いで「相談してもむだだと思ったから」が33.0%、「自分にも悪い所があったから」が30.2%、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていたらよかったから」が25.5%となっている。
- 性別でみると、「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」は女性の割合が高く、「自分にも悪い所があったから」「相談するほどのことでもないと思ったから」は男性で高くなっている。



## 市の過去調査との比較

- 過去の調査と比較すると、「相談してもむだだと思ったから」は、平成13年（47.7%）と平成20年（41.5%）では最も高い割合を占め、平成17年（36.4%）、平成23年（33.0%）でも2番目に多い割合となっている。

(%)

	どこ（だれ）に相談してよいか分からなかったから	恥ずかしくてだれにも言えなかったから	相談してもむだだと思ったから	相談したことがわかると、もっとひどい暴力をうけると思ったから	相談した相手の言動によりかえって不快な思いをすと思ったから	自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	世間体が悪いから	他人を巻き込みたくなかったから
豊橋市(H23.6)	<b>5.7</b>	<b>15.1</b>	<b>33.0</b>	<b>0.9</b>	<b>2.8</b>	<b>25.5</b>	<b>6.6</b>	<b>9.4</b>
女性	7.7	18.5	30.8	0.0	4.6	27.7	6.2	9.2
男性	2.5	7.5	37.5	0.0	0.0	22.5	7.5	10.0
豊橋市(H20.5)	<b>12.2</b>	<b>12.2</b>	<b>41.5</b>	<b>8.2</b>	<b>4.8</b>	<b>30.6</b>	<b>5.4</b>	<b>12.2</b>
女性	12.2	10.2	42.9	8.2	4.1	29.6	5.1	11.2
男性	13.0	17.4	39.1	8.7	6.5	30.4	6.5	15.2
豊橋市(H17.5)	<b>5.5</b>	<b>29.1</b>	<b>36.4</b>	<b>9.1</b>	<b>3.6</b>	<b>41.8</b>	<b>9.1</b>	<b>12.7</b>
女性	4.8	31.0	31.0	11.9	4.8	40.5	9.5	14.3
男性	7.7	23.1	53.8	0.0	0.0	46.2	7.7	7.7
豊橋市(H13.8)	<b>6.8</b>	<b>22.7</b>	<b>47.7</b>	<b>6.8</b>	<b>4.5</b>	<b>34.1</b>	<b>13.6</b>	<b>15.9</b>
女性	9.1	21.2	54.5	9.1	6.1	33.3	12.1	15.2
男性	0.0	30.0	30.0	0.0	0.0	30.0	20.0	20.0

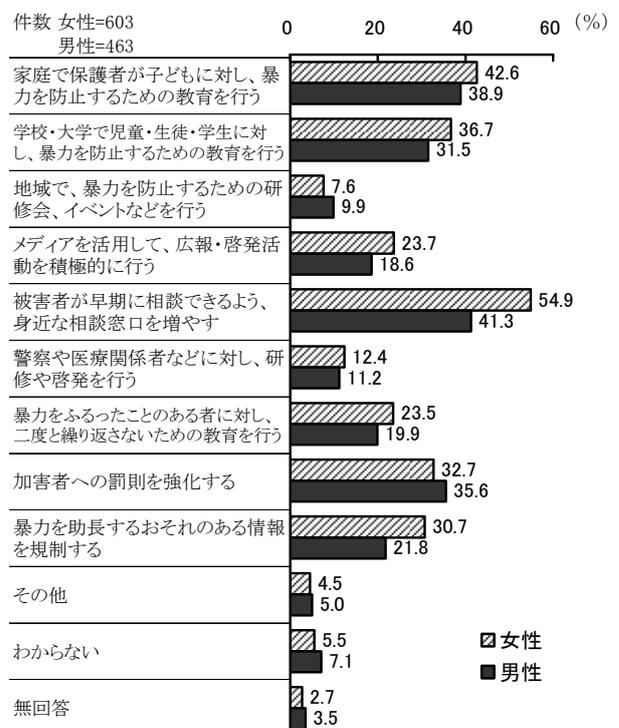
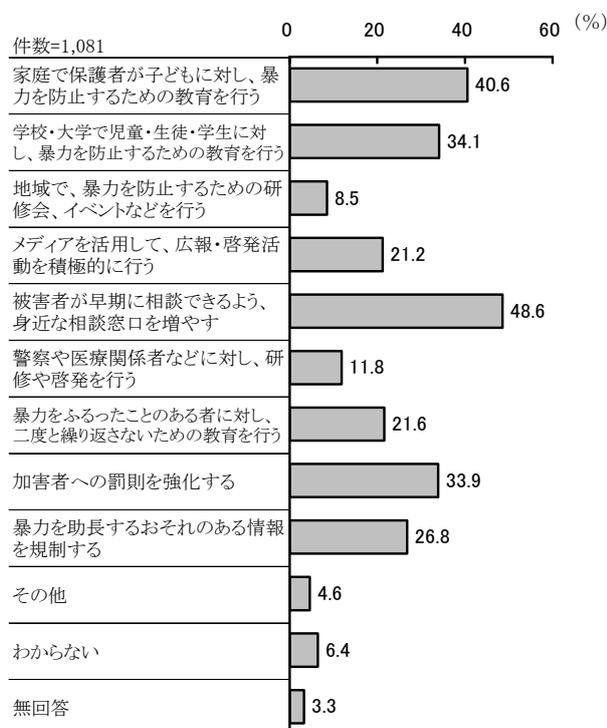
	そのことについて思い出したくなかったから	自分にも悪いところがあると思ったから	相談するほどのことでもないと考えたから	その他	無回答
豊橋市(H23.6)	<b>4.7</b>	<b>30.2</b>	<b>52.8</b>	-	<b>0.9</b>
女性	1.5	23.1	49.2	-	1.5
男性	10.0	42.5	60.0	-	0.0
豊橋市(H20.5)	<b>8.8</b>	<b>31.3</b>	<b>40.8</b>	<b>2.7</b>	<b>0.0</b>
女性	10.2	25.5	38.8	3.1	0.0
男性	6.5	43.5	43.5	2.2	0.0
豊橋市(H17.5)	<b>10.9</b>	<b>23.6</b>	<b>29.1</b>	<b>1.8</b>	<b>1.8</b>
女性	14.3	19.0	23.8	2.4	0.0
男性	0.0	38.5	46.2	0.0	7.7
豊橋市(H13.8)	<b>9.1</b>	<b>36.4</b>	<b>38.6</b>	<b>6.8</b>	<b>2.3</b>
女性	12.1	33.3	39.4	3.0	0.0
男性	0.0	50.0	40.0	20.0	10.0

## 7-4 男女間の暴力を防止するために必要なこと

問21 男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(いくつでも)

- 男女間の暴力を防止するために必要なことは、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」が48.6%で最も高く、次いで「家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」が40.6%、「学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う」が34.1%、「加害者への罰則を強化する」が33.9%となっている。
- 性別でみると、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」「暴力を助長するおそれのある情報を規制する」は男性よりも女性で高くなっている。



- 性・年代別でみると、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」「暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う」「加害者への罰則を強化する」は女性20代で高くなっている。

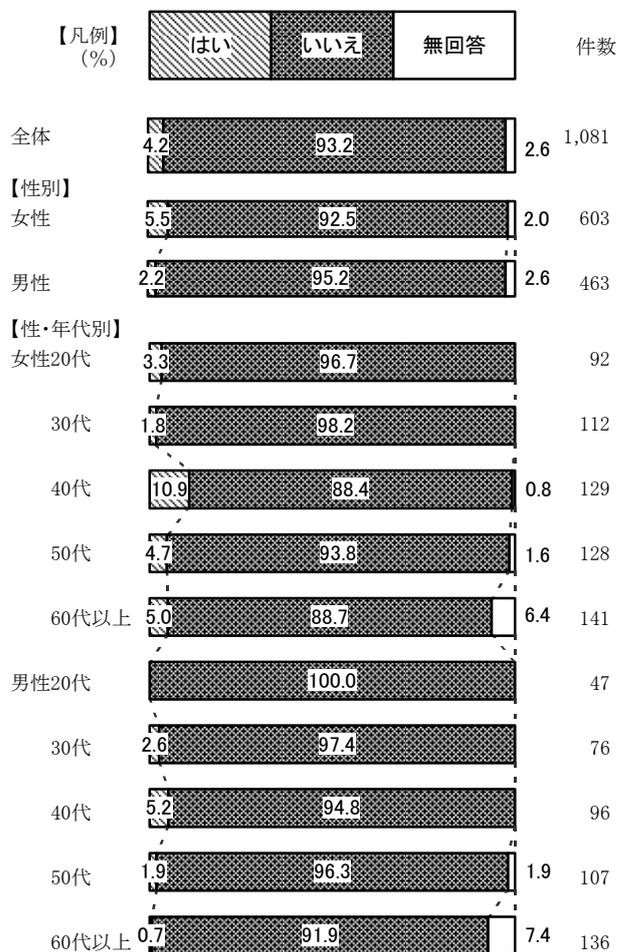
	件数	家庭教育を行う	家庭で保護者が子どもに対するための教育を行う	学校・大学で児童・生徒を防止する	地域の研究会、イベントなど	地域で、暴力を防止する	メディアを活用して、積極的に	被害者が早期に相談できる	警察や医療関係者など	暴力をふるったことのある者に対する、二度と繰り返さないための教育を行う	加害者への罰則を強化する	暴力を助長するおそれのある情報を規制する	その他	わからない	無回答
全体	1081	40.6	34.1	8.5	21.2	48.6	11.8	21.6	33.9	26.8	4.6	6.4	3.3		
性・年代	女性20代	92	43.5	32.6	8.7	19.6	63.0	23.9	38.0	52.2	20.7	6.5	4.3	1.1	
	30代	112	40.2	41.1	6.3	26.8	58.0	11.6	22.3	44.6	28.6	4.5	5.4	-	
	40代	129	47.3	43.4	6.2	26.4	52.7	16.3	30.2	34.9	33.3	3.9	7.0	0.8	
	50代	128	43.8	36.7	8.6	28.9	56.3	7.0	15.6	21.1	36.7	3.1	6.3	2.3	
	60代以上	141	39.0	29.1	8.5	17.0	48.2	7.1	16.3	19.1	31.2	5.0	4.3	7.8	
	男性20代	47	38.3	36.2	6.4	19.1	42.6	21.3	27.7	44.7	12.8	8.5	6.4	-	
	30代	76	39.5	27.6	10.5	15.8	44.7	11.8	28.9	48.7	18.4	5.3	2.6	-	
	40代	96	39.6	30.2	9.4	26.0	31.3	9.4	15.6	27.1	19.8	7.3	12.5	-	
	50代	107	39.3	31.8	12.1	9.3	50.5	11.2	17.8	36.4	22.4	5.6	5.6	2.8	
	60代以上	136	38.2	33.1	9.6	22.1	39.0	8.8	16.9	30.9	27.9	1.5	6.6	9.6	

## 8 豊橋市男女共同参画センター「パルモ」について

### 8-1 男女共同参画センター「パルモ」の利用の有無

問22 あなたは、豊橋市男女共同参画センター（旧 豊橋市女性会館）「パルモ」を利用したことがありますか。（1つだけ）

- 男女共同参画センター「パルモ」の利用の有無は、「いいえ（利用したことがない）」が93.2%、「はい（利用したことがある）」が4.2%となっている。
- 性別で見ると、「はい（利用したことがある）」は、女性が5.5%、男性が2.2%となっている。
- 性・年代別で見ると、「はい（利用したことがある）」は、女性40代（10.9%）で高くなっている。



#### 市の過去調査との比較

- 過去の調査と比較すると、「はい（利用したことがある）」は、平成23年（4.2%）が最も低くなっている。

(%)

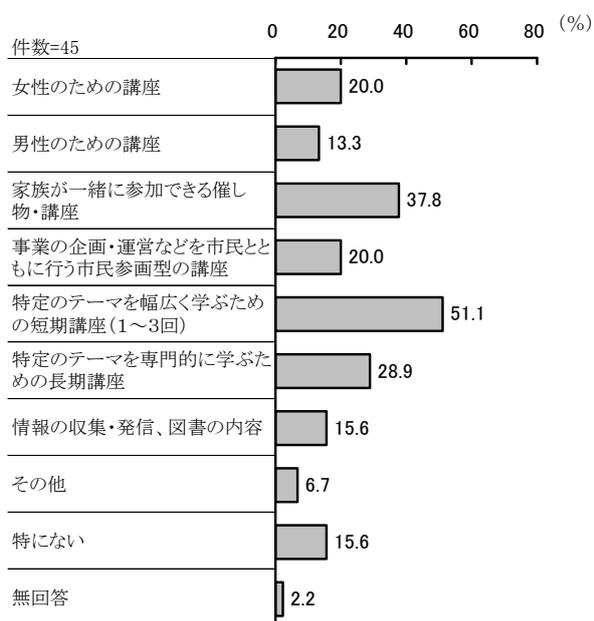
	はい	いいえ	無回答
豊橋市 (H23. 6)	4.2	93.2	2.6
女性	5.5	92.5	2.0
男性	2.2	95.2	2.6
豊橋市 (H20. 5)	9.4	83.4	7.1
女性	13.1	80.2	6.7
男性	5.0	87.3	7.7
豊橋市 (H17. 5)	8.9	85.4	5.7
女性	11.2	85.5	3.3
男性	5.4	85.5	9.1
豊橋市 (H13. 8)	11.8	81.4	6.8
女性	16.2	79.7	4.1
男性	6.2	84.5	9.3

## 8-2 充実してほしい内容

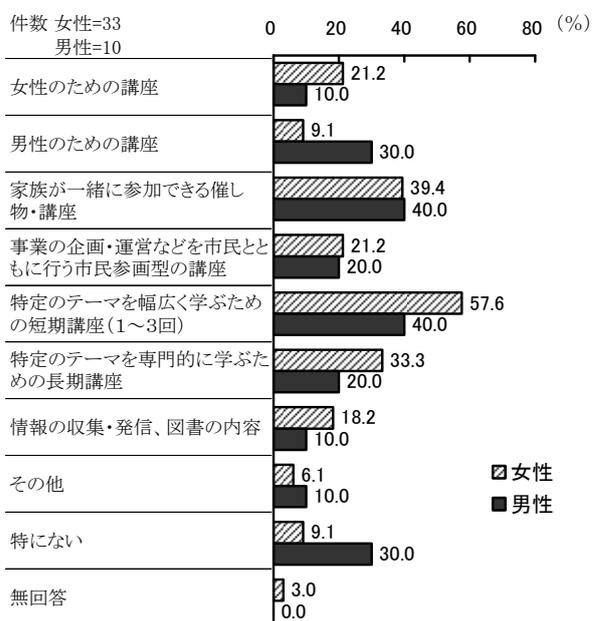
＜男女共同参画センター「パルモ」を利用したことがある方にお聞きします。＞

問22-1 今後、男女ともに利用できるセンターの事業として、豊橋市男女共同参画センターに何を充実してほしいと思いますか。(いくつでも)

- 男女共同参画センターに充実してほしいことは、「特定のテーマを幅広く学ぶための短期講座(1～3回)」が51.1%で最も高く、次いで「家族と一緒に参加できる催し物・講座」が37.8%、「特定のテーマを専門的に学ぶための長期講座」が28.9%となっている。



### 【参考】



## 市の過去調査との比較

- 過去の調査との比較は、選択肢が異なるため一概に比較することはできないが、「家族が一緒に参加できる催し物・講座」「事業の企画・運営などを市民とともに挙る市民参加型の講座」「特定のテーマを幅広く学ぶための短期講座（1～3回）」「特定のテーマを専門的に学ぶための長期講座」は平成23年が最も高くなっている。

(%)

	女性のための講座	男性のための講座	家族が一緒に参加できる催し物・講座	事業の企画・運営などを市民とともに挙る市民参加型の講座	特定のテーマを幅広く学ぶための短期講座（1～3回）	特定のテーマを専門的に学ぶための長期講座	情報の収集・発信、図書の内容（※1）
豊橋市(H23.6)	<b>20.0</b>	<b>13.3</b>	<b>37.8</b>	<b>20.0</b>	<b>51.1</b>	<b>28.9</b>	<b>15.6</b>
女性	21.2	9.1	39.4	21.2	57.6	33.3	18.2
男性	10.0	30.0	40.0	20.0	40.0	20.0	10.0
豊橋市(H20.5)	-	<b>15.3</b>	<b>37.8</b>	<b>10.8</b>	<b>34.2</b>	<b>15.3</b>	<b>23.4</b>
女性	-	14.3	39.3	7.1	38.1	16.7	21.4
男性	-	20.0	32.0	24.0	24.0	12.0	32.0
豊橋市(H17.5)	-	<b>17.0</b>	<b>25.5</b>	<b>12.8</b>	<b>28.7</b>	<b>24.5</b>	<b>28.7</b>
女性	-	13.0	24.6	13.0	36.2	26.1	33.3
男性	-	30.4	30.4	13.0	8.7	21.7	17.4
豊橋市(H13.8)	-	<b>8.3</b>	<b>16.9</b>	<b>6.7</b>	<b>14.4</b>	<b>6.4</b>	<b>20.2</b>
女性	-	7.1	15.8	6.7	17.9	8.3	23.5
男性	-	10.1	19.1	6.2	9.8	4.1	15.5

	開館日時や催し物の曜日・時間をかえてほしい	地域に出向いて講座	その他	特にない	無回答
豊橋市(H23.6)	-	-	<b>6.7</b>	<b>15.6</b>	<b>2.2</b>
女性	-	-	6.1	9.1	3.0
男性	-	-	10.0	30.0	0.0
豊橋市(H20.5)	<b>11.7</b>	<b>14.4</b>	<b>10.8</b>	<b>15.3</b>	<b>4.5</b>
女性	13.1	11.9	8.3	16.7	4.8
男性	8.0	24.0	16.0	8.0	4.0
豊橋市(H17.5)	<b>12.8</b>	<b>16.0</b>	<b>4.3</b>	<b>14.9</b>	<b>5.3</b>
女性	17.4	18.8	5.8	11.6	1.4
男性	0.0	8.7	0.0	21.7	13.0
豊橋市(H13.8)	<b>5.2</b>	<b>9.0</b>	<b>4.1</b>	<b>16.9</b>	<b>35.9</b>
女性	7.7	12.0	3.2	15.4	32.5
男性	2.3	5.2	5.7	18.6	39.8

(※) -は、調査していない項目

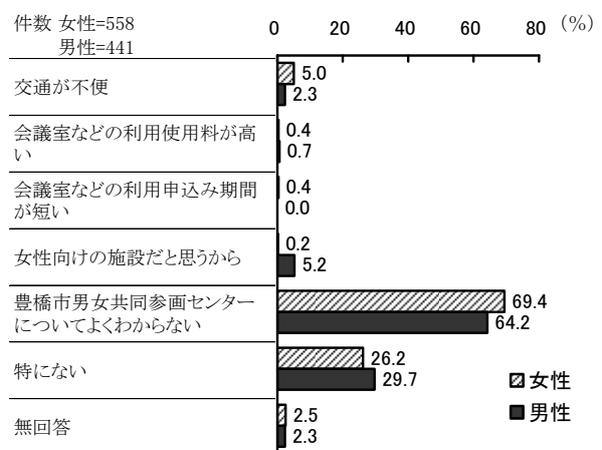
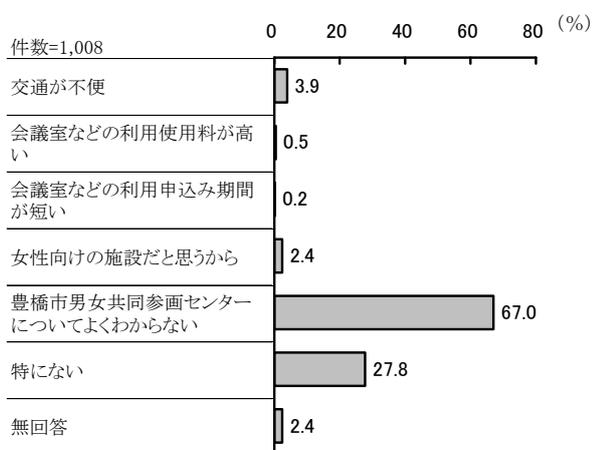
(※1) 平成20年以前の選択肢は「情報収集・発信の充実」

### 8-3 利用したことがない理由

＜男女共同参画センター「パルモ」を利用したことがない方にお聞きします。＞

問22-2 豊橋市男女共同参画センターを利用したことがない理由は何ですか。(いくつでも)

- 男女共同参画センターを利用したことがない理由は、「豊橋市男女共同参画センターについてよくわからない」が67.0%で圧倒的に高くなっている。
- 性別でも、大きな差はみられない。「女性向けの施設だと思うから」と答えた男性は5.2%みられる。

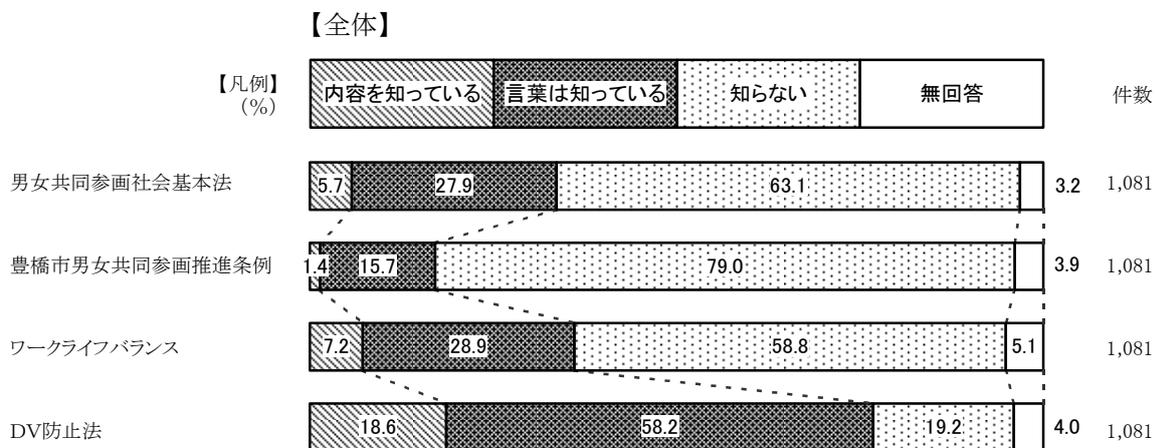


## 9 男女共同参画社会について

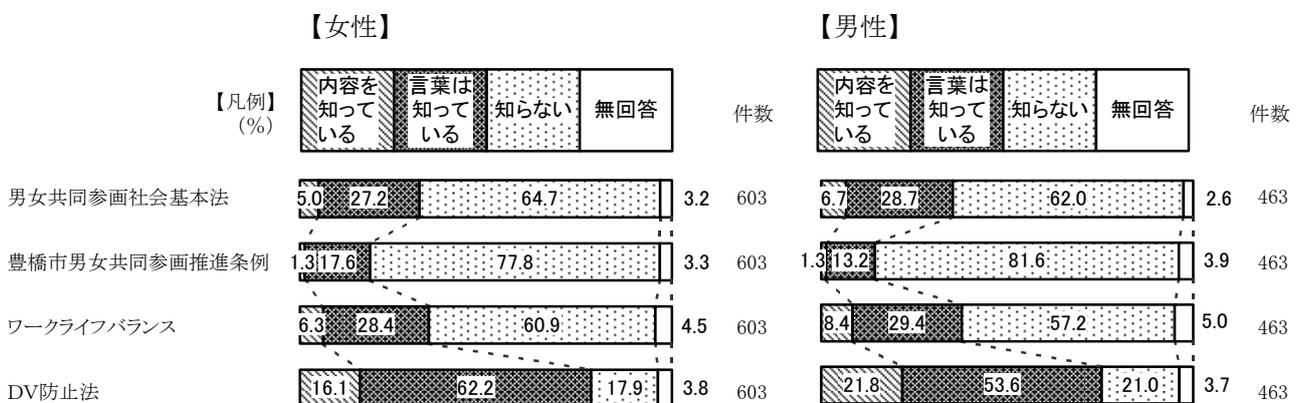
### 9-1 用語の周知

問23 あなたは、次の用語についてご存知ですか。(各1つずつ)

- 男女共同参画に関する用語の周知度は、「DV防止法」では76.8%で、そのうち「内容まで知っている」のは18.6%となっている。また、「男女共同参画社会基本法」(33.6%)、「ワークライフバランス」(36.1%)の周知度はおよそ3人に1人の割合となっている。「豊橋市男女共同参画推進条例」は周知度が低く、「知らない」が79.0%を占めている。



- 性別でみると、いずれの項目においても周知度に差はみられないが、「DV防止法」の「言葉は知っている」は男性(53.6%)よりも女性(62.2%)で高くなっている。



- 性・年代別でみると、「男女共同参画社会基本法」の周知度は女性20代（39.1%）、男性20代（40.4%）、60代以上（39.0%）で約4割を占めて高くなっている。また、20代男女では「内容を知っている」が占める割合も16.3%、17.0%と高くなっている。

「豊橋市男女共同参画推進条例」の周知度は、女性50代（21.1%）、60代以上（24.1%）で2割以上と他の性・年代に比べ高くなっているが、男性20代（6.4%）では1割未満となっている。

「ワークライフバランス」の周知度は、女性20代（48.9%）、男性30代（51.3%）、40代（48.9%）で約半数を占めて高くなっている。

「DV防止法」の周知度は、男女ともに50代以下では約8割を占めているが、60代以上では約6割となっている。また、「内容を知っている」は男性40代（30.2%）、50代（29.9%）で約3割と高くなっている。

男女共同参画社会基本法

		件数	内容を知っている	言葉は知っている	知らない	無回答
全体		1081	5.7	27.9	63.1	3.2
性・年代	女性20代	92	16.3	22.8	60.9	-
	30代	112	2.7	18.8	78.6	-
	40代	129	3.1	27.9	68.2	0.8
	50代	128	1.6	34.4	60.9	3.1
	60代以上	141	3.5	29.8	56.7	9.9
	男性20代	47	17.0	23.4	59.6	-
	30代	76	5.3	22.4	72.4	-
	40代	96	6.3	29.2	64.6	-
	50代	107	3.7	30.8	62.6	2.8
60代以上	136	6.6	32.4	54.4	6.6	

豊橋市男女共同参画推進条例

		件数	内容を知っている	言葉は知っている	知らない	無回答
全体		1081	1.4	15.7	79.0	3.9
性・年代	女性20代	92	1.1	16.3	82.6	-
	30代	112	1.8	10.7	87.5	-
	40代	129	0.8	16.3	82.2	0.8
	50代	128	0.8	20.3	76.6	2.3
	60代以上	141	1.4	22.7	64.5	11.3
	男性20代	47	-	6.4	93.6	-
	30代	76	1.3	9.2	89.5	-
	40代	96	2.1	13.5	84.4	-
	50代	107	1.9	14.0	81.3	2.8
60代以上	136	0.7	16.9	71.3	11.0	

ワークライフバランス

		件数	内容を知っている	言葉は知っている	知らない	無回答
全体		1081	7.2	28.9	58.8	5.1
性・年代	女性20代	92	15.2	33.7	51.1	-
	30代	112	7.1	26.8	66.1	-
	40代	129	5.4	25.6	68.2	0.8
	50代	128	0.8	28.9	67.2	3.1
	60代以上	141	5.0	28.4	51.1	15.6
	男性20代	47	6.4	27.7	66.0	-
	30代	76	15.8	35.5	47.4	1.3
	40代	96	15.6	33.3	51.0	-
	50代	107	7.5	30.8	57.9	3.7
60代以上	136	0.7	22.8	63.2	13.2	

DV防止法

		件数	内容を知っている	言葉は知っている	知らない	無回答
全体		1081	18.6	58.2	19.2	4.0
性・年代	女性20代	92	22.8	57.6	19.6	-
	30代	112	15.2	67.0	17.9	-
	40代	129	17.1	67.4	14.7	0.8
	50代	128	14.1	69.5	13.3	3.1
	60代以上	141	12.8	50.4	24.1	12.8
	男性20代	47	14.9	66.0	19.1	-
	30代	76	18.4	63.2	18.4	-
	40代	96	30.2	52.1	17.7	-
	50代	107	29.9	49.5	17.8	2.8
60代以上	136	14.0	48.5	27.2	10.3	

## 市の過去調査との比較

- 過去の調査との比較は、選択肢が異なるため一概に比較することはできないが、「男女共同参画社会基本法」「豊橋市男女共同参画推進条例」の周知度は平成23年が最も低くなっている。

「DV防止法」の周知度は平成17年（70.5%）から平成20年（75.3%）にかけて増加したが、平成20年から平成23年（76.8%）にかけては横ばいである。

（男女共同参画社会基本法） (%)

	内容を知っている	言葉は知っている	知らない	無回答
豊橋市(H23.6)	<b>5.7</b>	<b>27.9</b>	<b>63.1</b>	<b>3.2</b>
女性	5.0	27.2	64.7	3.2
男性	6.7	28.7	62.0	2.6
豊橋市(H20.5)	<b>8.5</b>	<b>33.0</b>	<b>52.2</b>	<b>6.3</b>
女性	5.5	36.0	52.1	6.4
男性	12.1	29.8	51.8	6.3
豊橋市(H17.5)	<b>7.5</b>	<b>29.7</b>	<b>58.0</b>	<b>4.8</b>
女性	5.0	30.8	60.6	3.6
男性	11.2	28.3	54.2	6.3

（豊橋市男女共同参画推進条例） (%)

	内容を知っている	言葉は知っている	知らない	無回答
豊橋市(H23.6)	<b>1.4</b>	<b>15.7</b>	<b>79.0</b>	<b>3.9</b>
女性	1.3	17.6	77.8	3.3
男性	1.3	13.2	81.6	3.9
豊橋市(H20.5)	<b>3.2</b>	<b>17.0</b>	<b>73.0</b>	<b>6.8</b>
女性	2.5	20.3	70.2	7.0
男性	3.8	13.1	76.4	6.7
豊橋市(H17.5)	<b>3.4</b>	<b>18.4</b>	<b>72.3</b>	<b>5.9</b>
女性	3.3	19.9	72.1	4.7
男性	3.7	16.4	72.9	7.0

（DV防止法） (%)

	内容を知っている	言葉は知っている	知らない	無回答
豊橋市(H23.6)	<b>18.6</b>	<b>58.2</b>	<b>19.2</b>	<b>4.0</b>
女性	16.1	62.2	17.9	3.8
男性	21.8	53.6	21.0	3.7
豊橋市(H20.5)	<b>33.2</b>	<b>42.1</b>	<b>18.5</b>	<b>6.3</b>
女性	33.9	44.5	15.1	6.6
男性	31.7	39.5	22.6	6.2
豊橋市(H17.5)	<b>36.1</b>	<b>34.4</b>	<b>24.1</b>	<b>5.4</b>
女性	36.5	37.1	21.8	4.6
男性	36.0	30.6	27.1	6.3

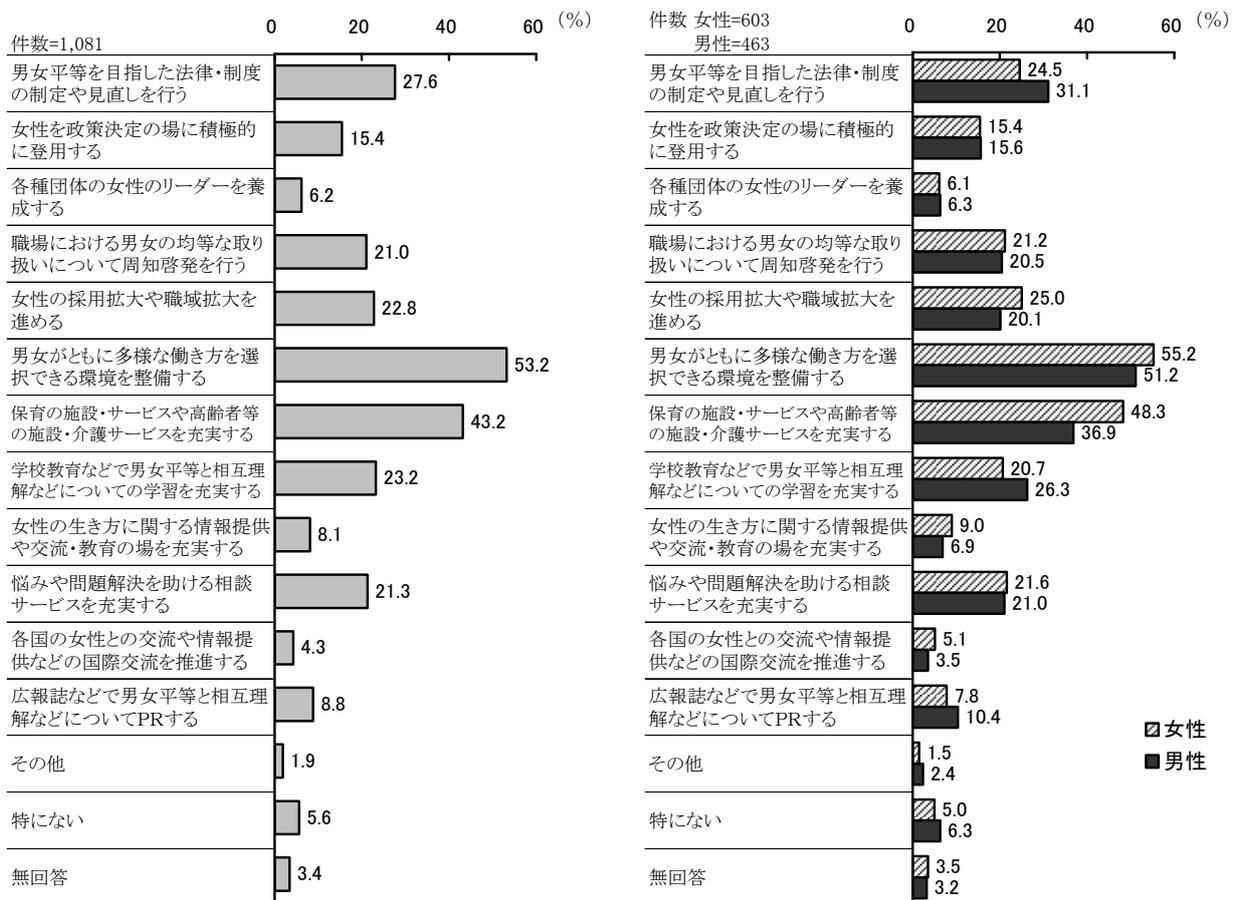
(※) 「ワークライフバランス」は平成23年で初めて実施

(※) 平成20年以前の選択肢は「知っている」「言葉ぐらひは知っている」「知らない」

9-2 男女共同参画社会実現のために行政に望むこと

問24 あなたは、男女共同参画社会の実現のために、行政（国・県・市）はどんなことに力を入れたらよいと思いますか。（3つまで）

- 男女共同参画社会を実現するために行政に望むことは、「男女がともに多様な働き方を選択できる環境を整備する」が53.2%で最も高く、次いで「保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する」が43.2%、「男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う」が27.6%、「学校教育などで男女平等と相互理解などについての学習を充実する」が23.2%、「女性の採用拡大や職域拡大を進める」が22.8%となり、これらが上位5項目となっている。
- 性別でみると、「保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する」は男性（36.9%）よりも女性（48.3%）の割合が高くなっている。



- 性・年代別でみると、「男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う」は男性20代(46.8%)で、「広報誌などで男女平等と相互理解などについてPRする」は男性60代以上(20.6%)で高くなっている。

	件数	男女平等を 目指した法 律・制度の 制定や見 直し	女性を政 策決定の 場に積 極的に登 用する	各種団体 の女性の リーダー を養成す る	職場にお ける男女 の均等 啓発を行 う	女性の採 用拡大や 職域拡 大を進め る	女性がと もに多様 な働き 方を選択 できる環 境を整 備する	高齢者等 の施設・ サービス を充実す る	学校の学 習を充実 する	学校など で男女平 等と相互 理解など について の学習を 充実する	女性の生 き方に関 する情 報提供や 交流・教 育の場 を充実す る	悩みや問 題解決を 助ける	各国の女 性の国際 交流や情 報提供を 推進する	Rする 相互理 解など について PRする	広報誌な どで男女 平等と 相互理 解など について PRする	その他	特 に な い	無 回 答
全体	1081	27.6	15.4	6.2	21.0	22.8	53.2	43.2	23.2	8.1	21.3	4.3	8.8	1.9	5.6	3.4		
性・年代	女性20代	92	18.5	22.8	6.5	19.6	35.9	50.0	40.2	15.2	6.5	28.3	10.9	4.3	2.2	5.4	2.2	
	30代	112	32.1	13.4	1.8	25.9	31.3	58.0	47.3	16.1	10.7	18.8	3.6	8.9	2.7	5.4	2.7	
	40代	129	26.4	8.5	5.4	27.9	26.4	61.2	49.6	26.4	8.5	14.0	6.2	7.0	2.3	2.3	4.7	
	50代	128	31.3	15.6	7.0	20.3	20.3	60.9	53.1	18.8	8.6	27.3	3.9	8.6	-	2.3	1.6	
	60代以上	141	14.9	18.4	8.5	13.5	16.3	45.4	48.2	24.8	9.9	21.3	2.8	9.2	0.7	9.2	5.7	
	男性20代	47	46.8	14.9	2.1	25.5	31.9	53.2	38.3	23.4	10.6	25.5	-	8.5	-	4.3	-	
	30代	76	25.0	13.2	9.2	19.7	26.3	61.8	36.8	19.7	5.3	22.4	5.3	5.3	6.6	5.3	-	
	40代	96	26.0	15.6	2.1	24.0	19.8	47.9	31.3	20.8	7.3	21.9	1.0	5.2	11.5	4.2		
50代	107	32.7	17.8	10.3	17.8	24.3	45.8	38.3	29.9	10.3	21.5	8.4	6.5	5.6	2.8			
60代以上	136	31.6	15.4	5.9	19.1	9.6	51.5	39.7	32.4	3.7	17.6	1.5	20.6	0.7	3.7	5.9		

【性別順位】（上位5項目）

- 性別の上位5項目についてみると、男女ともに、5位以内に「男女がともに多様な働き方を選択できる環境を整備する」「保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する」「男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う」「悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する」が入っており、1位、2位、5位については同じ項目である。また、女性では「女性の採用拡大や職域拡大を進める」が3位、男性では「学校教育などで男女平等と相互理解などについての学習を充実する」が4位となっている。

【性・年代別順位】（上位5項目）

- 性・年代別の上位5項目をみると、男性20代以外の性・年代層では「保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する」「男女がともに多様な働き方を選択できる環境を整備する」が第1位または第2位のいずれかに入っている。

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	男女がともに多様な働き方を選択できる環境を整備する (53.2%)	保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する (43.2%)	男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う (27.6%)	学校教育などで男女平等と相互理解などについての学習を充実する (23.2%)	女性の採用拡大や職域拡大を進める (22.8%)
女性	男女がともに多様な働き方を選択できる環境を整備する (55.2%)	保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する (48.3%)	女性の採用拡大や職域拡大を進める (25.0%)	男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う (24.5%)	悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する (21.6%)
男性	男女がともに多様な働き方を選択できる環境を整備する (51.2%)	保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する (36.9%)	男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う (31.1%)	学校教育などで男女平等と相互理解などについての学習を充実する (26.3%)	悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する (21.0%)
女性20代	男女がともに多様な働き方を選択できる環境を整備する (50.0%)	保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する (40.2%)	女性の採用拡大や職域拡大を進める (35.9%)	悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する (28.3%)	女性を政策決定の場に積極的に登用する (22.8%)
30代	男女がともに多様な働き方を選択できる環境を整備する (58.0%)	保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する (47.3%)	男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う (32.1%)	女性の採用拡大や職域拡大を進める (31.3%)	職場における男女の均等な取り扱いについて周知啓発を行う (25.9%)
40代	男女がともに多様な働き方を選択できる環境を整備する (61.2%)	保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する (49.6%)	職場における男女の均等な取り扱いについて周知啓発を行う (27.9%)	男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う (26.4%)	学校教育などで男女平等と相互理解などについての学習を充実する (26.4%)
50代	男女がともに多様な働き方を選択できる環境を整備する (60.9%)	保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する (53.1%)	男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う (31.3%)	悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する (27.3%)	女性の採用拡大や職域拡大を進める (26.4%)
60代以上	保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する (48.2%)	男女がともに多様な働き方を選択できる環境を整備する (45.4%)	学校教育などで男女平等と相互理解などについての学習を充実する (24.8%)	悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する (21.3%)	女性を政策決定の場に積極的に登用する (18.4%)
男性20代	男女がともに多様な働き方を選択できる環境を整備する (53.2%)	男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う (46.8%)	保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する (38.3%)	女性の採用拡大や職域拡大を進める (31.9%)	悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する (25.5%)
30代	男女がともに多様な働き方を選択できる環境を整備する (61.8%)	保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する (36.8%)	女性の採用拡大や職域拡大を進める (26.3%)	男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う (25.0%)	悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する (22.4%)
40代	男女がともに多様な働き方を選択できる環境を整備する (47.9%)	保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する (31.3%)	男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う (26.0%)	職場における男女の均等な取り扱いについて周知啓発を行う (24.0%)	悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する (21.9%)
50代	男女がともに多様な働き方を選択できる環境を整備する (45.8%)	保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する (38.3%)	男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う (32.7%)	学校教育などで男女平等と相互理解などについての学習を充実する (29.9%)	女性の採用拡大や職域拡大を進める (24.3%)
60代以上	男女がともに多様な働き方を選択できる環境を整備する (51.5%)	保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する (39.7%)	学校教育などで男女平等と相互理解などについての学習を充実する (32.4%)	男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う (31.6%)	広報誌などで男女平等と相互理解などについてPRする (20.6%)

## 国、愛知県の調査、市の過去調査との比較

- 国、愛知県の調査とは選択肢や回答個数が異なり一概に比較できないため、マルチトータル（複数回答の合計）を100%として割合を算出した。この割合を比較すると、「保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する」は、国（12.9%）、愛知県（12.2%）より豊橋市（16.2%）の方が若干上回っている。
- 市の過去の調査と比較すると、「男女がともに多様な働き方を選択できる環境を整備する」「悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する」は、平成13年からそれぞれ14ポイント、8ポイント増加している。

(%)

	男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う	女性を政策決定の場に積極的に登用する	各種団体の女性のリーダーを養成する	職場における男女の均等な取り扱いについて周知啓発を行う	女性の採用拡大や職域拡大を進める	男女がともに多様な働き方を選択できる環境を整備する	保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する	学校教育などで男女平等と相互理などについての学習を充実する
国 (H21.10)	<b>(9.6)47.0</b>	<b>(8.5)41.5</b>	-	-	<b>(7.4)35.9</b>	-	<b>(12.9)62.7</b>	<b>(5.5)26.6</b>
女性	(9.5)47.3	(8.4)42.1	-	-	(7.3)36.4	-	(13.8)69.1	(5.1)25.4
男性	(9.9)46.7	(8.6)40.9	-	-	(7.5)35.3	-	(11.7)55.5	(5.9)28.1
愛知県 (H20.9)	<b>(7.5)28.0</b>	<b>(9.1)33.7</b>	-	<b>(8.2)30.3</b>	-	-	<b>(12.2)45.1</b>	<b>(5.6)20.9</b>
女性	(6.8)26.6	(8.9)34.9	-	(8.2)32.2	-	-	(13.6)53.4	(5.9)23.4
男性	(8.6)29.7	(9.4)32.3	-	(8.1)28.0	-	-	(10.2)35.1	(5.2)17.9
豊橋市 (H23.6)	<b>(10.4)27.6</b>	<b>(5.8)15.4</b>	<b>(2.3)6.2</b>	<b>(7.9)21.0</b>	<b>(8.6)22.8</b>	<b>(20.0)53.2</b>	<b>(16.2)43.2</b>	<b>( 8.7)23.2</b>
女性	( 9.1)24.5	(5.7)15.4	(2.3)6.1	(7.9)21.2	(9.3)25.0	(20.5)55.2	(17.9)48.3	( 7.7)20.7
男性	(11.9)31.1	(6.0)15.6	(2.4)6.3	(7.8)20.5	(7.7)20.1	(19.6)51.2	(14.1)36.9	(10.0)26.3
豊橋市 (H20.5)	<b>23.9</b>	<b>18.3</b>	<b>7.1</b>	<b>15.8</b>	<b>20.8</b>	<b>48.9</b>	<b>48.4</b>	<b>21.2</b>
女性	23.1	17.8	6.2	14.5	23.9	49.3	54.0	20.0
男性	24.8	18.8	8.1	16.5	16.7	49.2	41.3	23.4
豊橋市 (H17.5)	<b>23.5</b>	<b>15.1</b>	<b>7.1</b>	<b>18.3</b>	<b>19.0</b>	<b>43.5</b>	<b>47.4</b>	<b>22.2</b>
女性	19.4	13.7	6.2	17.3	21.2	45.3	51.0	21.5
男性	29.2	17.1	8.4	20.1	16.1	41.1	42.3	23.1
豊橋市 (H13.8)	<b>26.5</b>	<b>17.5</b>	<b>7.4</b>	<b>19.4</b>	<b>20.1</b>	<b>39.2</b>	<b>49.7</b>	<b>22.4</b>
女性	24.9	16.2	5.7	18.3	23.9	39.6	56.4	22.9
男性	28.7	19.4	9.6	21.2	15.5	39.3	42.4	22.0

	女性の生き方に関する情報提供や交流・教育の場を充実する	悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する	各国の女性との交流や情報提供などの国際交流を推進する	広報誌などで男女平等と相互理解などについてPRする	その他	特になし	わからない	無回答
国 (H21.10)	-	<b>(6.1)29.6</b>	-	<b>(4.7)22.8</b>	<b>(0.1)0.6</b>	<b>(0.6)3.0</b>	<b>(0.6)3.0</b>	-
女性	-	(5.7)28.7	-	(4.3)21.5	(0.1)0.5	(0.5)2.4	(0.7)3.4	-
男性	-	(6.5)30.7	-	(5.2)24.4	(0.1)0.7	(0.8)3.7	(0.5)2.6	-
愛知県 (H20.9)	-	<b>(2.6) 9.6</b>	-	<b>(2.8)10.3</b>	<b>(0.8)2.9</b>	<b>(0.6)2.1</b>	-	<b>(2.9)10.8</b>
女性	-	(2.5)10.0	-	(2.5) 9.9	(0.6)2.4	(0.5)1.8	-	(2.9)11.6
男性	-	(2.7) 9.2	-	(3.1)10.8	(1.0)3.5	(0.7)2.5	-	(2.8) 9.8
豊橋市 (H23.6)	<b>(3.0)8.1</b>	<b>(8.0)21.3</b>	<b>(1.6)4.3</b>	<b>(3.3) 8.8</b>	<b>(0.7)1.9</b>	<b>(2.1)5.6</b>	-	<b>(1.3)3.4</b>
女性	(3.3)9.0	(8.0)21.6	(1.9)5.1	(2.9) 7.8	(0.6)1.5	(1.9)5.0	-	(1.3)3.5
男性	(2.6)6.9	(8.0)21.0	(1.3)3.5	(4.0)10.4	(0.9)2.4	(2.4)6.3	-	(1.2)3.2
豊橋市 (H20.5)	<b>7.4</b>	<b>14.5</b>	<b>3.0</b>	<b>6.0</b>	<b>1.8</b>	<b>3.2</b>	-	<b>6.9</b>
女性	9.2	14.5	3.0	4.7	2.2	3.4	-	5.0
男性	5.4	14.3	3.2	7.7	1.2	3.2	-	8.5
豊橋市 (H17.5)	<b>9.5</b>	<b>15.2</b>	<b>3.5</b>	<b>7.8</b>	<b>0.9</b>	<b>5.6</b>	-	<b>5.8</b>
女性	10.6	16.8	3.1	8.0	0.8	4.4	-	5.9
男性	8.2	13.3	4.2	7.5	0.9	7.2	-	5.4
豊橋市 (H13.8)	<b>11.5</b>	<b>13.3</b>	<b>3.4</b>	<b>6.0</b>	<b>1.1</b>	<b>5.8</b>	-	<b>5.1</b>
女性	11.0	14.8	2.8	4.5	0.8	5.3	-	3.9
男性	12.7	11.6	4.4	7.8	1.6	6.7	-	5.2

(※) -は、調査していない項目

(※) ( ) 内は、マルチトータルを100%として算出した割合

(※) 国及び愛知県の調査では、回答数が「いくつでも」、豊橋市の調査では「3つまで」となっている。

(※) 豊橋市の平成17年以前の調査では、「女性の採用拡大や職域拡大を進める」は「女性の就労の機会を増やしたり職業教育や職業訓練を充実する」となっている。

(※) 愛知県の調査では、「悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する」は「女性や男性の生き方に関する情報提供や相談などの場を充実する」となっている。「無回答」は「わからない」と「無回答」を足した割合。

## 10 自由意見

■ 男女共同参画に関して、ご意見がございましたらお聞かせください。

- 男女共同参画に関して自由意見を記入してもらったところ、170人から290件の意見がえられた。主な意見は以下のとおりである。

### ・意識改革、意識啓発に関すること

No.	内容	件数
1	男女共同参画について知らない人が多いので、PR活動の推進をお願いしたい。	11
2	男女共同参画ということを知らなかった。	6
3	高齢者には男尊女卑の考えを持つ人が多いので、意識改革が必要である。	5
4	男女平等には「男性と女性は基本的に違う」ということ理解させる必要がある。	3
5	男女共同参画はどのような活動をしているのか詳しくわからない。	3
6	法律や制度ができては変わらないと思うし、実際変わっていない。	2
7	女性の意識改革も必要だと思う。責任がある仕事を敬遠したり、女性なのでやらない（できない）という意識を変える。	2
	その他	7

計 39

### ・就労に関すること

No.	内容	件数
1	コピー、お茶くみ、掃除は女性が行い、女性を下働きと位置付けていると思う。	3
	その他	11

計 14

### ・子育てに関すること

No.	内容	件数
1	子どもがある程度の年齢になるまでは母親が子育てをした方がよいと思う。	8
2	男女平等ならば父子家庭への支援も充実してほしい。	3
	その他	4

計 15

### ・就労と家庭生活との両立について

No.	内容	件数
1	仕事と子育ての両立が当たり前になるように、社会や企業の協力、安心して子育てができる基盤づくりが必要である。	3
2	結婚、出産で退社する必要がないような環境を作してほしい。	3
3	早期職場復帰のために放課後児童施設や子どもが体調不良のときに預かってくれる場所がほしい。	2
	その他	11

計 19

### ・男女共同参画に関する考え方

No.	内容	件数
1	男女にはそれぞれ身体的特徴や役割があり、性別を無視した男女平等はありえない。	9
2	男女平等というより人間として平等が当たり前で、個人を尊重する社会になってほしい。	8
3	男性も女性も互いの立場を理解し、相手への思いやりと尊敬を持ち、支え合うことが必要である。	7
4	男女はそれぞれの特性があるので、全てを平等にするのではなくそれぞれの能力を理解し活かせる社会が理想である。	5
5	男女平等にしなくてよい。	4
6	役割があるのでむやみに平等にしなくてよい。	4

No.	内 容	件数
7	現状が不平等だとは思わない。十分平等になっていると思う。	3
8	女性の権利、環境整備ばかりを優遇する考え方は男女平等から外れていると思う。	3
9	性別にとらわれず、できる人ができることをやればよい。	3
10	男女には、出産などできることとできないことがあるのに男女平等を主張することに疑問を感じる。	2
11	男女にはそれぞれ身体的特徴や役割があるので、完全な平等は難しい。	2
12	男女平等よりも、男女それぞれのよさを大事にしたい。	2
13	あまり男女平等にこだわりすぎてもよくない気がする。	2
14	今の世の中は女性が優遇されていると思う。	2
15	欧米諸国にならって男女共同参画を唱えるのではなく、日本が育んできた価値観や歴史、伝統を大事にし活動すべきだ。	2
	その他	36

計 94

#### ・行政への要望など

No.	内 容	件数
1	女性中心の企画が多いが、夫婦、子どもと一緒に参加できるイベントを増やしてほしい。	3
2	子どもを産む環境、育てる環境を充実させた方がよい。	2
3	経済的な余裕があれば解決することが多いので、地元住民の雇用を増やすことが必要である。	2
4	優秀な女性の人材を埋もれさせず、育ててほしい。	2
	その他	35

計 44

#### ・その他

No.	内 容	件数
1	・アンケートについて アンケートのおかげで男女共同参画について知ることができた。／封筒が小さいので今後は用紙にあったサイズの封筒を用意してほしい。など	34
2	・教育について 子どもの時から男性と女性ではできることとできないことがあるので相手への思いやりと尊敬を持つことが大切であるということを教育してほしい。／適材適所があると思うので、自分の性や個性を大事にできるようになるような教育があった方がよい気がする。など	11
3	・男女共同参画センターについて 今回のアンケートが届くまで男女共同参画の施設があることを知らなかった。／「パルモ」という施設があることを知らなかったのであるならもっと情報発信してもよいだろうし、なくてもよいのではないかと思ってしまった。など	3
	・その他 今まで男女共同参画についてあまり考えたことがなかったので、これからは関心を持ちたい。／年齢的に古い観念を持ち、新しいことは少しずつしか受け入れられないのが現状。など	17

計 65

# 男女共同参画に関する市民の意識調査報告書

平成23年9月



豊橋市のマスコット  
トヨッキー

発行 豊橋市文化市民部 市民協働推進課

〒440 - 8501

豊橋市今橋町1番地

電話 (0532) 51 - 2188 FAX (0532) 56 - 5128

E-mail: [shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp](mailto:shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp)

企画分析 株式会社 サーベイリサーチセンター

※この冊子は、再生紙を使用しています。